

医療費分析結果報告書

平成29年度版

全国土木建築国民健康保険組合

目次

1	被保険者の状況	
(1)	被保険者数の推移	1
(2)	年齢階級別被保険者数	2
(3)	前期高齢者の被保険者数	4
(4)	扶養率分析	5
2	医療費の状況	
(1)	医療費	6
(2)	診療区分別の医療費	7
(3)	1人当たり医療費	8
(4)	年齢階級別1人当たり医療費	9
(5)	診療区分別1人当たり医療費	11
(6)	医科入院	13
	①入院1人当たり医療費／②推計新規入院件数／③100人当たり新規入院件数／ ④推計平均在院日数／⑤入院1日当たり医療費／⑥推計1入院当たり医療費／⑦入 院1人当たり日数	
(7)	医科入院外	20
	①入院外1人当たり医療費／②入院外1人当たり日数／③入院外1日当たり医療費	
(8)	歯科	23
	①歯科1人当たり医療費／②歯科1人当たり日数／③歯科1日当たり医療費	
(9)	調剤	26
	①調剤1人当たり医療費／②調剤1人当たり回数／③調剤1回当たり医療費	
(10)	ジェネリック医薬品の使用状況（数量ベース）	30
3	疾病の状況	
(1)	年齢階級別疾病分類	31
	①全体（医科＋歯科）／②入院（医科＋歯科）：組合員／③入院（医科＋歯科）：家族 ／④入院外（医科＋歯科）：組合員／⑤入院外（医科＋歯科）：家族	
(2)	疾病分類別医療費構成割合（医科）	36
	①全体（入院＋入院外）／②入院／③入院外	
(3)	前期高齢者に係る疾病分類比較分析（医科）	39

－ は じ め に －

本組合の事業運営につきましては、日頃格別のご配意を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、このたび平成 29 年度版の「医療費分析結果報告書」を作成いたしました。

本報告書は、本組合被保険者の受診や疾病の状況を、組合員・家族別、年齢階級別、疾病分類別等の切り口から観察したもので、本組合の医療費等の現状を把握していただくとともに、分析結果を保険給付等の適正化及び保健事業の推進に活用することを目的としています。

被保険者の状況、医療費の状況及び疾病の状況の 3 部構成とし、各項目に図表を掲載して簡潔に説明を加え、また、分析に際して組保管掌健康保険と比較することにより、本組合の水準を把握することが可能となっております。

ご一読のうえ、今後も本組合の事業運営にご理解、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

令和 元 年 6 月

－ 報告書の留意事項 －

- ・ 本報告書は、原則として平成 29 年度の実績に基づき作成していますが、本組合が保有するデータ及び比較対象元の公開データ等の有無のため、項目によっては異なる期間を分析しています。その場合は該当項目にいつ時点の内容かを明示しています。
- ・ 本報告書では組合健保を比較対象としていますが、組合健保は高齢受給者（70 歳以上）が「被保険者」であるか「被扶養者」であるか区別できないことから、「被保険者」及び「被扶養者」については 70 歳未満の加入者に係る実績となっており、本組合の「組合員」及び「家族」と比較を行うため、本組合においても「組合員」及び「家族」は、70 歳未満の実績としています。ただし、年齢階層を掲載している場合については、各表の年齢階層別加入者に係る実績となっています。
- ・ 本報告書でいう医療費とは、医科、歯科及び調剤の費用額（診療（調剤）報酬明細書に記載された点数を 10 倍した金額）です。なお、総医療費には入院時食事・生活療養費及び訪問看護療養費を、医科入院及び歯科には入院時食事・生活療養費の費用額を含んでいます。ただし、「3 疾病の状況」の項目では、入院時食事・生活療養費及び訪問看護療養費を除いています。
- ・ 本報告書では入院医療費の新 3 要素分析を用いており、推計新規入院件数（前月以前に退院した者が当月再入院した場合を含む）と推計平均在院日数（入院の 1 件当たり日数から算定した平均在院日数）の積が入院受診延日数となります。

したがって、入院医療費は推計新規入院件数（入院発生）、推計平均在院日数（入院期間）及び入院の 1 日当たり医療費（入院単価）の 3 要素の積に分解でき、さらに、推計新規入院件数と推計 1 入院当たり医療費（推計平均在院日数に入院の 1 日当たり医療費を乗じて得た 1 入院当たり医療費）の積に分解できます。

診療報酬改定率

診療報酬改定率	平成24年度	平成26年度	平成28年度
全体改定率 (①+②)	0.004%	0.10%	△0.84%
診療報酬本体 (①)	1.379%	0.73%	0.49%
医科	1.55%	0.82%	0.56%
歯科	1.70%	0.99%	0.61%
調剤	0.46%	0.22%	0.17%
薬価等【医療費ベース】 (②) (③+④)	△1.375%	△0.63%	△1.33%
薬価 (③) (括弧内は薬価ベース)	△1.26% (△6.00%)	△0.58% (△2.65%)	△1.22% (△5.57%)
材料価格 (④)	△0.12%	△0.05%	△0.11%

薬価 (③) 別枠 (括弧内は薬価ベース)	平成24年度	平成26年度	平成28年度
市場拡大再算定 (※1)	/	/	△0.19% (△0.90%)
特例市場拡大再算定 (※2)	/	/	△0.28% (△1.30%)

(注) 薬価改定における医療費ベースでの改定率とは、診療報酬総額の増減率をいう。
薬価ベースでの改定率とは、薬価の引上げ又は引下げによる当該診療報酬総額中の薬剤費の増減率をいう。

※1 市場拡大再算定

年間販売額が想定した販売額を2倍以上上回る等の要件を満たした医薬品について、薬価改定時に価格を更に引き下げる制度。

平成26年度以前の市場拡大再算定分は薬価（医療費ベースと薬価ベース）の本体改定に含まれている。平成28年度については本体改定の別枠とされた。

※2 特例市場拡大再算定

医療保険財政を維持するため、市場規模が特に巨額な医薬品の価格を引き下げる制度。年間販売額が1,000億円超等の要件を満たした品目が対象。平成28年度から導入された。

1 被保険者の状況

(1) 被保険者数の推移

平成 29 年度における被保険者数（組合健保においては加入者数）は 410,776 人であり、前年度と比較して 0.37%減少している。このうち 70 歳未満の組合員数は 187,427 人、家族数は 216,213 人であり、前年度と比較して組合員数は 1.33%増加しており、家族数は 2.13%減少している。

なお、平成 25 年度からの推移をみると、被保険者数は減少傾向であるが、減少率は前年度と比較して縮小している。組合員、家族別でみると、組合員数は平成 27 年度から増加傾向であり、増加率は前年度と比較して拡大している。家族数は依然として減少傾向であるが、減少率は前年度と比較してやや縮小している。

また、対前年度増減率を組合健保と比較すると、組合員数（組合健保においては被保険者数）については全国土木、組合健保のいずれも増加傾向にあり、増加率は組合健保の方が高くなっているが、平成 29 年度の組合健保の増加率を半期で分けてみると、上半期 3.0%、下半期 1.2%となっている（厚生労働省「最近の医療費の動向（平成 30 年 6～7 月号）」）。これは、短時間労働者へ健康保険の適用が拡大されたため（3 ページ参照）、この影響が除かれた組合健保の下半期増加率 1.2%は全国土木と大きな差はない。

家族数（組合健保においては被扶養者数）については、全国土木、組合健保のいずれも減少傾向にあり、減少率は全国土木の方が高くなっているが、全国土木の減少率が前年度と比較してやや縮小した一方、組合健保の減少率は前年度と比較して拡大している。

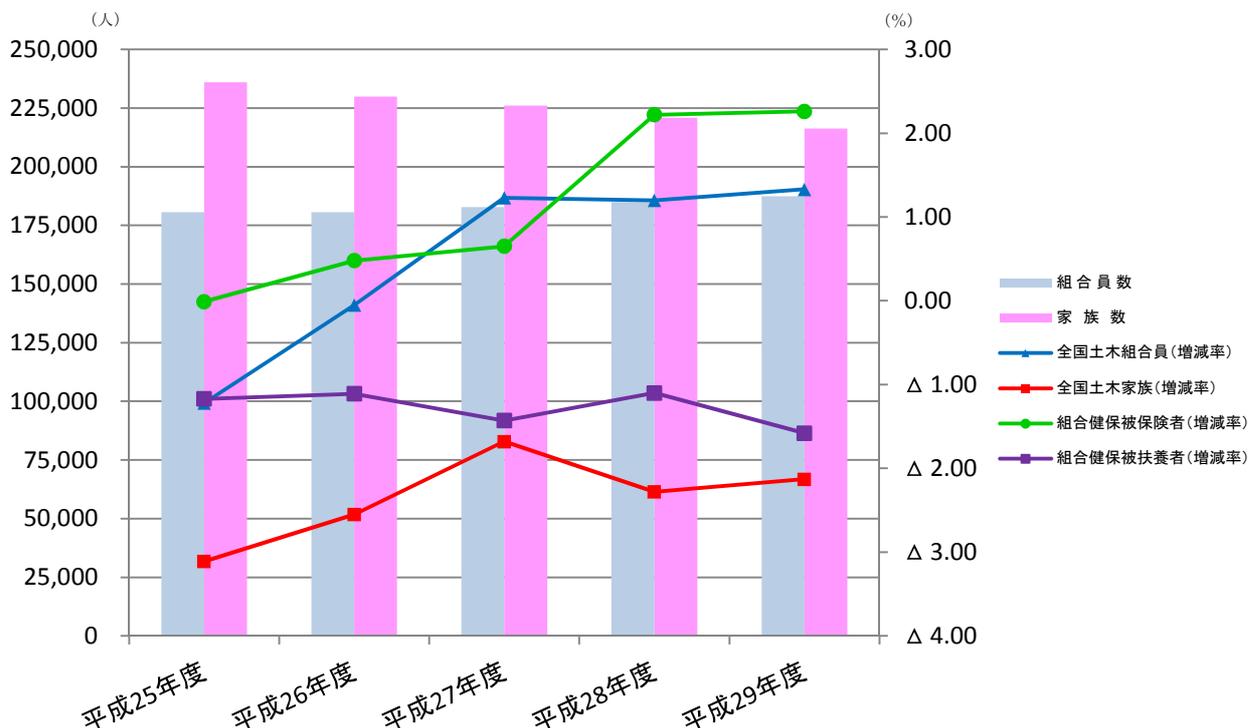
(表-1) 被保険者数の推移 (月平均)

(人)

	全 国 土 木						組 合 健 保					
			組 合 員 数		家 族 数				被 保 険 者 数		被 扶 養 者 数	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成25年度	△ 2.22	422,768	△ 1.22	180,643	△ 3.11	235,966	△ 0.54	29,289,308	△ 0.01	15,516,552	△ 1.17	13,492,091
平成26年度	△ 1.37	416,965	△ 0.05	180,557	△ 2.55	229,943	△ 0.22	29,223,794	0.48	15,591,204	△ 1.11	13,341,888
平成27年度	△ 0.39	415,354	1.23	182,778	△ 1.68	226,069	△ 0.34	29,123,612	0.65	15,692,820	△ 1.43	13,151,484
平成28年度	△ 0.73	412,316	1.20	184,976	△ 2.28	220,924	0.64	29,310,320	2.22	16,040,947	△ 1.10	13,007,214
平成29年度	△ 0.37	410,776	1.33	187,427	△ 2.13	216,213	0.61	29,488,163	2.26	16,402,727	△ 1.58	12,802,006

出典 平成 28 年度以前：厚生労働省「健康保険・船員保険事業状況報告」
平成 29 年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-1) 被保険者数の推移



(2) 年齢階級別被保険者数

平成 29 年 9 月末現在の年齢階級別被保険者数を構成比で見ると、組合員では、男女とも 45 歳から 49 歳の構成比が最も高く（男性 16.09%、女性 16.98%）、男女ともに 15 歳から 19 歳（男性 0.93%、女性 0.41%）が最も低くなっている。次に家族では、男性は 15 歳から 19 歳（23.62%）の構成比が最も高く、45 歳から 49 歳（0.43%）が最も低くなっており、女性は 45 歳から 49 歳（10.74%）が最も高く、70 歳から 74 歳（2.42%）が最も低くなっている。

なお、全体の構成比を組合健保と比較すると、25 歳から 44 歳までは組合健保が高く、45 歳以降は全国土木が高くなっている。

また、平均年齢では、全国土木（37.0 歳）が、組合健保（34.9 歳）より 2.1 歳高くなっている。

(表-2) 年齢階級別被保険者数（平成 29 年 9 月末現在）

年齢別	全 国 土 木												組合健保 構成比
	構成比		組 合 員 数				家 族 数						
			男 性		女 性		男 性		女 性				
歳 歳	人	%	人	人	構成比	%	人	人	構成比	%	人	%	
0 - 4	19,991	4.86						19,991	10,273	14.64	9,718	6.43	5.85
5 - 9	22,512	5.48						22,512	11,527	16.43	10,985	7.27	6.12
10 - 14	27,706	6.74						27,706	14,062	20.04	13,644	9.03	6.15
15 - 19	33,926	8.26	1,623	1,518	0.93	105	0.41	32,303	16,574	23.62	15,729	10.41	6.55
20 - 24	28,528	6.94	10,763	8,953	5.45	1,810	7.09	17,765	9,436	13.45	8,329	5.51	6.88
25 - 29	21,930	5.34	16,227	13,243	8.07	2,984	11.68	5,703	1,785	2.54	3,918	2.59	7.38
30 - 34	22,104	5.38	15,180	12,464	7.59	2,716	10.63	6,924	961	1.37	5,963	3.95	8.26
35 - 39	22,615	5.50	14,639	12,071	7.35	2,568	10.05	7,976	516	0.73	7,460	4.94	8.81
40 - 44	35,758	8.70	22,803	19,286	11.75	3,517	13.77	12,955	365	0.52	12,590	8.34	10.39
45 - 49	47,279	11.50	30,754	26,417	16.09	4,337	16.98	16,525	301	0.43	16,224	10.74	10.52
50 - 54	37,508	9.13	24,421	21,379	13.02	3,042	11.91	13,087	345	0.49	12,742	8.44	8.68
55 - 59	34,167	8.31	21,394	19,104	11.64	2,290	8.97	12,773	398	0.57	12,375	8.19	6.68
60 - 64	30,558	7.44	19,513	18,171	11.07	1,342	5.25	11,045	619	0.88	10,426	6.90	4.49
65 - 69	19,018	4.63	10,262	9,629	5.87	633	2.48	8,756	1,454	2.07	7,302	4.84	2.27
70 - 74	7,337	1.79	2,125	1,926	1.17	199	0.78	5,212	1,558	2.22	3,654	2.42	0.97
計	410,937	100	189,704	164,161	100	25,543	100	221,233	70,174	100	151,059	100	100

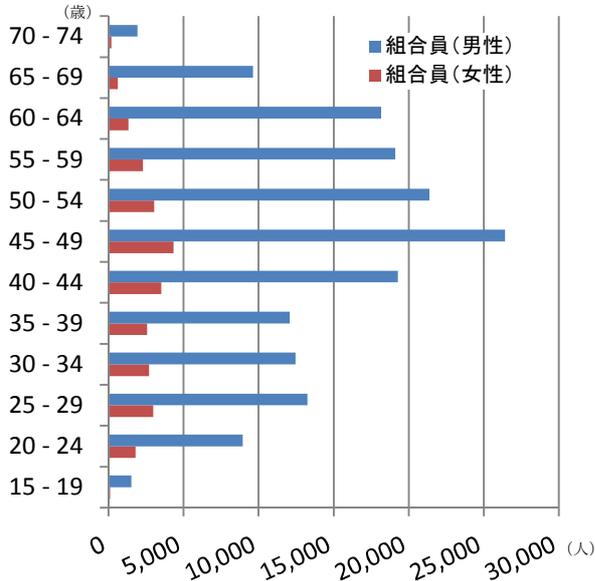
※「組合健保構成比」については「健康保険・船員保険被保険者実態調査」の調査要綱に基づき、一定の条件により抽出した調査客体から算出している。

(表-3) 加入者平均年齢（平成 29 年 9 月末現在）

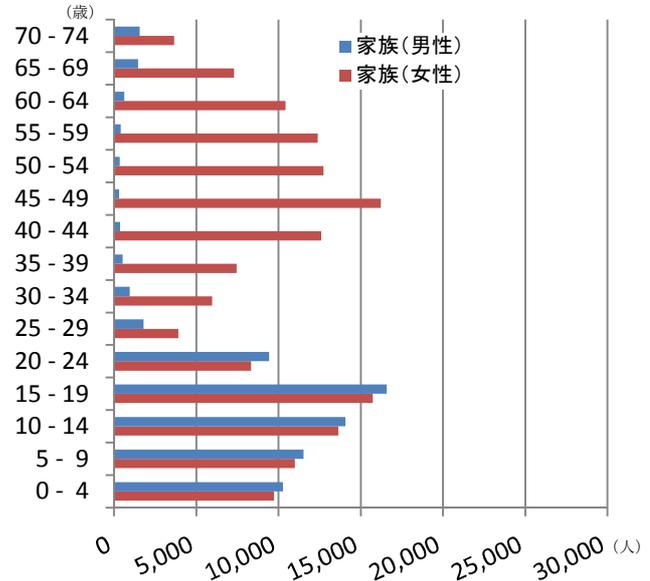
	全 国 土 木						組 合 健 保						
	組 合 員			家 族			被 保 険 者			被 扶 養 者			
	男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		
37.0	45.8	46.3	42.5	29.4	16.7	35.3	34.9	42.7	43.8	40.5	25.0	12.5	31.3

出典：厚生労働省「健康保険・船員保険被保険者実態調査」

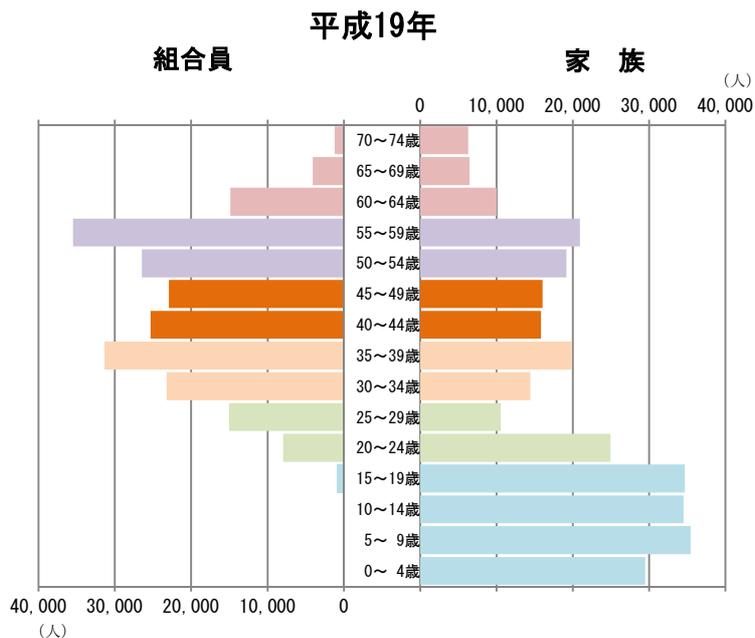
(図-2) 年齢階級別被保険者数（組合員）



(図-3) 年齢階級別被保険者数（家族）

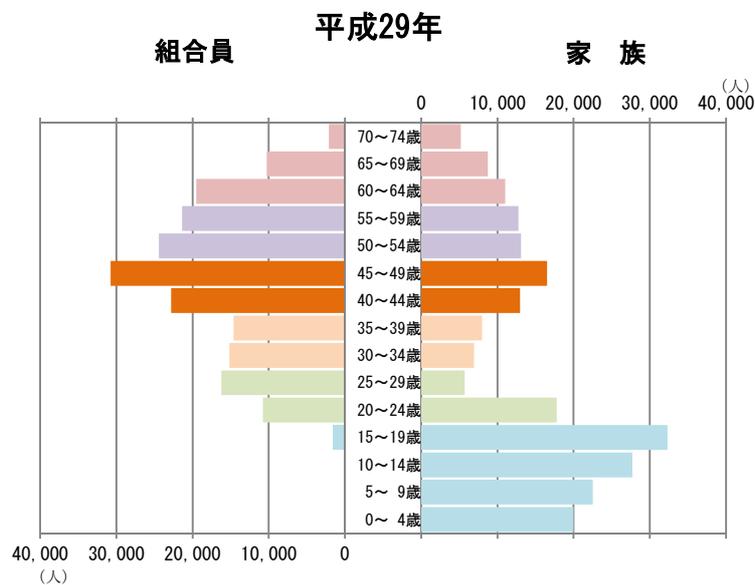
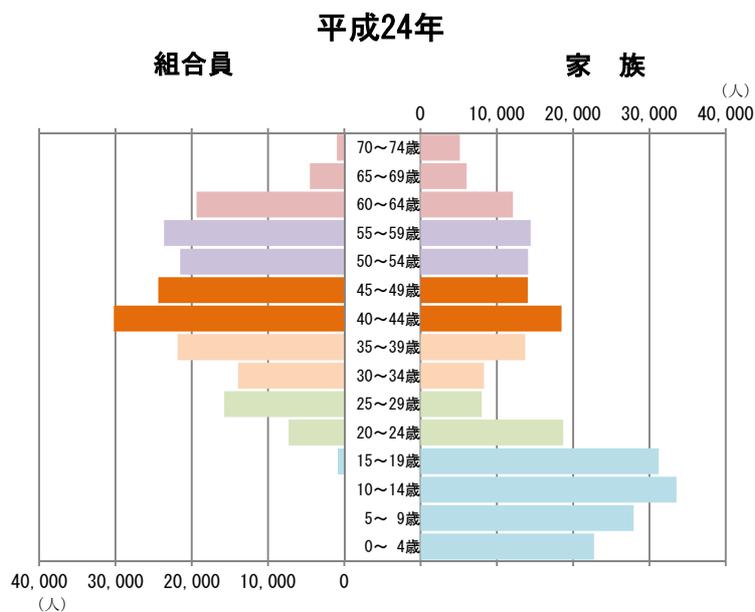


(参考) 組合員・家族別年齢階級別被保険者数の5年ごとの推移 (平成19年・平成24年・平成29年)



	平成19年	平成24年	平成29年
団塊の世代	57歳~61歳	62歳~66歳	67歳~71歳
団塊ジュニア	32歳~36歳	37歳~41歳	42歳~46歳

- [被保険者数及びその年齢構成に影響を与えたと考えられる制度改正や主な出来事]
- 平成18年4月
「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正
→60歳から64歳に支給される「特別支給の老齢厚生年金」の定額部分の支給開始年齢引き上げに伴い、段階的に65歳までの雇用確保措置が義務付けられた。
 - 平成23年3月
東日本大震災の発生 → 復旧・復興事業
 - 平成28年10月
「公的年金制度の財政基盤及び最低保障機能の強化等のための国民年金法等の一部を改正する法律」の一部改正
→特定適用事業所に勤務する短時間労働者に対し、健康保険・厚生年金保険の適用が拡大された。
 - 平成29年4月
特定適用事業所の範囲拡大 (任意適用開始)



(3) 前期高齢者の被保険者数

平成29年度における前期高齢者（65歳～74歳）の被保険者数は25,904人（組合員12,131人、家族13,773人）であり、前年度と比較すると7.22%（組合員14.51%、家族1.54%）増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向であり、この増加要因については、建設業界において、東日本大震災の復興事業や民間投資の回復等、建設需要の増加に伴う人材不足から、組合員が65歳に到達した後も引き続き加入しているためと推察される。また、平成28年10月から組合員の適用対象を短時間労働者にも拡大したことも一因と思われる。70歳以上の再掲については、組合員は増加傾向にあり、特に29年度は前年度と比較して大きく増加した（33.59%）が、家族はほぼ横ばいとなっている。

また、前期高齢者の加入率を組合健保と比較すると、全国土木の方が高く、その差は年々広がっている（25年度は1.44ポイント差、29年度は3.07ポイント差）。同様に、70歳以上についても全国土木の方が高く、その差が年々広がっている（25年度は0.50ポイント差、29年度は0.78ポイント差）。

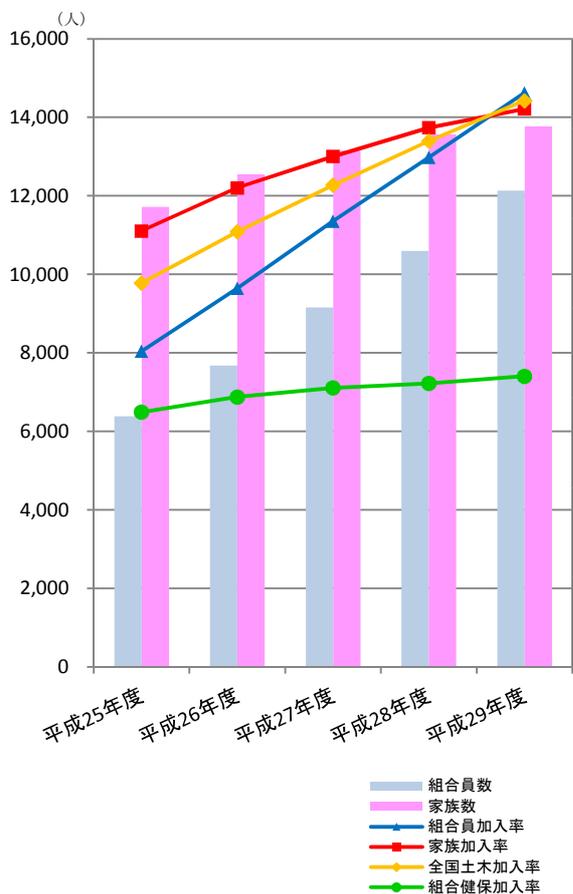
(表-4) 前期高齢者の被保険者数（月平均）

	前期高齢者数						前期高齢者加入率						組合健保 前期高齢者加入率	
	70歳以上 再掲		組合員数		家族数		70歳以上 再掲		組合員		家族		70歳以上 再掲	
	人	人	人	人	人	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年度	18,103	6,158	6,387	1,030	11,716	5,128	4.28	1.46	3.52	0.57	4.86	2.13	2.84	0.96
平成26年度	20,228	6,464	7,678	1,193	12,550	5,271	4.85	1.55	4.22	0.66	5.34	2.24	3.01	0.99
平成27年度	22,306	6,507	9,153	1,339	13,153	5,168	5.37	1.57	4.97	0.73	5.69	2.23	3.11	0.96
平成28年度	24,158	6,416	10,594	1,536	13,564	4,880	5.86	1.56	5.68	0.82	6.01	2.16	3.16	0.89
平成29年度	25,904	7,136	12,131	2,052	13,773	5,084	6.31	1.74	6.40	1.08	6.22	2.30	3.24	0.96

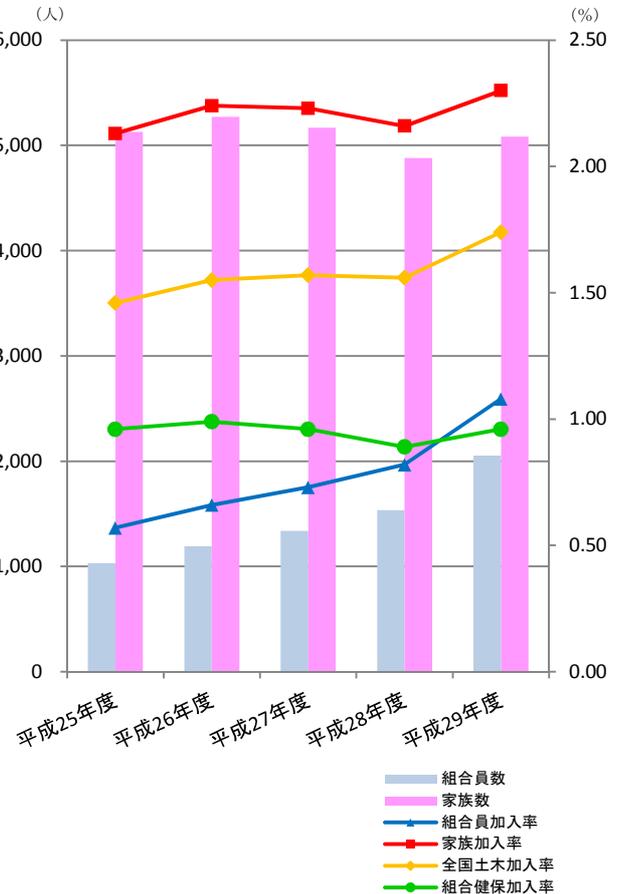
◎全保険者の平均前期高齢者加入率（平成29年度）：15.3%

出典 平成28年度以前：厚生労働省「健康保険・船員保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-4) 前期高齢者の被保険者数



(図-5) 前期高齢者の被保険者数（70歳以上再掲）



(4) 扶養率分析

平成 29 年度における扶養率は 1.17 人となっており、前年度と比較すると 3.31%減少している。
 なお、平成 25 年度からの推移をみると減少傾向であり、減少率は年々拡大し 5 年間で 0.15 人減少した。
 また、組合健保と比較すると、全国土木の扶養率が高く、平成 29 年度では 0.39 人の差となっている。この差の主な要因は、扶養率が高い男性組合員（被保険者）の割合（全国土木は 86.5%）が組合健保（66.0%）より 20.5 ポイント高いことにある。それに加え、組合員と同一世帯であれば、収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることも影響している。
 年齢階級別でみると、全国土木では 40 歳から 44 歳（1.70）が最も高く、組合健保では 45 歳から 49 歳（1.16）が最も高い。

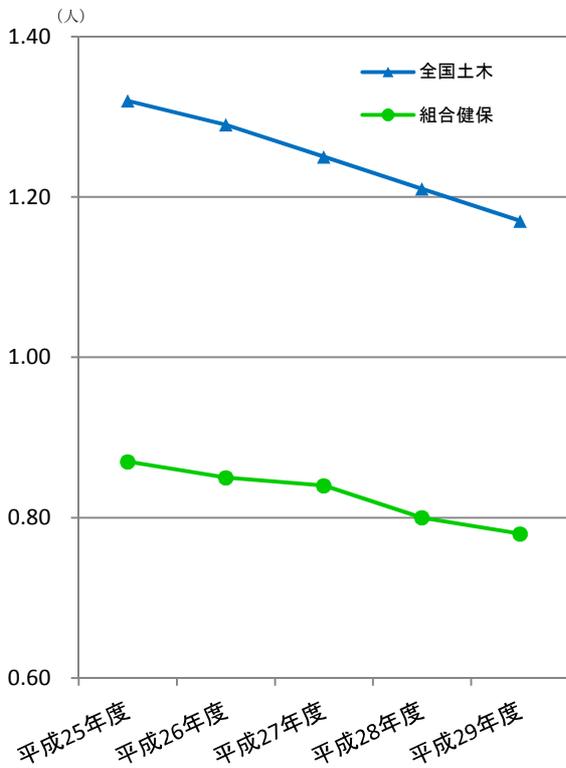
(表-5) 扶養率年度別推移

	全国土木		組合健保	
	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率
平成25年度	1.32	△ 2.22	0.87	0.00
平成26年度	1.29	△ 2.27	0.85	△ 2.30
平成27年度	1.25	△ 3.10	0.84	△ 1.18
平成28年度	1.21	△ 3.20	0.80	△ 4.76
平成29年度	1.17	△ 3.31	0.78	△ 2.50
組合健保との差(率)	0.39 (50.00%)	△ 0.81		

(表-6) 組合員の年齢階級別、性別、扶養率（平成 29 年 9 月末現在）

組合員 (被保険者) 年齢別	全国土木			組合健保		
	男性	女性		男性	女性	
15 - 19	0.20	0.20	0.26	0.02	0.02	0.00
20 - 24	0.18	0.20	0.11	0.04	0.07	0.02
25 - 29	0.36	0.42	0.12	0.19	0.29	0.04
30 - 34	0.98	1.14	0.24	0.59	0.88	0.10
35 - 39	1.49	1.73	0.39	0.97	1.41	0.18
40 - 44	1.70	1.92	0.48	1.15	1.61	0.24
45 - 49	1.66	1.88	0.34	1.16	1.63	0.22
50 - 54	1.45	1.63	0.21	1.03	1.43	0.16
55 - 59	1.06	1.17	0.18	0.80	1.07	0.08
60 - 64	0.89	0.94	0.24	0.66	0.85	0.06
65 - 69	0.86	0.90	0.28	0.68	0.83	0.05
70 - 74	0.81	0.88	0.21	0.70	0.82	0.03
計	1.17	1.30	0.27	0.78	1.12	0.13

(図-6) 扶養率年度別推移

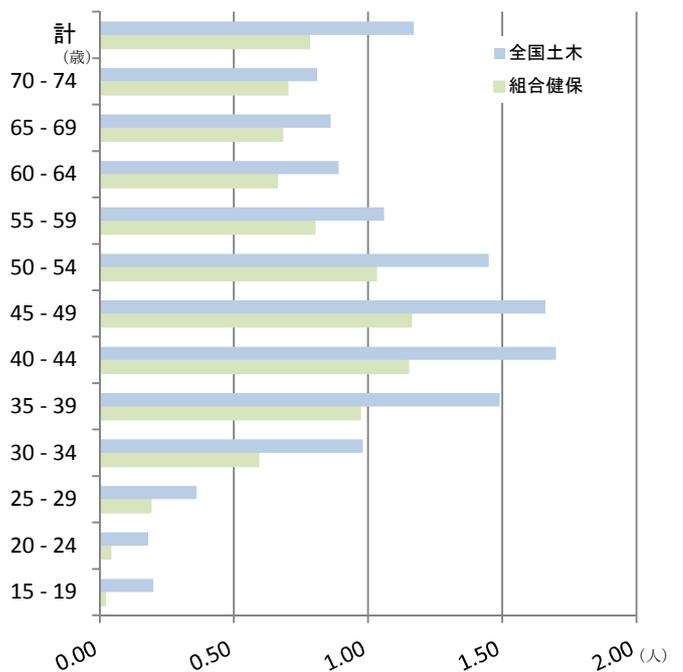


※組合員（被保険者）性別比

性別比	全国土木		組合健保	
	男性	女性	男性	女性
	86.5%	13.5%	66.0%	34.0%

出典：厚生労働省「健康保険・船員保険被保険者実態調査」

(図-7) 年齢階級別、扶養率



2 医療費の状況

(1) 医療費

平成29年度における医療費は約737億円であり、前年度と比較して2.50%増加している。このうち70歳未満の組合員は約334億円、家族は約361億円であり、前年度と比較して組合員は4.51%増加し、家族は0.30%減少している。

なお、平成25年度からの推移をみると、増加傾向にあり、特に平成27年度と平成29年度の増加率が大きい。

また、医療費の動向を組合健保と比較すると、組合員は組合健保と同様に増加傾向にある。家族は、平成25年度については、全国土木が大きく減少する一方、組合健保はほぼ横ばいである。平成26年度以降は組合健保とほぼ同様の傾向にあり、平成26年度はほぼ横ばい、平成27年度に大きく増加し、平成28年度以降は再びほぼ横ばいとなっている。

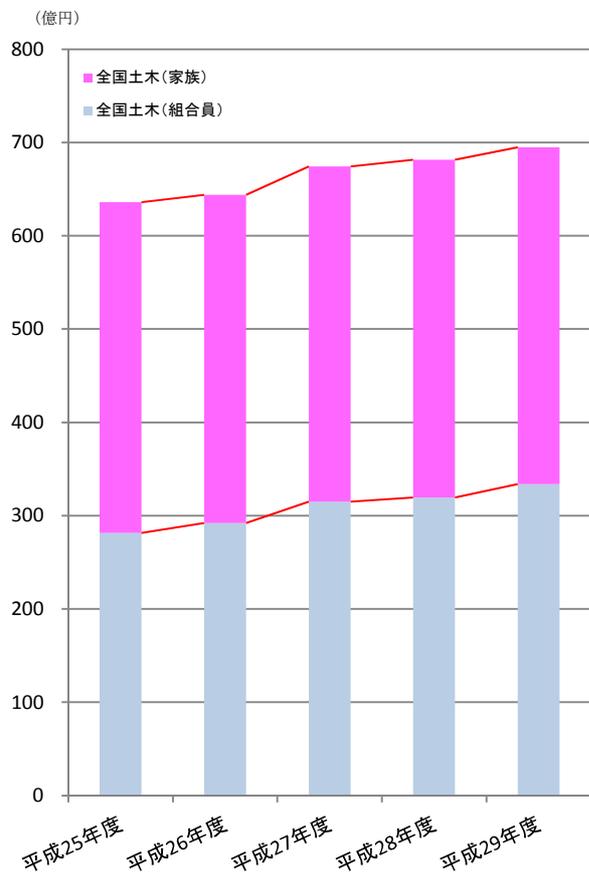
(表-7) 医療費

(億円)

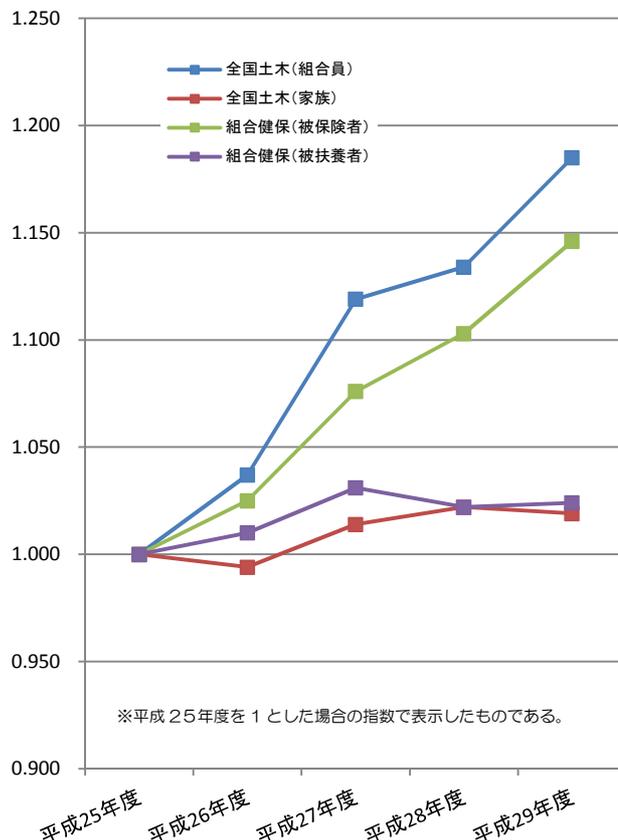
	全 国 土 木						組 合 健 保					
			組 合 員		家 族				被 保 険 者		被 扶 養 者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成25年度	672	△ 0.01	282	2.22	354	△ 2.21	42,057	0.68	21,058	1.77	19,457	△ 0.58
平成26年度	682	1.50	292	3.67	352	△ 0.65	42,809	1.79	21,575	2.46	19,648	0.98
平成27年度	715	4.86	315	7.95	359	2.02	44,304	3.49	22,665	5.05	20,053	2.06
平成28年度	719	0.54	319	1.34	362	0.84	44,555	0.56	23,225	2.47	19,885	△ 0.84
平成29年度	737	2.50	334	4.51	361	△ 0.30	45,542	2.22	24,123	3.86	19,933	0.24

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-8) 医療費



(図-9) 医療費の動向



(2) 診療区分別の医療費

平成29年度における診療区分別の医療費は、全国土木は医科入院外が299億円（41.02%）と全体の4割以上を占め、次いで医科入院200億円（27.43%）となっており、組合健保も同様に医科入院外1兆8,986億円（42.07%）、医科入院1兆1,272億円（24.98%）となっている。

なお、70歳未満の組合員（被保険者）と家族（被扶養者）の割合をみると、全国土木は組合員（48.26%）が家族（51.74%）より3.48ポイント低くなっているが、組合健保では被保険者（54.89%）が被扶養者（45.11%）より9.78ポイント高くなっている。

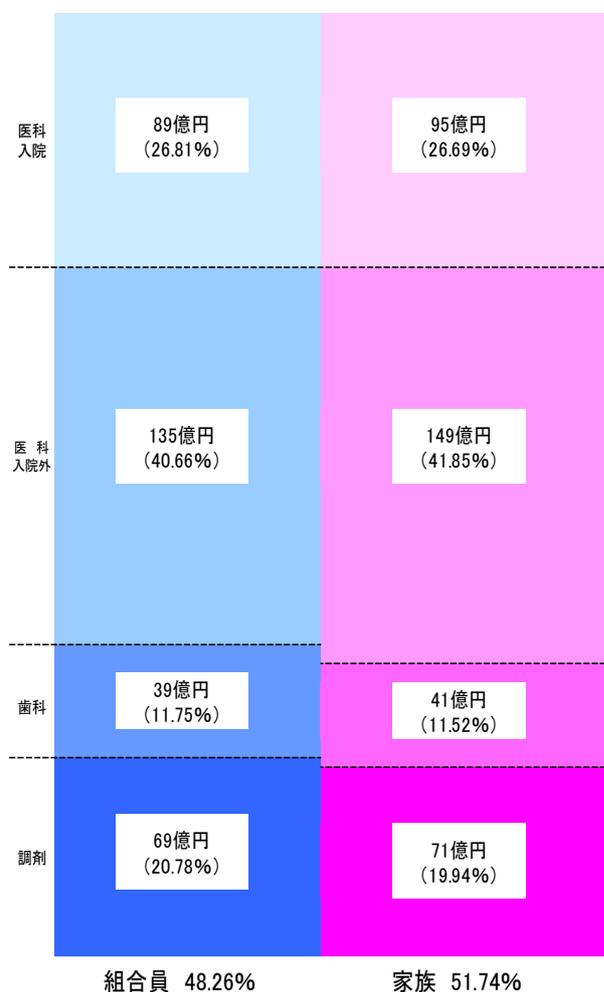
(表-8) 診療区分別医療費（平成29年度）

	全 国 土 木						組 合 健 保					
			組 合 員		家 族				被 保 険 者		被 扶 養 者	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医 科 入 院	200	27.43	89	26.81	95	26.69	11,272	24.98	5,689	23.74	5,071	25.74
医 科 入 院 外	299	41.02	135	40.66	149	41.85	18,986	42.07	10,032	41.86	8,398	42.64
歯 科	82	11.25	39	11.75	41	11.52	5,542	12.28	3,184	13.28	2,258	11.46
調 剤	148	20.30	69	20.78	71	19.94	9,330	20.67	5,062	21.12	3,971	20.16
計	729	100	332	100	356	100	45,130	100	23,967	100	19,698	100

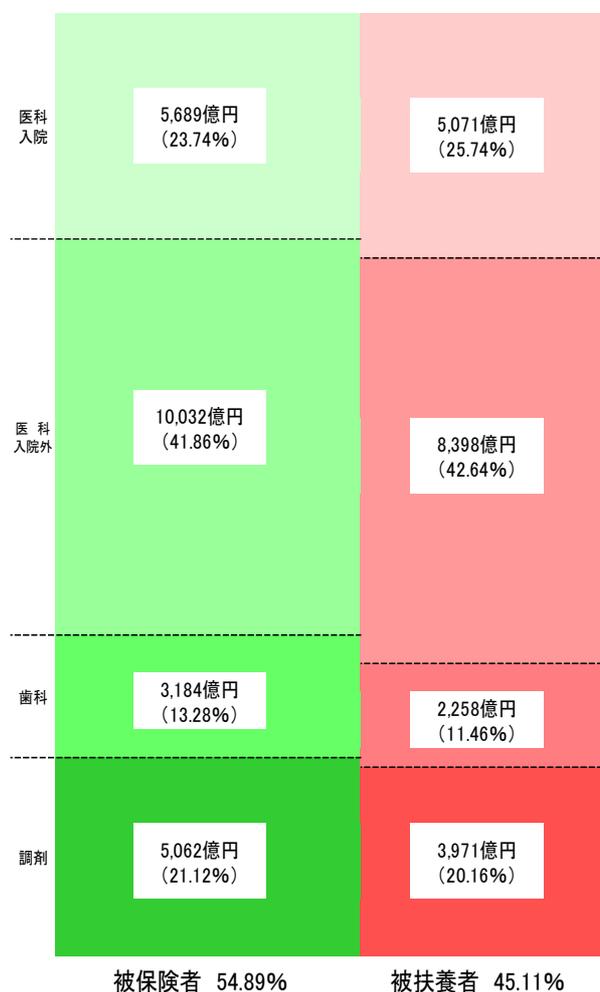
※「医科入院」及び「歯科」は入院時食事・生活療養費を除く。

出典：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-10) 診療区分別医療費（全国土木）



(図-11) 診療区分別医療費（組合健保）



(3) 1人当たり医療費

平成29年度における1人当たり医療費は179,311円であり、前年度と比較して2.88%増加している。このうち70歳未満の組合員は178,061円、家族は166,985円であり、前年度と比較して組合員は3.14%、家族は1.87%それぞれ増加している。

なお、平成25年度以降の推移をみると、組合員、家族ともに毎年増加している。組合員については、平成28年度は平成27年度とほぼ横ばいであったが、平成29年度は再び増加した。

また、1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員30,997円、家族11,283円）、特に組合員の差が大きくなっている。

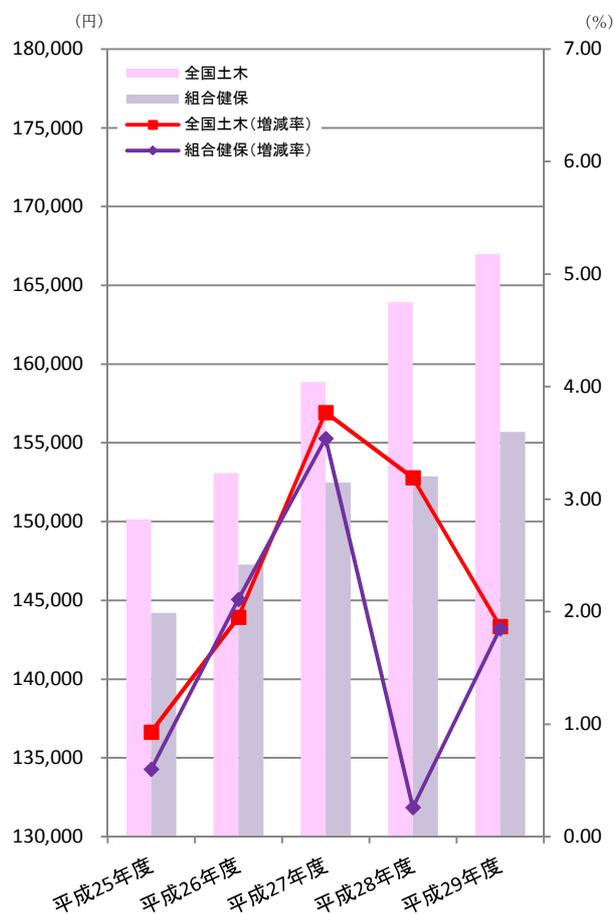
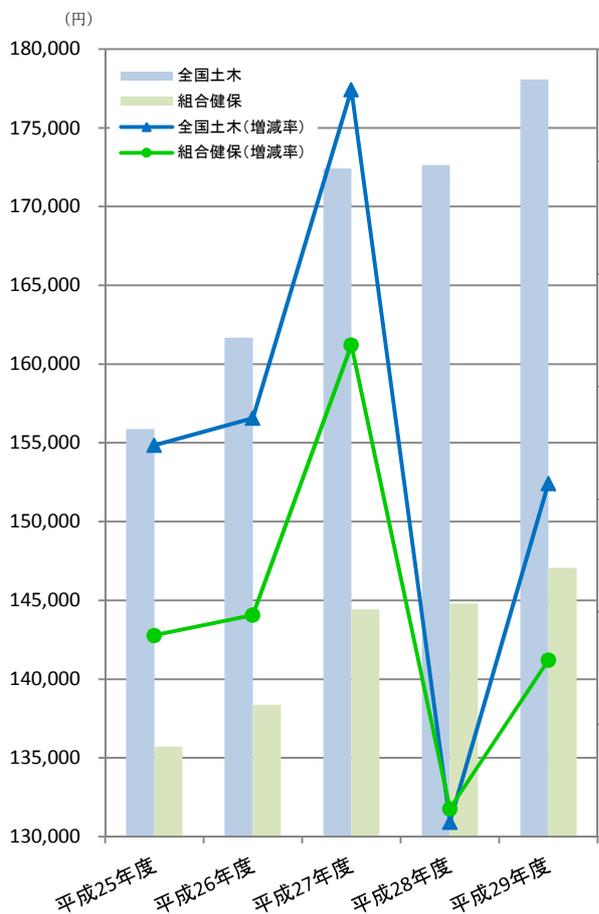
(表-9) 1人当たり医療費

(円)

	全国土木						組合健保					
			組合員		家族				被保険者		被扶養者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成25年度	158,843	2.26	155,889	3.48	150,144	0.93	143,592	1.22	135,712	1.79	144,213	0.60
平成26年度	163,462	2.91	161,681	3.72	153,077	1.95	146,488	2.02	138,380	1.97	147,263	2.11
平成27年度	172,075	5.27	172,413	6.64	158,850	3.77	152,125	3.85	144,430	4.37	152,473	3.54
平成28年度	174,287	1.29	172,641	0.13	163,916	3.19	152,010	△ 0.08	144,788	0.25	152,877	0.26
平成29年度	179,311	2.88	178,061	3.14	166,985	1.87	154,443	1.60	147,064	1.57	155,702	1.85
組合健保との 差(率)	24,868 (16.10%)	1.28 ^P	30,997 (21.08%)	1.57 ^P	11,283 (7.25%)	0.02 ^F	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-12) 1人当たり医療費（組合員）

(図-13) 1人当たり医療費（家族）



(4) 年齢階級別1人当たり医療費

平成28年度における年齢階級別1人当たり医療費は、0歳から4歳の乳幼児層及び50歳以降の中高齢層で高くなる傾向となっており、特に前期高齢者納付金に影響する前期高齢者（65歳～74歳）の1人当たり医療費が高い。

なお、組合健保と比較すると、いずれの年齢階級についても概ね全国土木の方が高く、特に50歳から64歳の年齢層が高い。それに加え、45歳以降の加入者構成比が全国土木の方が大きいことから、全体の1人当たり医療費を押し上げ、全体では、全国土木（174,287円）が組合健保（152,010円）より22,277円（14.65%）高くなっている。

しかし、全国土木の1人当たり医療費を、本人割合、男女割合、年齢構成を組合健保と揃えて計算すると、155,158円となる。加入者構成の違いによる差が19,129円（12.58%）であり、これを調整した後の組合健保との差は3,148円、率にして2.07%となる。

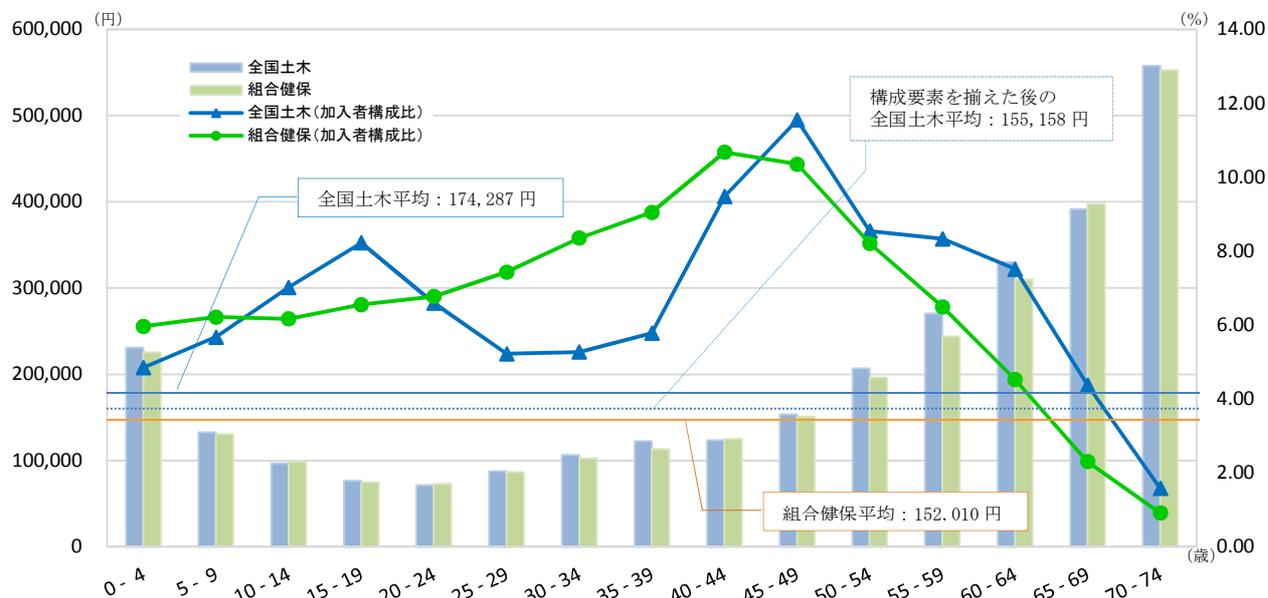
全国土木と組合健保の1人当たり医療費の差を100%として要因別の寄与率をみると、年齢構成の違いによる影響が79%と全体の8割弱を占め、特に「本人：男性」の年齢構成の違いによる影響が41%と大きい。また、本人割合は△1%、男女割合は8%の影響であり、本人割合、男女割合、年齢構成以外のその他医療費等（医療費水準等）の影響は14%である。

(表-10) 年齢階級別1人当たり医療費（平成28年度）

歳 歳	1人当たり医療費			加入者構成比		
	全国土木 円	組合健保 円	組合健保との差(率) 円 (率)	全国土木 %	組合健保 %	組合健保との差 P
0 - 4	230,864	225,549	5,315 (2.36%)	4.85	5.96	△ 1.11
5 - 9	132,935	130,663	2,272 (1.74%)	5.67	6.22	△ 0.55
10 - 14	97,036	98,437	△ 1,401 (△1.42%)	7.02	6.17	0.85
15 - 19	76,812	74,821	1,991 (2.66%)	8.22	6.55	1.67
20 - 24	71,540	73,036	△ 1,496 (△2.05%)	6.59	6.77	△ 0.18
25 - 29	87,764	86,652	1,112 (1.28%)	5.22	7.43	△ 2.21
30 - 34	106,591	102,707	3,884 (3.78%)	5.27	8.35	△ 3.08
35 - 39	122,366	113,350	9,016 (7.95%)	5.78	9.05	△ 3.27
40 - 44	123,658	125,000	△ 1,342 (△1.07%)	9.48	10.68	△ 1.20
45 - 49	153,504	151,121	2,383 (1.58%)	11.55	10.35	1.20
50 - 54	207,040	196,205	10,835 (5.52%)	8.54	8.21	0.33
55 - 59	270,491	244,038	26,453 (10.84%)	8.33	6.49	1.84
60 - 64	330,112	309,794	20,318 (6.56%)	7.51	4.53	2.98
65 - 69	391,631	397,394	△ 5,763 (△1.45%)	4.38	2.31	2.07
70 - 74	557,598	552,489	5,109 (0.92%)	1.59	0.92	0.67
全 体	174,287	152,010	22,277 (14.65%)	100.00	100.00	-
全 体	155,158	152,010	3,148 (2.07%)	本人割合、男女割合、年齢構成を組合健保と揃えた場合		

※「1人当たり医療費」は、基礎資料である年齢階級別医療費に訪問看護療養費が含まれていないことから、表-9「1人当たり医療費」に合わせるため金額を補正し、算出している。

(図-14) 年齢階級別1人当たり医療費

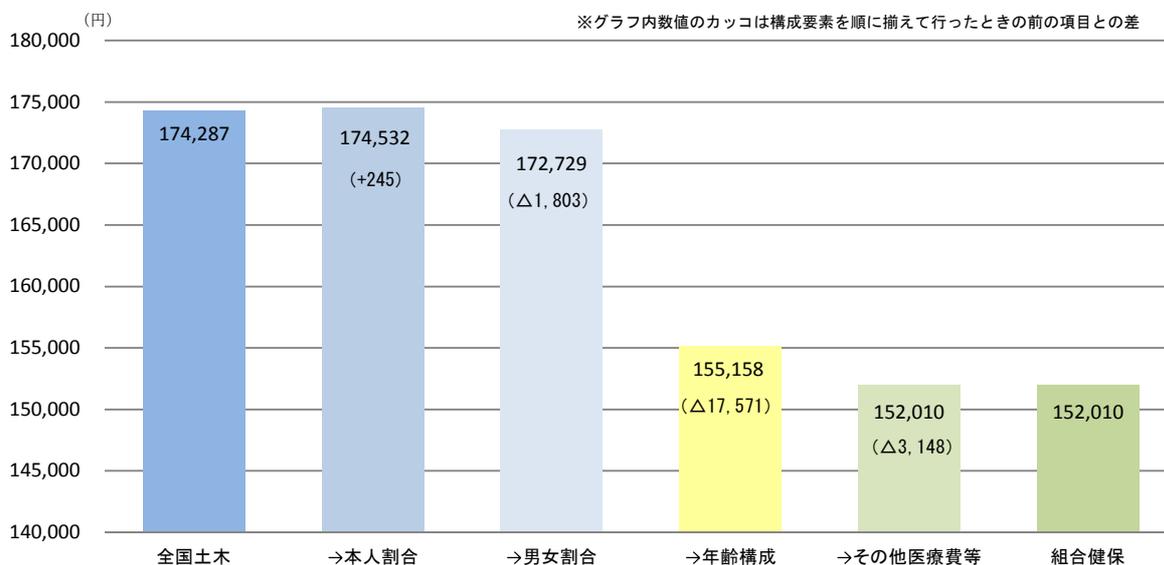


(参考) 組合健保の本人割合、男女割合、年齢構成と順に揃えていった場合の全国土木の1人当たり医療費

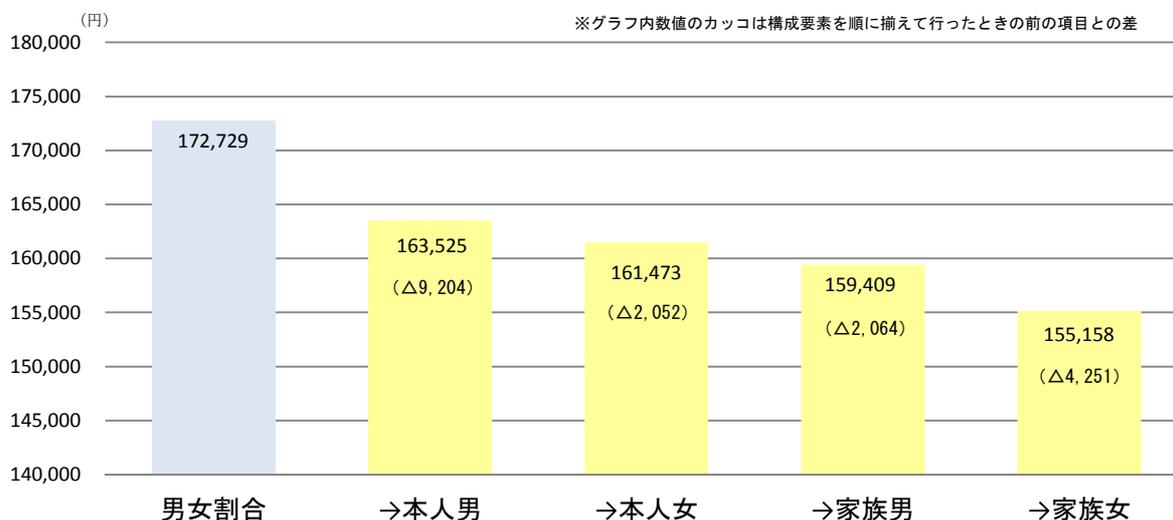
	順次、組合健保と同じにすると					組合健保
	全国土木	→本人割合	→男女割合	→年齢構成	→その他医療費等	
加入者1人当たり医療費(円)	174,287	174,532	172,729	155,158	152,010	152,010
差(円)		245	△ 1,803	△ 17,571	△ 3,148	△ 22,277
寄与率(%)		△ 1.10	8.09	78.88	14.13	100.00
寄与度(%)		△ 0.16	1.19	11.56	2.07	13.14

	年齢構成内訳			
	→本人男	→本人女	→家族男	→家族女
加入者1人当たり医療費(円)	163,525	161,473	159,409	155,158
差(円)	△ 9,204	△ 2,052	△ 2,064	△ 4,251
寄与率(%)	41.32	9.21	9.27	19.08
寄与度(%)	6.05	1.35	1.36	2.80

構成要素を揃えていったときのイメージ



年齢構成をそろえた時の内訳



(5) 診療区分別1人当たり医療費

平成29年度の診療区分別の1人当たり医療費の詳細については、後述（医科入院13ページ、医科入院外20ページ、歯科23ページ、調剤26ページ）のとおりであるが、各診療区分の1人当たり医療費を一覧にして平成25年度からの推移をみると、全体的に増加傾向にあり、平成28年度から平成29年度は、医科入院を除きその前年よりも高くなっている。

調剤については、平成27年度は高額薬剤の保険適用の影響も含めた薬剤費全体の増加のため9.72%と大幅に増加した後、平成28年度は薬価のマイナス改定及び前年度の大幅増の反動のため一転して2.13%の減少となったが、平成29年度は再び増加している。

また、1人当たり医療費を組合健保と比較すると、いずれの診療区分についても全国土木が高く、特に医科入院は27.44%増と差が大きくなっている。

(表-11) 診療区分別1人当たり医療費

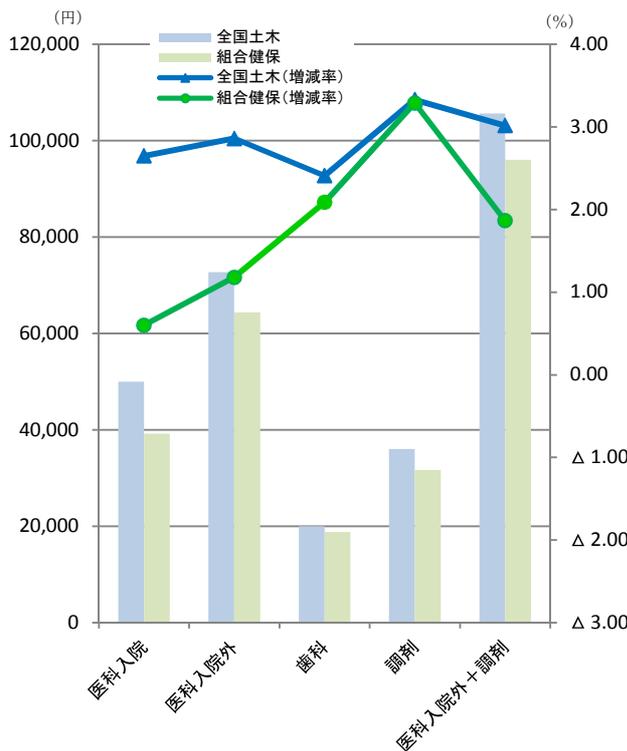
(円)

全国土木	医科入院	対前年度		医科入院外	対前年度		歯科	対前年度		調剤	対前年度		(医科入院外+調剤)	対前年度	
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率
平成25年度	44,356	1,240	2.88	64,553	786	1.23	18,084	60	0.33	31,600	1,391	4.60	96,153	2,177	2.32
平成26年度	45,300	944	2.13	66,472	1,919	2.97	18,887	803	4.44	32,500	900	2.85	98,972	2,819	2.93
平成27年度	47,336	2,036	4.50	69,566	3,094	4.65	19,170	283	1.50	35,659	3,159	9.72	105,225	6,253	6.32
平成28年度	48,711	1,375	2.91	70,720	1,154	1.66	19,529	359	1.87	34,899	△760	△2.13	105,619	394	0.37
平成29年度	50,001	1,290	2.65	72,744	2,024	2.86	20,000	471	2.41	36,061	1,162	3.33	108,805	3,186	3.02

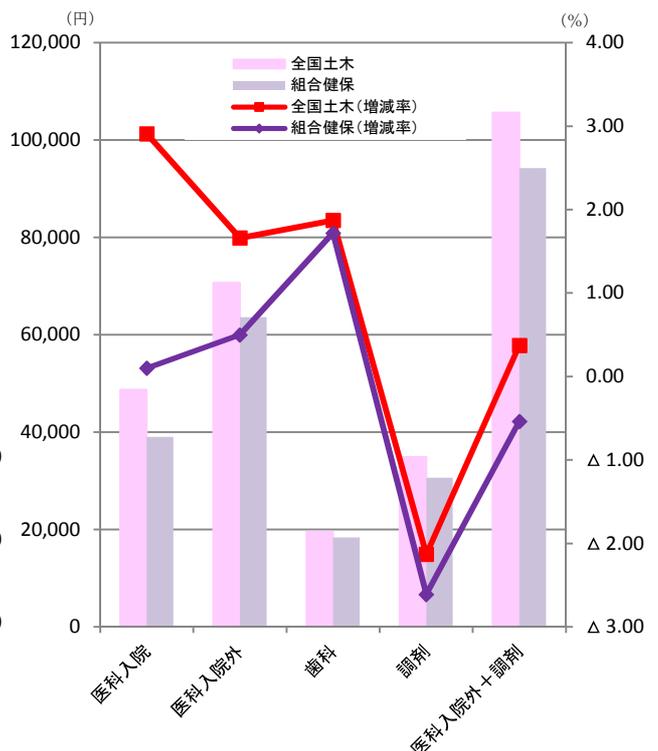
組合健保	医科入院	対前年度		医科入院外	対前年度		歯科	対前年度		調剤	対前年度		(医科入院外+調剤)	対前年度	
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率
平成25年度	37,664	219	0.58	60,113	356	0.60	17,203	76	0.45	28,397	1,066	3.90	88,510	1,422	1.63
平成26年度	38,191	527	1.40	61,213	1,100	1.83	17,783	580	3.38	29,058	661	2.32	90,270	1,760	1.99
平成27年度	38,963	772	2.02	63,321	2,108	3.44	18,099	316	1.78	31,454	2,396	8.25	94,775	4,505	4.99
平成28年度	39,002	39	0.10	63,635	314	0.50	18,410	311	1.72	30,632	△822	△2.61	94,267	△508	△0.54
平成29年度	39,236	234	0.60	64,385	750	1.18	18,795	385	2.09	31,641	1,009	3.29	96,026	1,759	1.87

組合健保との差(率)	医科入院	対前年度増減率	医科入院外	対前年度増減率	歯科	対前年度増減率	調剤	対前年度増減率	(医科入院外+調剤)	対前年度増減率
平成29年度	10,765 (27.44%)	2.05 ^P	8,359 (12.98%)	1.68 ^P	1,205 (6.41%)	0.32 ^P	4,420 (13.97%)	0.04 ^P	12,779 (13.31%)	1.15 ^P

(図-15) 診療区分別1人当たり医療費(平成29年度)



(図-16) 診療区分別1人当たり医療費(平成28年度)



(参考) 組合健保の本人割合、男女割合、年齢構成に揃えた場合の全国土木の診療区分別1人当たり医療費(平成28年度)

前述のとおり、平成29年度の診療区分別の1人当たり医療費を組合健保と比較すると、いずれの診療区分についても全国土木が高くなっており、例年同様の傾向にある。

しかし、9ページでみたように、平成28年度の全国土木の1人当たり医療費を、診療区分別に本人割合、男女割合、年齢構成を組合健保と揃えて計算すると、医科(入院+入院外)は105,129円、歯科は18,904円、調剤は30,784円となる。

組合健保との差は、医科(入院+入院外)2,492円、歯科494円、調剤152円、率にしてそれぞれ2.43%、2.68%、0.5%と、差は小さくなる。

要因別には、いずれの診療区分においても年齢構成の違いによる影響が大きく、特に歯科及び調剤では約9割を占めている。

(円)

平成28年度	全国土木			組合健保	全国土木実績値の 組合健保との差(率)	全国土木調整後の 組合健保との差(率)	
	実績値	⇒	調整後				
医科 (入院+入院外)	119,431			105,129	102,637	16,794 (16.36%)	2,492 (2.43%)
歯科	19,529			18,904	18,410	1,119 (6.08%)	494 (2.68%)
調剤	34,899		30,784	30,632	4,267 (13.93%)	152 (0.50%)	

○医科(入院+入院外)

	順位、健保組合と同じにすると					
	全国土木	→本人割合	→男女割合	→年齢構成	→その他医療費等	組合健保
加入者1人当たり 医療費(円)	119,431	119,374	117,842	105,129	102,637	102,637
差(円)		△ 57	△ 1,532	△ 12,713	△ 2,492	△ 16,794
寄与率(%)		0.34	9.12	75.70	14.84	100.00
寄与度(%)		0.06	1.49	12.39	2.43	13.14

○歯科

	順位、健保組合と同じにすると					
	全国土木	→本人割合	→男女割合	→年齢構成	→その他医療費等	組合健保
加入者1人当たり 医療費(円)	19,529	19,657	19,920	18,904	18,410	18,410
差(円)		128	263	△ 1,016	△ 494	△ 1,119
寄与率(%)		△ 11.44	△ 23.50	90.80	44.15	100.00
寄与度(%)		△ 0.70	△ 1.43	5.52	2.68	13.14

○調剤

	順位、健保組合と同じにすると					
	全国土木	→本人割合	→男女割合	→年齢構成	→その他医療費等	組合健保
加入者1人当たり 医療費(円)	34,899	35,138	34,601	30,784	30,632	30,632
差(円)		239	△ 537	△ 3,817	△ 152	△ 4,267
寄与率(%)		△ 5.60	12.58	89.45	3.56	100.00
寄与度(%)		△ 0.78	1.75	12.46	0.50	13.14

(6) 医科入院

①入院1人当たり医療費

平成29年度における入院1人当たり医療費は50,001円であり、前年度と比較して2.65%増加している。このうち70歳未満の組合員は48,528円、家族は45,523円であり、前年度と比較して組合員は2.76%、家族は0.54%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は平成27年度まで増加傾向にあり、平成28年度はほぼ横ばいであったものの、平成29年度は再び増加した。家族はほぼ横ばいに推移し、平成28年度に大きく増加したが、平成29年度は再びほぼ横ばいとなった。

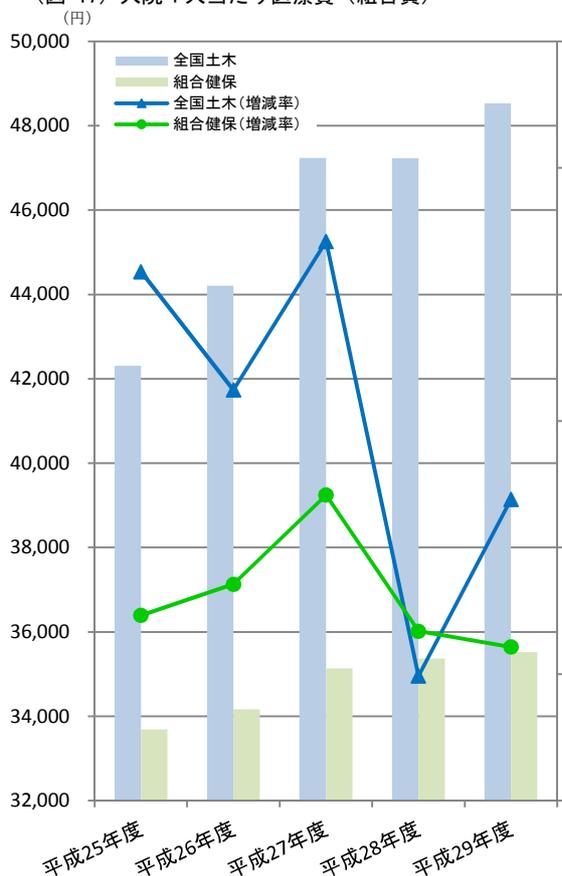
また、入院1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている（組合員13,004円、家族4,798円）。後述のとおり、組合員については100人当たり新規入院件数が多いこと、家族については推計平均在院日数が長いことからこの差が表れたものと推察される。

(表-12) 入院1人当たり医療費

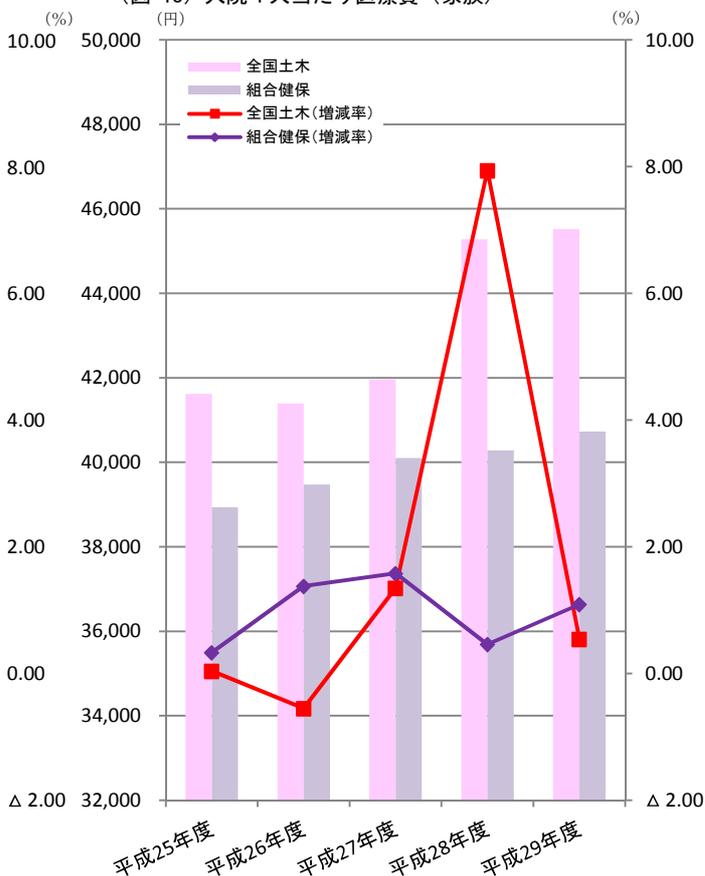
(円)

	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成25年度	44,356	2.88	42,312	6.36	41,619	0.04	37,664	0.58	33,687	0.93	38,940	0.33
平成26年度	45,300	2.13	44,212	4.49	41,391	△ 0.55	38,191	1.40	34,166	1.42	39,478	1.38
平成27年度	47,336	4.50	47,238	6.84	41,949	1.35	38,963	2.02	35,133	2.83	40,101	1.58
平成28年度	48,711	2.91	47,225	△ 0.03	45,280	7.94	39,002	0.10	35,373	0.68	40,285	0.46
平成29年度	50,001	2.65	48,528	2.76	45,523	0.54	39,236	0.60	35,524	0.43	40,725	1.09
組合健保との 差(率)	10,765 (27.44%)	2.05 ^p	13,004 (36.61%)	2.33 ^p	4,798 (11.78%)	△ 0.55 ^p	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-17) 入院1人当たり医療費(組合員)



(図-18) 入院1人当たり医療費(家族)



②推計新規入院件数

平成29年度における推計新規入院件数は28,439件であり、前年度と比較して1.69%増加している。このうち70歳未満の組合員は12,515件、家族は14,416件であり、前年度と比較して組合員は3.30%増加、家族は0.57%減少している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であり、特に平成27年度は大きく増加した。家族は平成26年度まで減少傾向、平成27年度は一転して増加したものの、平成28年度からは再び減少傾向にある。

また、推計新規入院件数の動向を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに被保険者、被扶養者と同様の傾向にある。

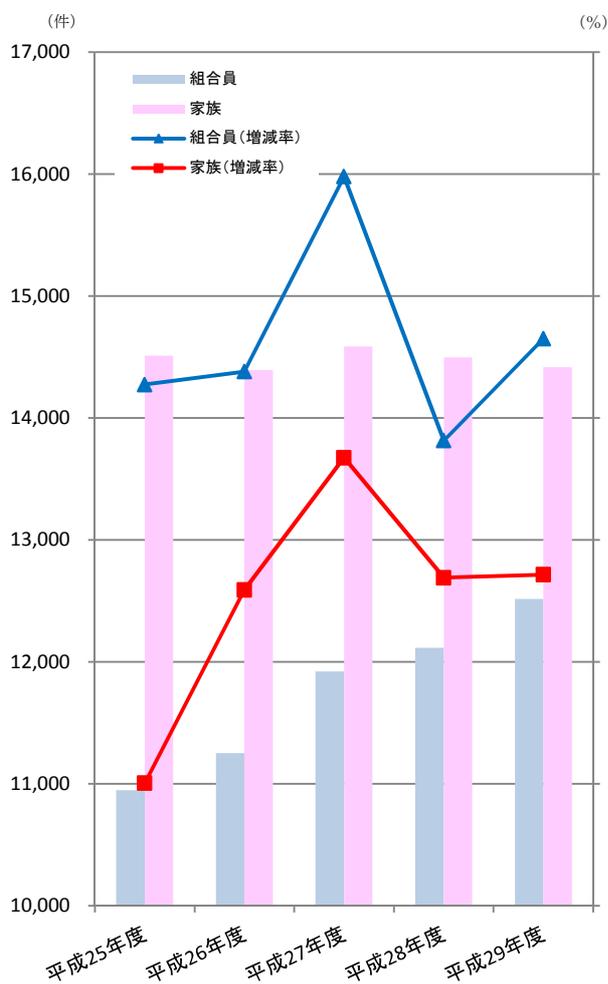
(表-13) 推計新規入院件数

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成25年度	26,688	△ 1.25	10,948	2.55	14,512	△ 3.99	1,713,519	△ 0.52	789,877	0.93	868,073	△ 1.86
平成26年度	27,007	1.20	11,250	2.76	14,393	△ 0.82	1,724,076	0.62	802,709	1.62	863,974	△ 0.47
平成27年度	28,011	3.72	11,921	5.96	14,588	1.35	1,757,830	1.96	831,837	3.63	869,377	0.63
平成28年度	27,967	△ 0.16	12,115	1.63	14,498	△ 0.62	1,762,653	0.27	852,731	2.51	857,306	△ 1.39
平成29年度	28,439	1.69	12,515	3.30	14,416	△ 0.57	1,769,743	0.40	872,422	2.31	843,808	△ 1.57

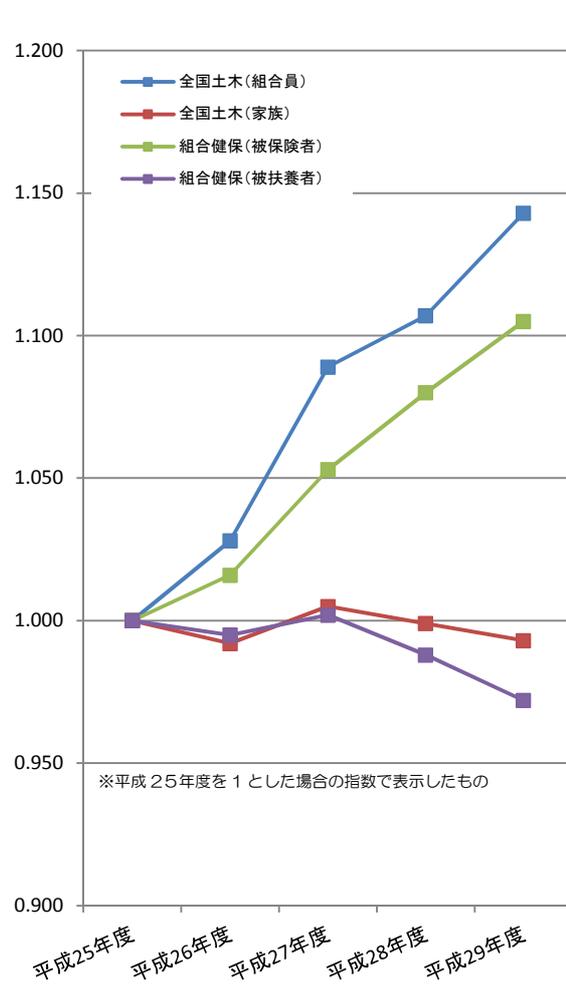
※推計新規入院件数は、医科入院受診延日数を推計平均在院日数で除して得た値である。

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-19) 推計新規入院件数（全国土木）



(図-20) 推計新規入院件数の動向



③100人当たり新規入院件数

平成29年度における100人当たり新規入院件数は6.92件であり、前年度と比較して2.06%増加している。このうち70歳未満の組合員は6.68件、家族は6.67件であり、前年度と比較して組合員は1.98%、家族は1.68%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向である。

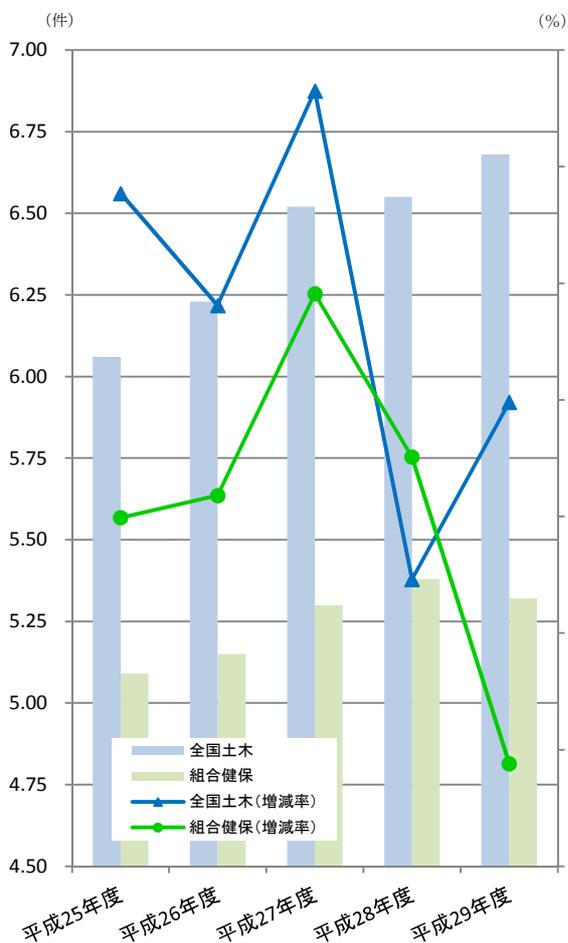
また、100人当たり新規入院件数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が多くなっている（組合員1.36件、家族0.08件）。そのうち家族は、平成28年度までは組合健保の方が多かったが、平成29年度は全国土木が組合健保をわずかながら上回る結果となった。

(表-14) 100人当たり新規入院件数

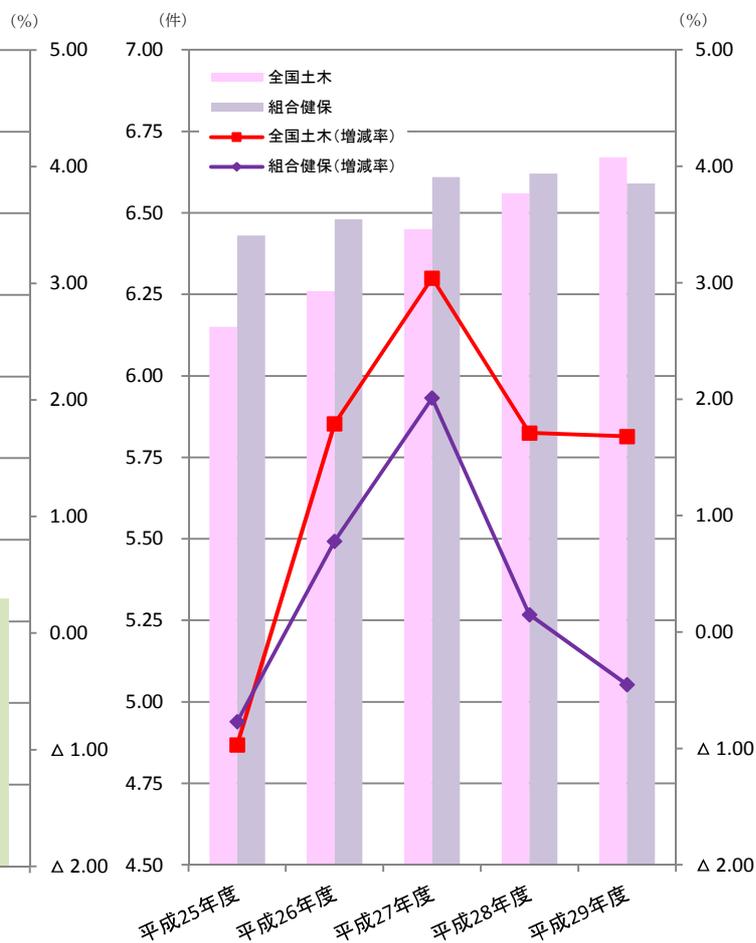
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族		対前年度 増減率	対前年度 増減率	被保険者		被扶養者		
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成25年度	6.31	0.96	6.06	3.77	6.15	△ 0.97	5.85	0.00	5.09	0.99	6.43	△ 0.77
平成26年度	6.48	2.69	6.23	2.81	6.26	1.79	5.90	0.85	5.15	1.18	6.48	0.78
平成27年度	6.74	4.01	6.52	4.65	6.45	3.04	6.04	2.37	5.30	2.91	6.61	2.01
平成28年度	6.78	0.59	6.55	0.46	6.56	1.71	6.06	0.33	5.38	1.51	6.62	0.15
平成29年度	6.92	2.06	6.68	1.98	6.67	1.68	6.00	△ 0.99	5.32	△ 1.12	6.59	△ 0.45
組合健保との 差(率)	0.92 (15.33%)	3.05 ^P	1.36 (25.56%)	3.10 ^P	0.08 (1.21%)	2.13 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※100人当たり新規入院件数は、推計新規入院件数を加入者100人当たりで除して得た値である。

(図-21) 100人当たり新規入院件数（組合員）



(図-22) 100人当たり新規入院件数（家族）



④推計平均在院日数

平成29年度における推計平均在院日数は13.3日であり、前年度からの増減はない。このうち70歳未満の組合員は11.4日、家族は14.1日であり、こちらも前年度からの変化は見られない状況である。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともにやや減少傾向となっているが、大きな変動はない。

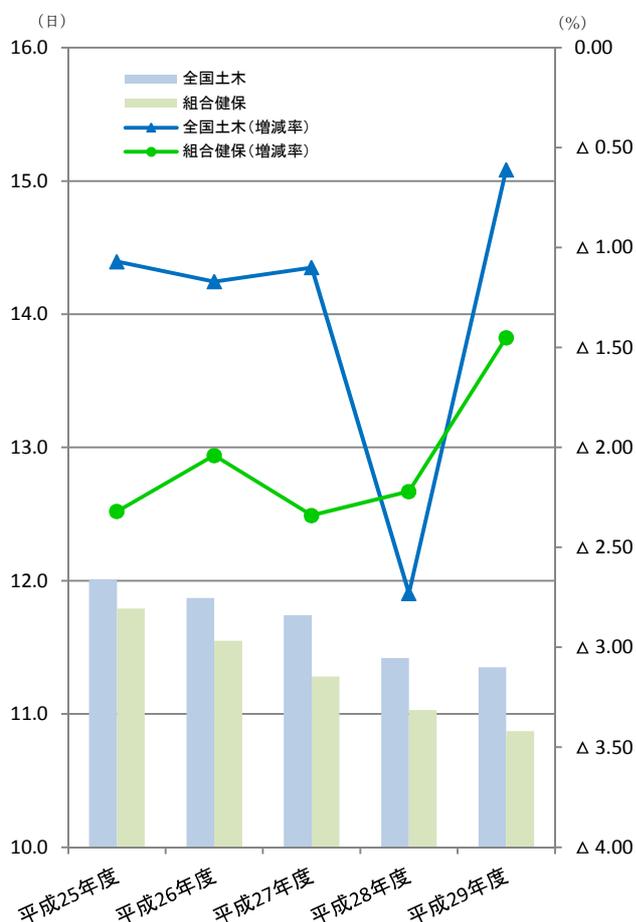
また、推計平均在院日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木の方が長くなっており（組合員0.5日、家族2.1日）、特に家族の差が大きい。

(表-15) 推計平均在院日数

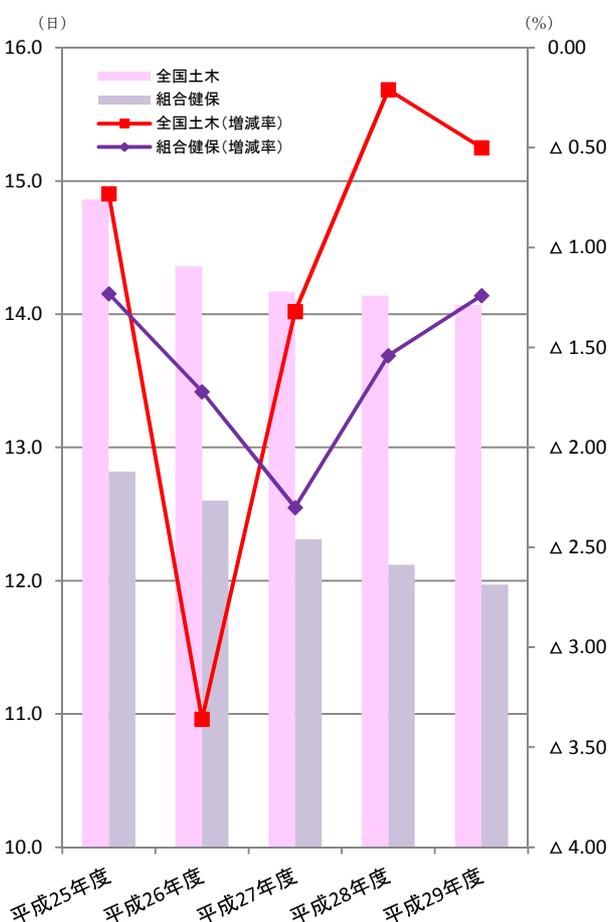
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率				
平成25年度	14.0	△ 0.85	12.0	△ 1.07	14.9	△ 0.73	12.6	△ 1.94	11.8	△ 2.32	12.8	△ 1.23
平成26年度	13.7	△ 2.78	11.9	△ 1.17	14.4	△ 3.36	12.4	△ 1.90	11.6	△ 2.04	12.6	△ 1.72
平成27年度	13.5	△ 1.32	11.7	△ 1.10	14.2	△ 1.32	12.1	△ 2.50	11.3	△ 2.34	12.3	△ 2.30
平成28年度	13.3	△ 1.19	11.4	△ 2.73	14.1	△ 0.21	11.8	△ 2.15	11.0	△ 2.22	12.1	△ 1.54
平成29年度	13.3	△ 0.30	11.4	△ 0.61	14.1	△ 0.50	11.6	△ 1.52	10.9	△ 1.45	12.0	△ 1.24
組合健保との差(率)	1.6 (14.10%)	1.22 ^P	0.5 (4.42%)	0.84 ^P	2.1 (17.54%)	0.74 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※推計平均在院日数は医療入院1件当たり日数から次の式で推計した値である。推計平均在院日数=1件当たり日数×(365-12) / (365-1件当たり日数×12)
(平成27年度については、1件当たり日数×(366-12) / (366-1件当たり日数×12))

(図-23) 推計平均在院日数(組合員)



(図-24) 推計平均在院日数(家族)



⑤入院1日当たり医療費

平成29年度における入院1日当たり医療費は54,435円であり、前年度と比較して0.87%増加している。このうち70歳未満の組合員は64,060円、家族は48,539円であり、前年度と比較して組合員は1.45%増加、家族は0.51%減少している。

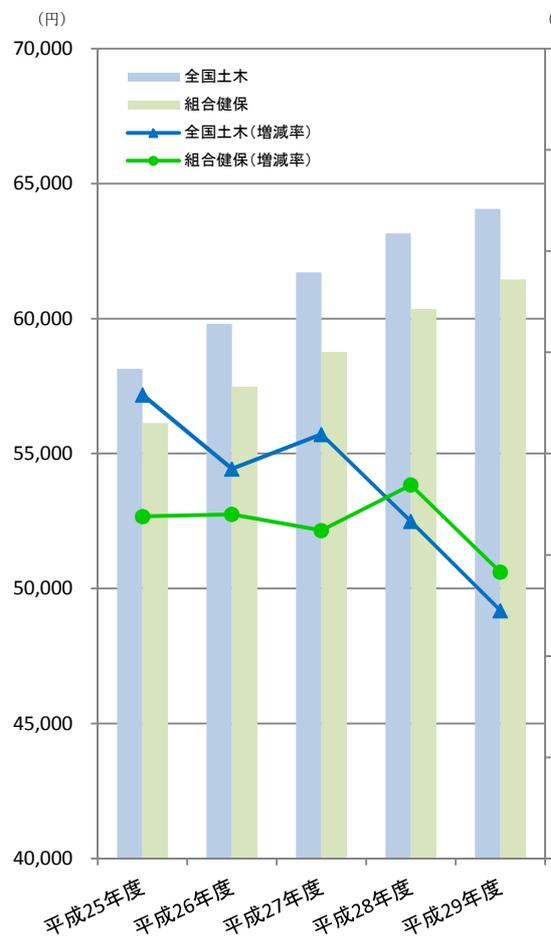
なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は増加傾向にあり、家族は増加傾向であったものが平成27年度に一旦減少に転じ、平成28年度は大きく増加したものの、平成29年度は再び減少に転じた。

また、入院1日当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員は全国土木が高くなっており(2,608円)、家族は全国土木が低くなっている(△3,067円)。

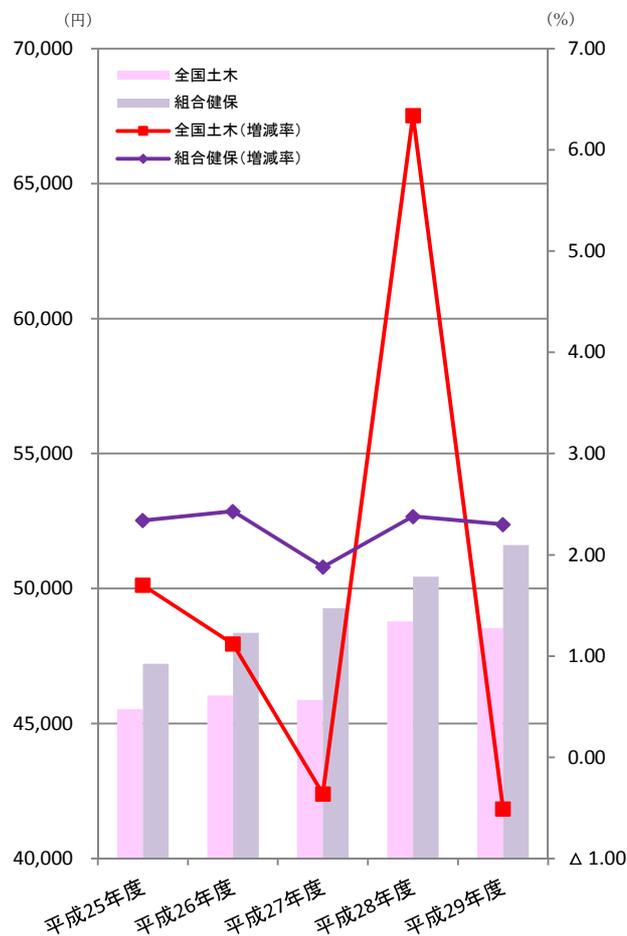
(表-16) 入院1日当たり医療費

	全国土木						組合健保					
			組合員		家族				被保険者		被扶養者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成25年度	50,043	2.74	58,144	3.58	45,534	1.70	51,008	2.54	56,132	2.38	47,217	2.34
平成26年度	51,236	2.39	59,801	2.85	46,046	1.12	52,284	2.50	57,476	2.40	48,365	2.43
平成27年度	52,122	1.73	61,710	3.19	45,881	△ 0.36	53,479	2.29	58,764	2.24	49,272	1.88
平成28年度	53,963	3.53	63,147	2.33	48,788	6.34	54,907	2.67	60,346	2.69	50,445	2.38
平成29年度	54,435	0.87	64,060	1.45	48,539	△ 0.51	56,207	2.37	61,452	1.83	51,606	2.30
組合健保との 差(率)	△ 1,772 (△3.15%)	△ 1.50 ^P	2,608 (4.24%)	△ 0.38 ^P	△ 3,067 (△5.94%)	△ 2.81 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-25) 入院1日当たり医療費(組合員)



(図-26) 入院1日当たり医療費(家族)



⑥推計 1 入院当たり医療費

平成 29 年度における推計 1 入院当たり医療費は 722,217 円であり、前年度と比較して 0.57%増加している。このうち 70 歳未満の組合員は 726,763 円、家族は 682,758 円であり、前年度と比較して組合員は 0.79%増加、家族は 1.05%減少している。

なお、平成 25 年度からの推移をみると、組合員は増加傾向にあり、平成 28 年度は減少したものの、平成 29 年度は再び増加に転じた。家族は平成 25 年度まで増加傾向であり、平成 26 年度に減少に転じたが、平成 28 年度は大幅に増加し、平成 29 年度は再び減少に転じた。

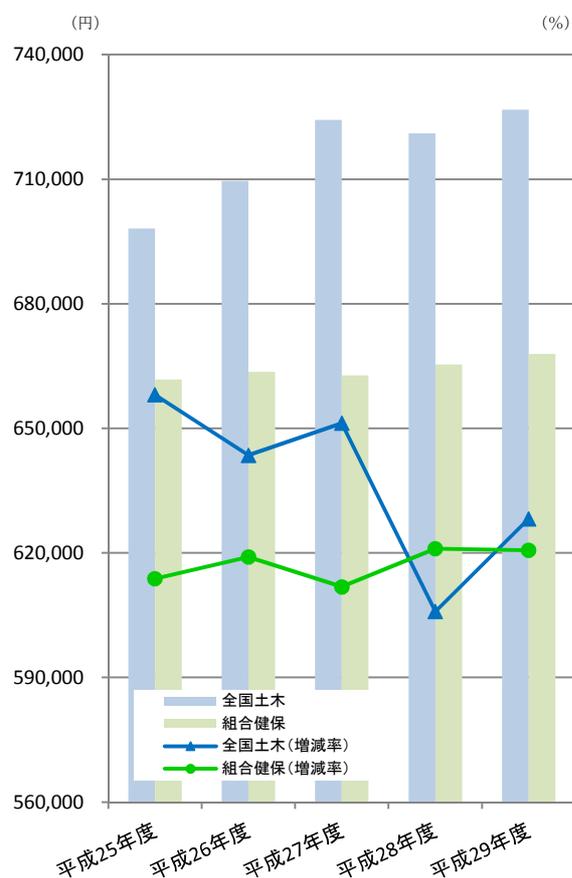
また、推計 1 入院当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている（組合員 58,871 円、家族 64,892 円）。これは、推計 1 入院当たり医療費は推計平均在院日数に入院 1 日当たり医療費を乗じたものであり、組合員については両者が、家族については推計平均在院日数が組合健保より高いことによる。

(表-17) 推計 1 入院当たり医療費

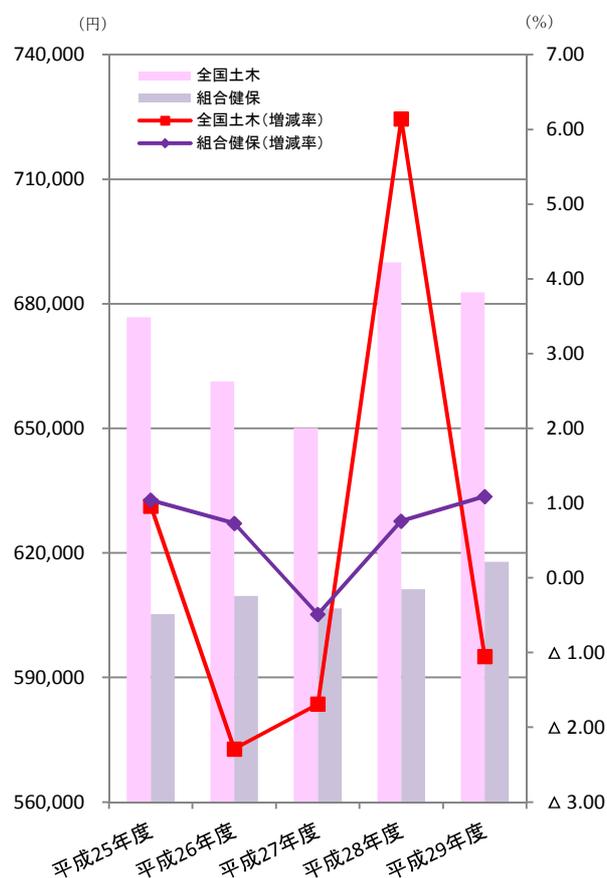
	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組 合 員		家 族			被 保 険 者		被 扶 養 者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成25年度	702,653	1.87	698,158	2.45	676,733	0.96	643,789	0.56	661,748	△ 0.01	605,225	1.04
平成26年度	699,390	△ 0.46	709,583	1.64	661,267	△ 2.29	647,359	0.55	663,612	0.28	609,631	0.73
平成27年度	701,914	0.36	724,272	2.07	650,082	△ 1.69	645,541	△ 0.28	662,801	△ 0.12	606,626	△ 0.49
平成28年度	718,150	2.31	721,048	△ 0.45	689,982	6.14	648,551	0.47	665,403	0.39	611,210	0.76
平成29年度	722,217	0.57	726,763	0.79	682,758	△ 1.05	653,759	0.80	667,892	0.37	617,866	1.09
組合健保との 差(率)	68,458 (10.47%)	△ 0.23 ^P	58,871 (8.81%)	0.42 ^P	64,892 (10.50%)	△ 2.14 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※推計 1 入院当たり医療費は、推計平均在院日数に入院 1 日当たり医療費を乗じて得た値である。

(図-27) 推計 1 入院当たり医療費（組合員）



(図-28) 推計 1 入院当たり医療費（家族）



⑦入院1人当たり日数

平成29年度における入院1人当たり日数は0.92日であり、前年度と比較して1.76%増加している。このうち70歳未満の組合員は0.76日、家族は0.94日であり、前年度と比較して組合員は1.29%、家族は1.05%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であったが平成28年度に減少に転じ、平成29年度は再び増加に転じている。また、家族は平成26年度までは減少していたが、平成27年度に増加に転じて以降、増加傾向にある。

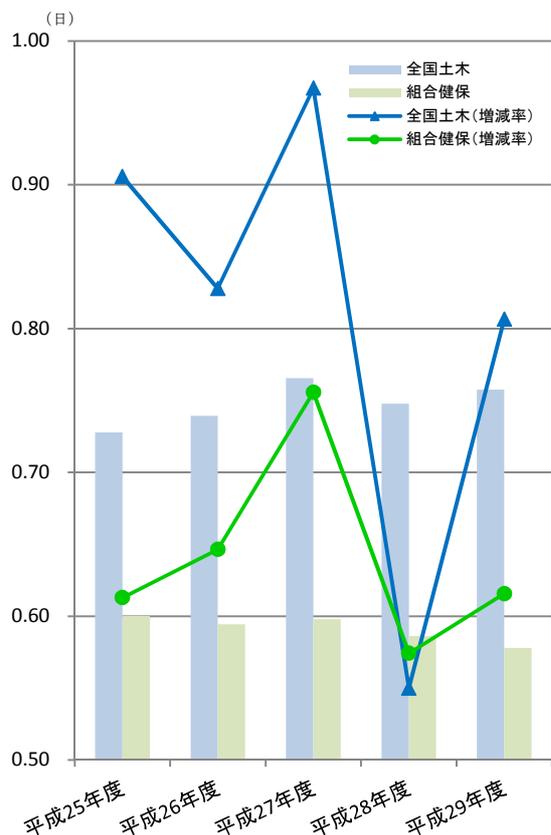
また、入院1人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が長くなっている（組合員0.18日、家族0.15日）。これは、入院1人当たり日数は1人当たり新規入院件数に推計平均在院日数を乗じたものであり、組合員については1人当たり新規入院件数が、家族については推計平均在院日数が組合健保より高いことによる。

(表-18) 入院1人当たり日数

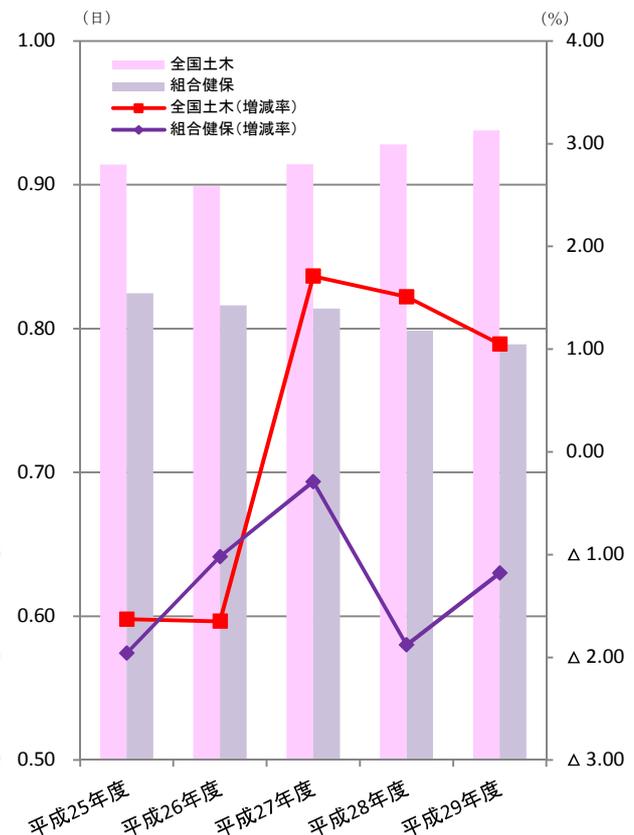
	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組 合 員		家 族			被 保 険 者		被 扶 養 者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成25年度	0.89	0.13	0.73	2.68	0.91	△ 1.63	0.74	△ 1.91	0.60	△ 1.42	0.82	△ 1.96
平成26年度	0.88	△ 0.25	0.74	1.59	0.90	△ 1.65	0.73	△ 1.07	0.59	△ 0.95	0.82	△ 1.02
平成27年度	0.91	2.72	0.77	3.54	0.91	1.71	0.73	△ 0.26	0.60	0.58	0.81	△ 0.29
平成28年度	0.90	△ 0.61	0.75	△ 2.30	0.93	1.51	0.71	△ 2.50	0.59	△ 1.96	0.80	△ 1.88
平成29年度	0.92	1.76	0.76	1.29	0.94	1.05	0.70	△ 1.73	0.58	△ 1.38	0.79	△ 1.18
組合健保との 差(率)	0.22 (31.59%)		0.18 (31.05%)	2.67 ^P	0.15 (18.85%)	2.23 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※入院1人当たり日数は、1人当たり新規入院件数に推計平均在院日数を乗じて得た値である。

(図-29) 入院1人当たり日数（組合員）



(図-30) 入院1人当たり日数（家族）



(7) 医科入院外

①入院外1人当たり医療費

平成29年度における入院外1人当たり医療費は72,744円であり、前年度と比較して2.86%増加している。このうち70歳未満の組合員は72,119円、家族は68,702円であり、前年度と比較して組合員は3.66%、家族は1.88%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向にある。

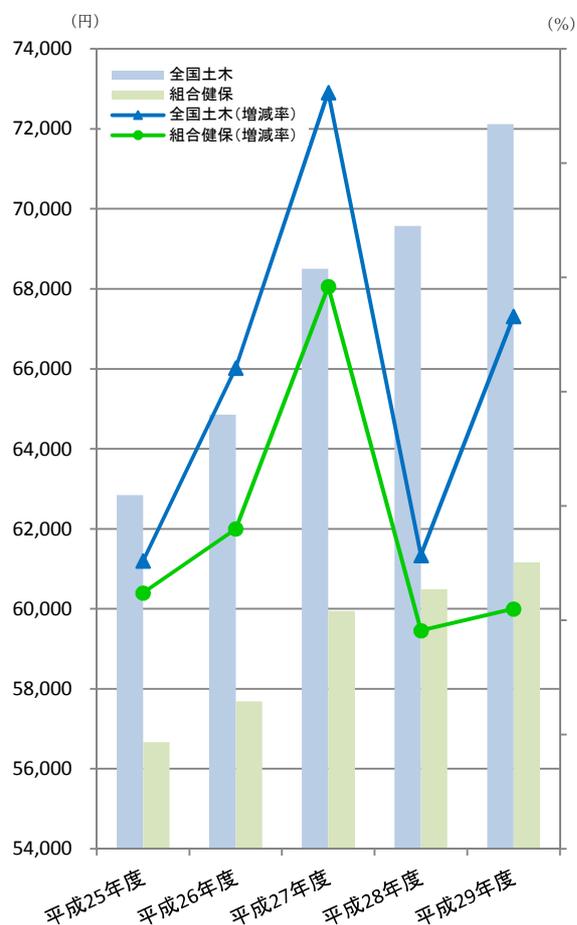
また、入院外1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高く（組合員10,960円、家族3,104円）、特に組合員の差が大きくなっている。これは、後述のとおり入院外1日当たり医療費が組合健保より高いことによるが、特に組合員で顕著である。

(表-19) 入院外1人当たり医療費

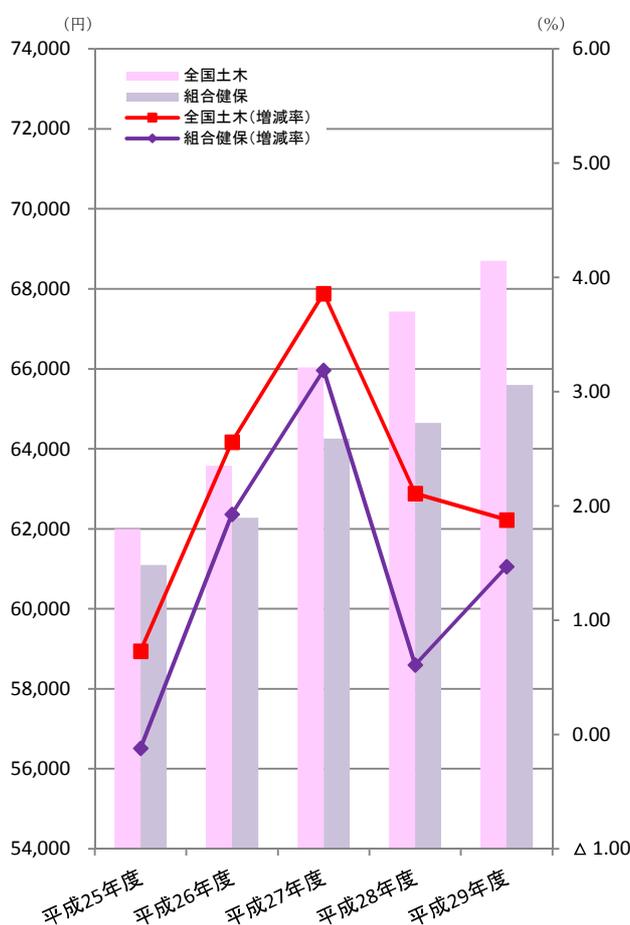
	全国土木						組合健保					
			組合員		家族				被保険者		被扶養者	
	対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減率	
平成25年度	64,553	1.23	62,843	1.52	61,994	0.73	60,113	0.60	56,669	1.24	61,094	△ 0.12
平成26年度	66,472	2.97	64,859	3.21	63,581	2.56	61,213	1.83	57,689	1.80	62,273	1.93
平成27年度	69,566	4.65	68,502	5.62	66,038	3.86	63,321	3.44	59,949	3.92	64,260	3.19
平成28年度	70,720	1.66	69,575	1.57	67,434	2.11	63,635	0.50	60,493	0.91	64,650	0.61
平成29年度	72,744	2.86	72,119	3.66	68,702	1.88	64,385	1.18	61,159	1.10	65,598	1.47
組合健保との 差(率)	8,359 (12.98%)	1.68 ^P	10,960 (17.92%)	2.56 ^P	3,104 (4.73%)	0.41 ^P						

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-31) 入院外1人当たり医療費（組合員）



(図-32) 入院外1人当たり医療費（家族）



②入院外1人当たり日数

平成29年度における入院外1人当たり日数は9.02日であり、前年度と比較して0.69%増加している。このうち70歳未満の組合員は7.64日、家族は9.81日であり、前年度と比較して組合員は1.49%、家族は0.43%それぞれ増加している。

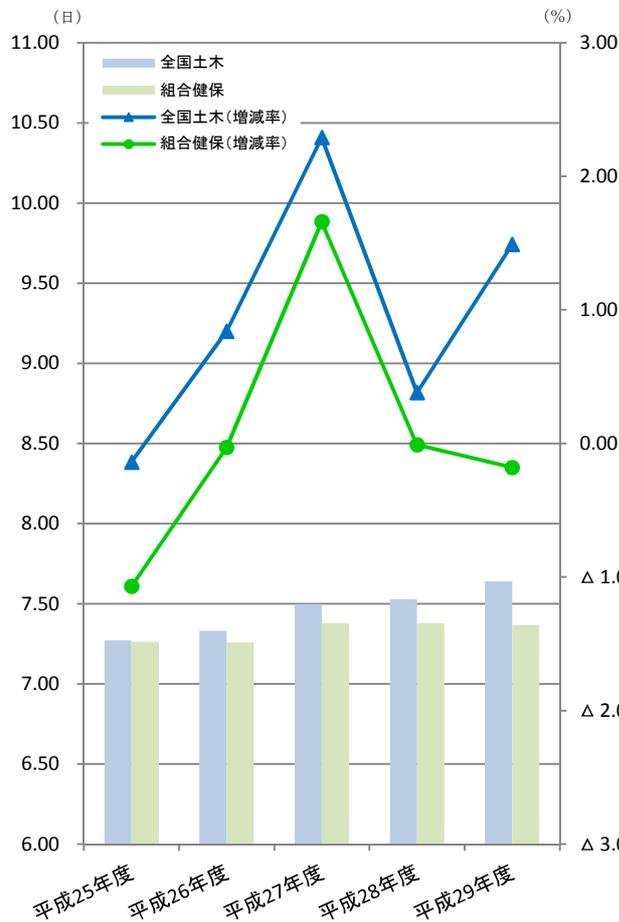
なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに平成25年度は前年度より減少したが、平成26年度以降は増加傾向にある。

また、入院外1人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員は全国土木が長くなっており(0.27日)、家族は全国土木が短くなっている(△0.16日)。

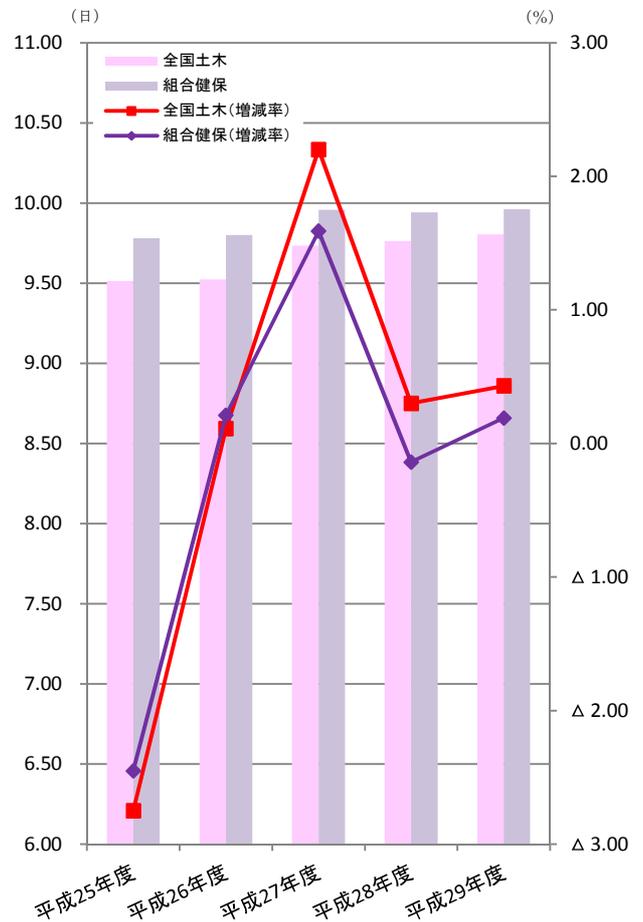
(表-20) 入院外1人当たり日数

	全国土木						組合健保					
	対前年度 増減率	組合員		家族		対前年度 増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成25年度	8.78	△ 1.81	7.27	△ 0.14	9.51	△ 2.75	8.58	△ 1.91	7.26	△ 1.07	9.78	△ 2.45
平成26年度	8.80	0.26	7.33	0.84	9.52	0.11	8.58	△ 0.04	7.26	△ 0.03	9.80	0.21
平成27年度	8.97	1.87	7.50	2.29	9.73	2.20	8.69	1.32	7.38	1.66	9.96	1.59
平成28年度	8.96	△ 0.08	7.53	0.38	9.76	0.30	8.65	△ 0.50	7.38	△ 0.01	9.94	△ 0.14
平成29年度	9.02	0.69	7.64	1.49	9.81	0.43	8.62	△ 0.33	7.37	△ 0.18	9.96	0.19
組合健保との 差(率)	0.40 (4.69%)	1.02 ^P	0.27 (3.71%)	1.67 ^P	△ 0.16 (△1.58%)	0.24 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-33) 入院外1人当たり日数(組合員)



(図-34) 入院外1人当たり日数(家族)



③入院外1日当たり医療費

平成29年度における入院外1日当たり医療費は8,062円であり、前年度と比較して2.16%増加している。このうち70歳未満の組合員は9,440円、家族は7,007円であり、前年度と比較して組合員は2.13%、家族は1.44%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向となっているが、家族の増加率の伸びは鈍化傾向にある。

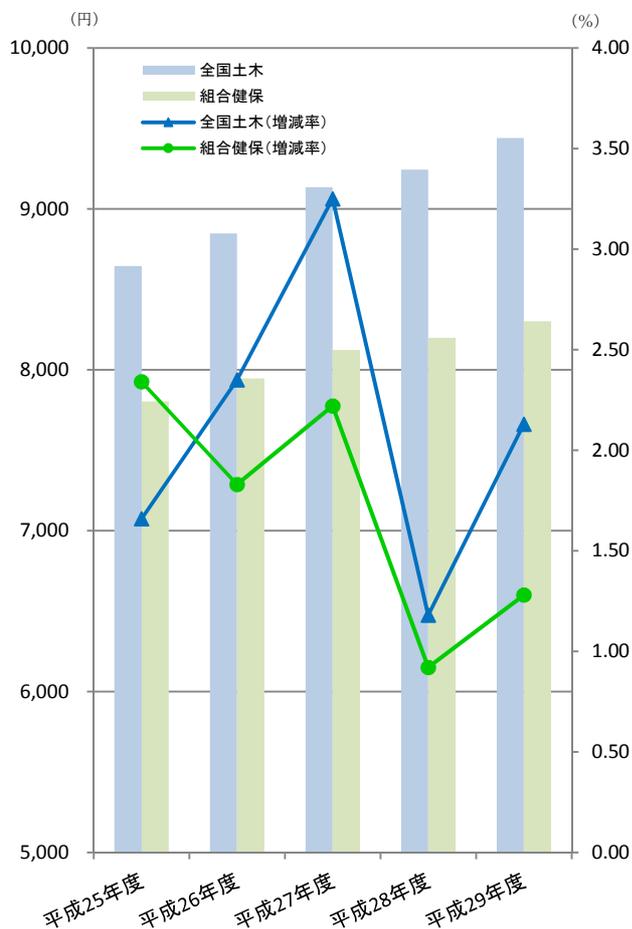
また、入院外1日当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高く（組合員1,137円、家族422円）、特に組合員の差が大きくなっている。

(表-21) 入院外1日当たり医療費

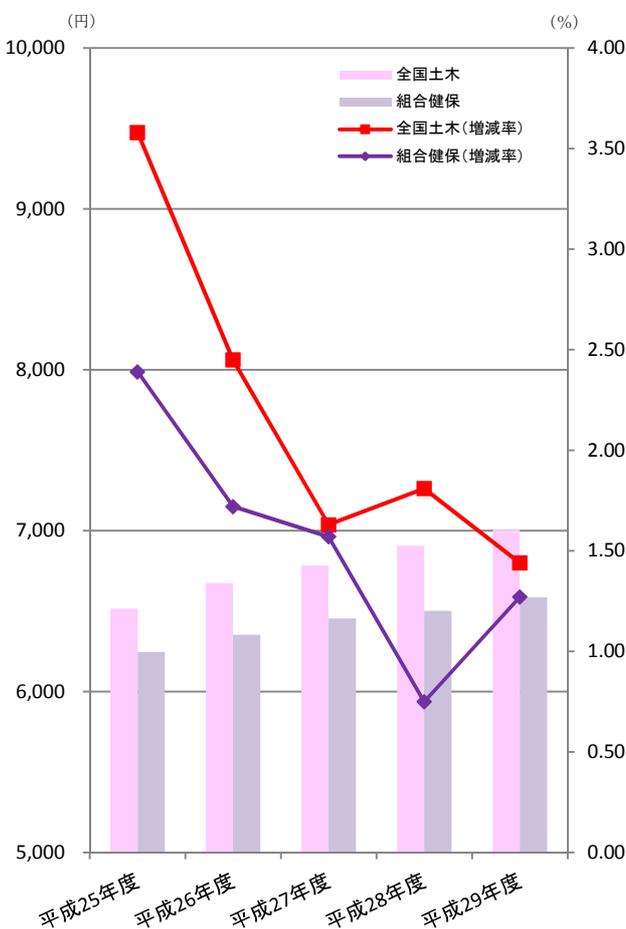
	全国土木						組合健保					
		対前年度増減率		対前年度増減率			対前年度増減率		対前年度増減率		対前年度増減率	
		金額	増減率	金額	増減率		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
平成25年度	7,352	3.09	8,644	1.66	6,516	3.58	7,005	2.55	7,803	2.34	6,247	2.39
平成26年度	7,551	2.71	8,847	2.35	6,676	2.45	7,136	1.87	7,946	1.83	6,354	1.72
平成27年度	7,757	2.73	9,135	3.25	6,785	1.63	7,285	2.09	8,123	2.22	6,454	1.57
平成28年度	7,892	1.74	9,243	1.18	6,907	1.81	7,359	1.01	8,198	0.92	6,502	0.75
平成29年度	8,062	2.16	9,440	2.13	7,007	1.44	7,470	1.51	8,303	1.28	6,585	1.27
組合健保との差(率)	592 (7.93%)	0.65	1,137 (13.69%)	0.85	422 (6.41%)	0.17						

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-35) 入院外1日当たり医療費（組合員）



(図-36) 入院外1日当たり医療費（家族）



(8) 歯科

① 歯科 1 人当たり医療費

平成29年度における歯科 1 人当たり医療費は20,000円であり、前年度と比較して2.41%増加している。このうち70歳未満の組合員は20,564円、家族は18,965円であり、前年度と比較して組合員は2.19%、家族は2.07%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに増加傾向（組合員は平成25年度のみ減少）である。

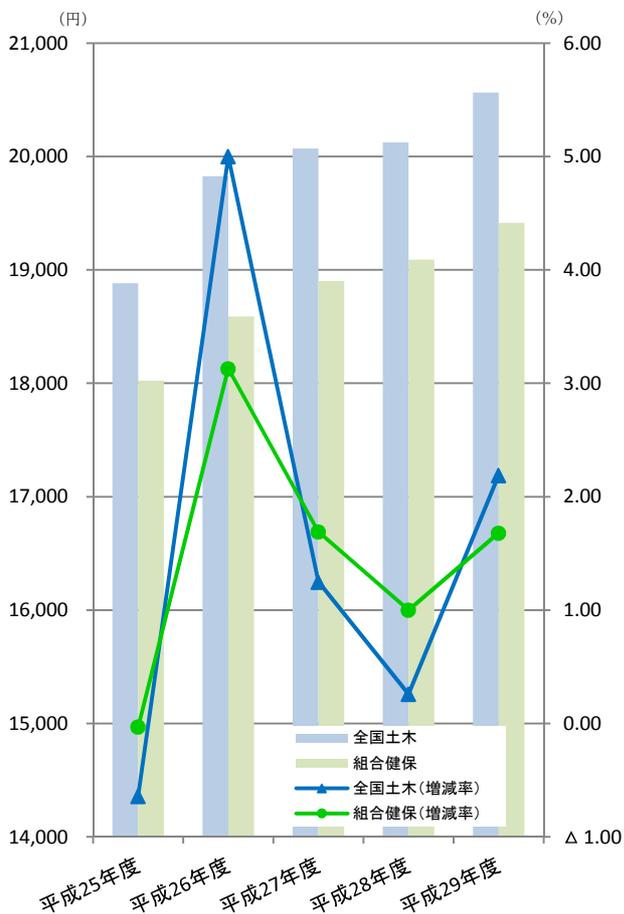
また、歯科 1 人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている（組合員1,151円、家族1,327円）。これは、後述のとおり組合員は 1 人当たり日数及び 1 日当たり医療費の両方が、家族は 1 人当たり日数が組合健保より高いことによる。

(表-22) 歯科 1 人当たり医療費

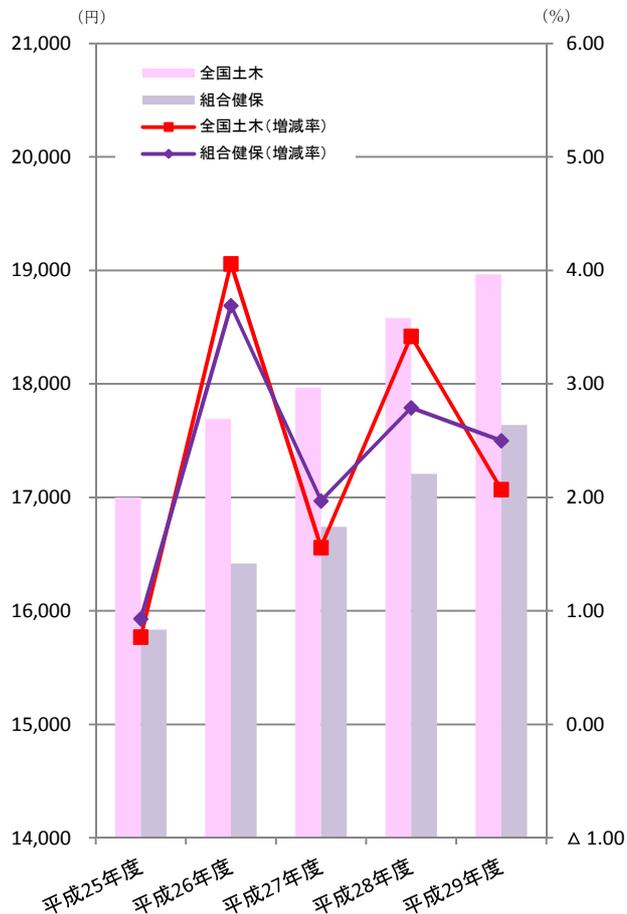
	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組 合 員		家 族			被 保 険 者		被 扶 養 者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率			
平成25年度	18,084	0.33	18,881	△ 0.64	17,000	0.77	17,203	0.45	18,024	△ 0.03	15,833	0.93
平成26年度	18,887	4.44	19,824	5.00	17,691	4.06	17,783	3.38	18,588	3.13	16,417	3.69
平成27年度	19,170	1.50	20,071	1.25	17,966	1.56	18,099	1.78	18,902	1.69	16,741	1.97
平成28年度	19,529	1.87	20,124	0.26	18,581	3.42	18,410	1.72	19,092	1.00	17,208	2.79
平成29年度	20,000	2.41	20,564	2.19	18,965	2.07	18,795	2.09	19,413	1.68	17,638	2.50
組合健保との 差(率)	1,205 (6.41%)	0.32 ^P	1,151 (5.93%)	0.51 ^P	1,327 (7.52%)	△ 0.43 ^P						

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-37) 歯科 1 人当たり医療費（組合員）



(図-38) 歯科 1 人当たり医療費（家族）



② 歯科 1 人当たり日数

平成29年度における歯科 1 人当たり日数は2.87日で、前年度からやや増加したものの大きな変化はない。このうち70歳未満の組合員は2.88日、家族は2.79日であり、こちらも前年度からの変化はほとんど見られない状況である。

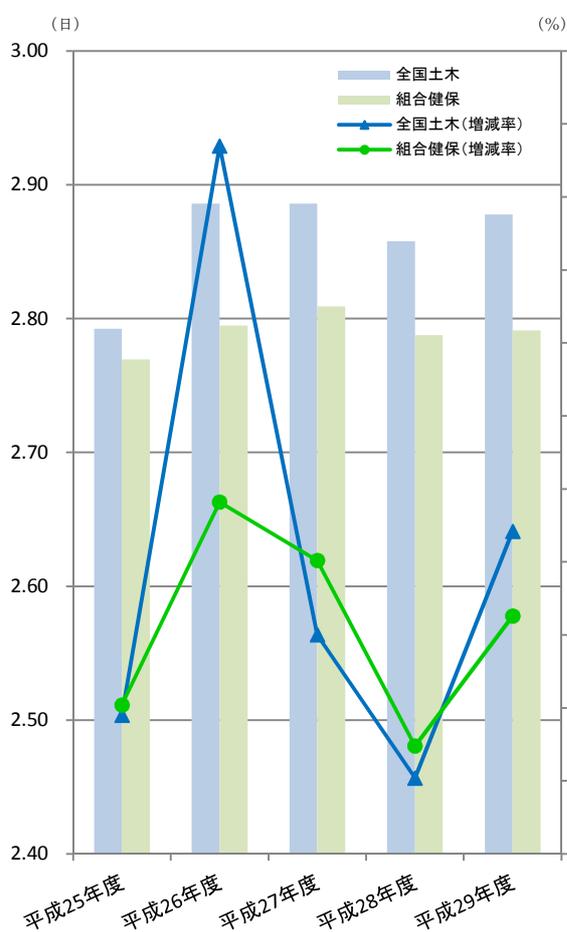
なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は、平成25年度は減少したものの、平成26年度に増加(3.35%)し、以降はほぼ横ばいである。家族は多少ではあるが増加傾向である。

また、歯科 1 人当たり日数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が長くなっている(組合員0.09日、家族0.18日)。

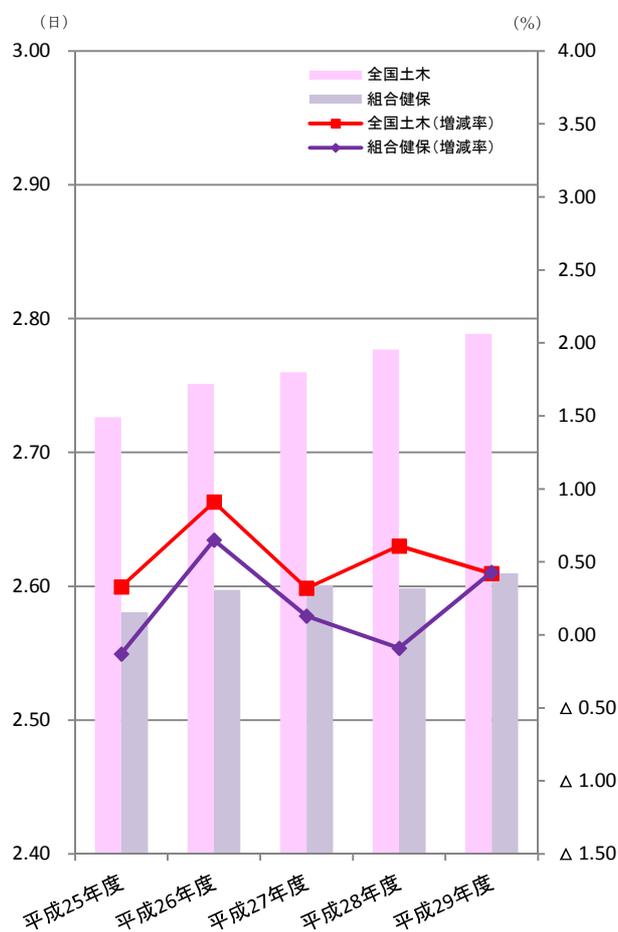
(表-23) 歯科 1 人当たり日数

	全 国 土 木						組 合 健 保					
		組 合 員		家 族		対前年度 増減率	被 保 険 者		被 扶 養 者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成25年度	2.79	0.11	2.79	△ 0.55	2.73	0.33	2.71	△ 0.27	2.77	△ 0.48	2.58	△ 0.13
平成26年度	2.85	1.96	2.89	3.35	2.75	0.91	2.73	0.79	2.79	0.91	2.60	0.65
平成27年度	2.85	0.18	2.89	0.00	2.76	0.32	2.74	0.31	2.81	0.51	2.60	0.13
平成28年度	2.85	△ 0.22	2.86	△ 0.98	2.78	0.61	2.73	△ 0.54	2.79	△ 0.76	2.60	△ 0.09
平成29年度	2.87	0.80	2.88	0.71	2.79	0.42	2.74	0.30	2.79	0.13	2.61	0.43
組合健保との 差(率)	0.14 (4.94%)	0.50 ^P	0.09 (3.12%)	0.58 ^P	0.18 (6.86%)	△ 0.01 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-39) 歯科 1 人当たり日数 (組合員)



(図-40) 歯科 1 人当たり日数 (家族)



③ 歯科 1 日あたり医療費

平成29年度における歯科 1 日あたり医療費は6,968円であり、前年度と比較して1.60%増加している。このうち70歳未満の組合員は7,145円、家族は6,801円であり、前年度と比較して組合員は1.47%、家族は1.64%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は平成25年度にやや減少（△0.09%）したが平成26年度以降増加しており、家族は引き続いて増加傾向である。

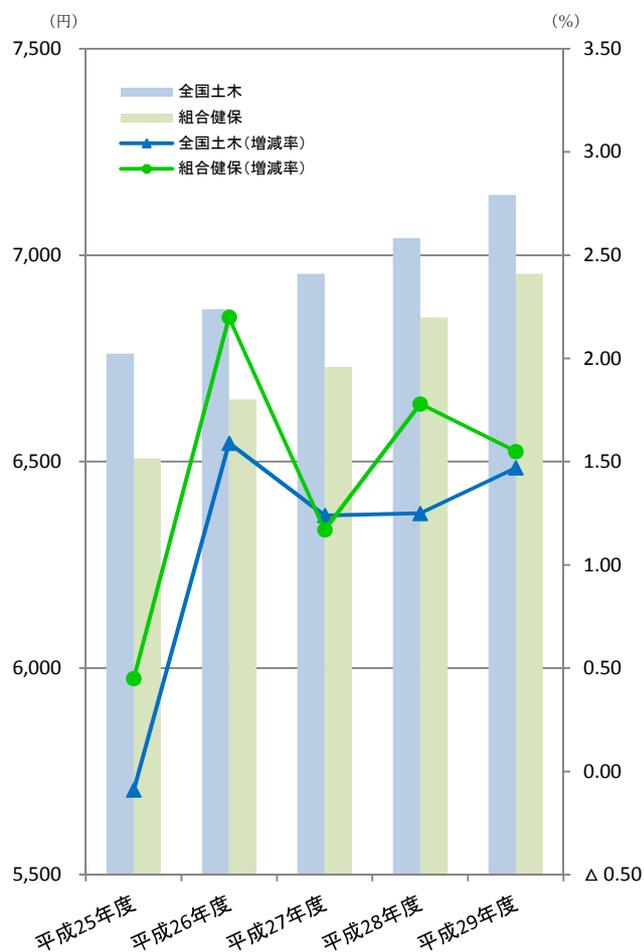
また、歯科 1 日あたり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっている（組合員190円、家族42円）。

(表-24) 歯科 1 日あたり医療費

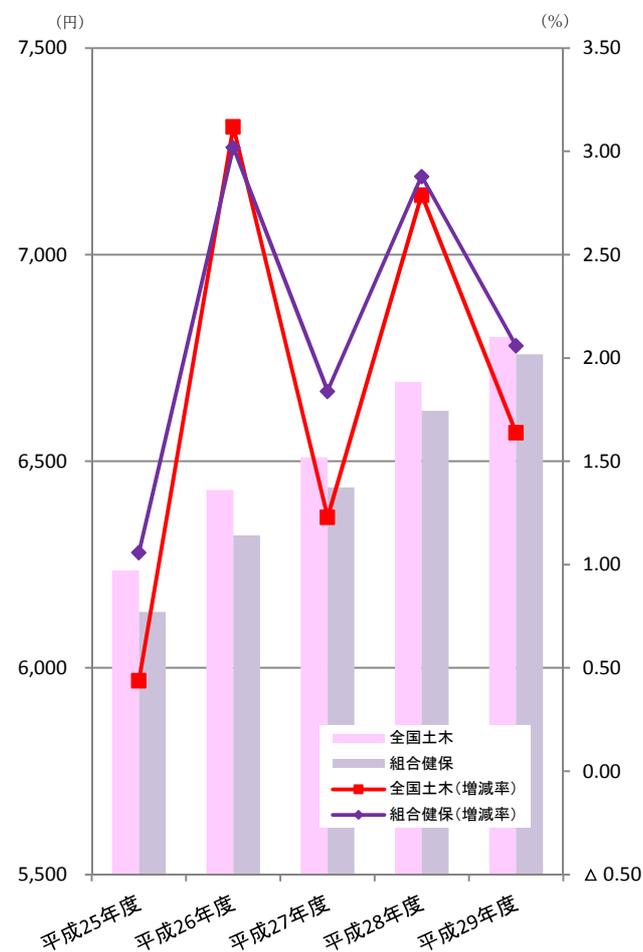
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率	対前年度増減率		対前年度増減率	対前年度増減率				
平成25年度	6,472	0.22	6,762	△ 0.09	6,236	0.44	6,344	0.72	6,508	0.45	6,136	1.06
平成26年度	6,630	2.44	6,869	1.59	6,431	3.12	6,506	2.56	6,651	2.20	6,321	3.02
平成27年度	6,717	1.32	6,955	1.24	6,510	1.23	6,601	1.46	6,729	1.17	6,437	1.84
平成28年度	6,858	2.09	7,042	1.25	6,691	2.79	6,751	2.27	6,849	1.78	6,623	2.88
平成29年度	6,968	1.60	7,145	1.47	6,801	1.64	6,871	1.78	6,955	1.55	6,759	2.06
組合健保との差(率)	97 (1.41%)	△ 0.18	190 (2.73%)	△ 0.08	42 (0.62%)	△ 0.42						

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-41) 歯科 1 日あたり医療費（組合員）



(図-42) 歯科 1 日あたり医療費（家族）



(9) 調剤

①調剤 1人当たり医療費

平成29年度における調剤1人当たり医療費は36,061円であり、前年度と比較して3.33%増加している。このうち70歳未満の組合員は36,716円、家族は33,021円であり、前年度と比較して組合員は3.01%、家族は3.43%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員、家族ともに平成27年度までは増加傾向にあり、平成27年度の増加率は特に高い。平成28年度は薬価のマイナス改定及び前年度の大幅増の反動のため減少したが、平成29年度は再び増加に転じた。

また、調剤1人当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員5,855円、家族2,000円）、特に組合員の差が大きくなっている。これは、組合員、家族ともに1回当たり医療費が組合健保より高いことによるが、特に組合員で顕著である。

(表-25) 調剤 1人当たり医療費

(円)

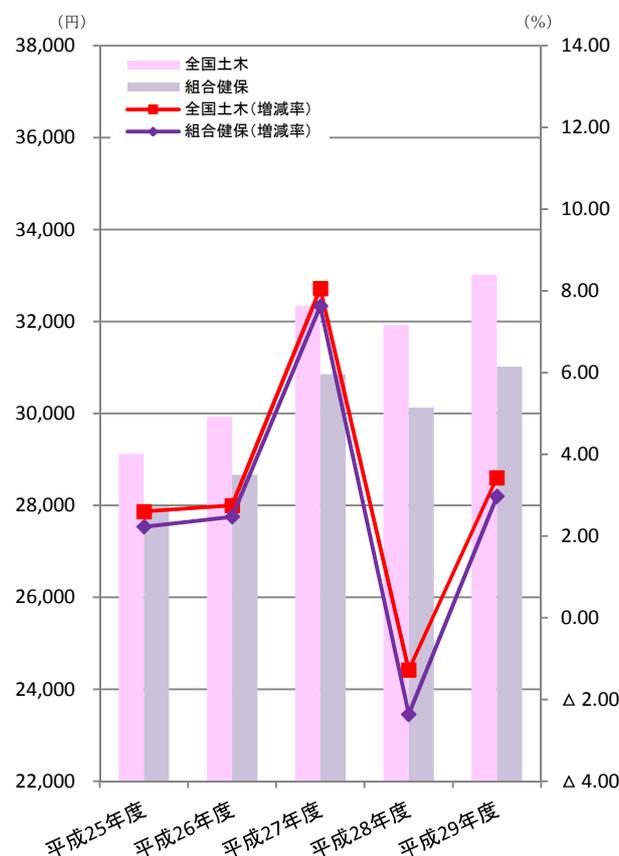
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		対前年度 増減率	対前年度 増減率				
平成25年度	31,600	4.60	31,831	6.33	29,126	2.60	28,397	3.90	27,268	5.32	27,974	2.23
平成26年度	32,500	2.85	32,749	2.88	29,928	2.75	29,058	2.32	27,868	2.20	28,666	2.47
平成27年度	35,659	9.72	36,550	11.61	32,339	8.06	31,454	8.25	30,366	8.96	30,853	7.63
平成28年度	34,899	△ 2.13	35,645	△ 2.48	31,926	△ 1.28	30,632	△ 2.61	29,743	△ 2.05	30,125	△ 2.36
平成29年度	36,061	3.33	36,716	3.01	33,021	3.43	31,641	3.29	30,861	3.76	31,021	2.97
組合健保との 差(率)	4,420 (13.97%)	△ 0.04 ^P	5,855 (18.97%)	0.75 ^P	2,000 (6.45%)	0.46 ^P						

出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」
平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」

(図-43) 調剤 1人当たり医療費（組合員）



(図-44) 調剤 1人当たり医療費（家族）



(参考) 調剤レセプトにおける薬剤費 (高額薬剤の影響)

調剤医療費のうち、技術料等を除いた薬剤費のみの1人当たり医療費は、平成29年度は25,898円であり前年度と比較して2.28%増加している。

このうち高額薬剤(平成27年度途中で保険適用が認められたC型肝炎の新薬で治療に高い効果を示すとされる「ソバルディ錠」及び「ハーボニー配合錠」)使用者の当該薬剤分の1人当たり医療費は3,036,077円となり、前年度と比較して9.51%減少し、使用量も75.58%減と大幅に減少している。

2剤を除いて薬剤費の1人当たり医療費をみると、平成29年度は25,728円であり前年度と比較して4.60%増加している。

したがって、平成29年度の調剤1人当たり医療費の増加については、高額薬剤の影響ではなく、薬剤費全体の増加や、後述するように調剤1回当たり医療費の増加が要因となっているといえる。

○薬剤費

(千円)

	全体	対前年度		2剤計	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減額		増減率(%)			
						ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	
											ソバルディ錠
平成26年度	9,727,215										
平成27年度	10,862,770	1,135,555	11.67	380,804	138,370 242,434						
平成28年度	10,440,024	△ 422,746	△ 3.89	298,596	105,262 193,334	△ 82,208	△ 33,108 △ 49,100	△ 21.59	△ 23.93 △ 20.25		
平成29年度	10,638,297	198,273	1.90	69,830	36,073 33,757	△ 228,766	△ 69,189 △ 159,577	△ 76.61	△ 65.73 △ 82.54		

○薬剤費のみの1人当たり医療費

(円)

	加入者 1人当たり	対前年度		2剤使用者 1人当たり	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減額		増減率(%)			
						ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	
											ソバルディ錠
平成26年度	23,329										
平成27年度	26,153	2,824	12.11	4,820,307	4,193,036 5,270,306						
平成28年度	25,320	△ 833	△ 3.18	3,355,017	2,844,921 3,717,969	△ 1,465,290	△ 1,348,115 △ 1,552,337	△ 30.40	△ 32.15 △ 29.45		
平成29年度	25,898	578	2.28	3,036,077	2,774,843 3,375,680	△ 318,940	△ 70,078 △ 342,289	△ 9.51	△ 2.46 △ 9.21		

○薬剤費のみの1人当たり医療費 (2剤を除いた場合) ○2剤の使用量

(円)

(錠)

	加入者 1人当たり	対前年度		2剤計	対前年度						
		増減額	増減率(%)		(内訳)	増減数		増減率(%)			
						ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	2剤計	ソバルディ錠 ハーボニー 配合錠	
											ソバルディ錠
平成26年度	23,329										
平成27年度	25,236	1,907	8.18	5,263	2,239 3,024						
平成28年度	24,596	△ 640	△ 2.54	6,020	2,492 3,528	757	253 504	14.38	11.30 16.67		
平成29年度	25,728	1,132	4.60	1,470	854 616	△ 4,550	△ 1,638 △ 2,912	△ 75.58	△ 65.73 △ 82.54		

※平成27年度の使用量を年間分に換算すると、約7,500錠程度(ソバルディ錠約2,500錠、ハーボニー配合錠約5,000錠)と見込まれる。

②調剤1人当たり回数

平成29年度における調剤1人当たり回数は4.79回であり、前年度と比較して1.75%増加している。このうち70歳未満の組合員は4.04回、家族は5.46回であり、前年度と比較して組合員は2.27%、家族は0.96%それぞれ増加している。

なお、平成25年度からの推移をみると、組合員は増加傾向であり、家族は平成25年度に減少したものの、その後は緩やかに増加し、平成28年度の増加率はやや大きかったが、平成29年度はほぼ横ばいとなっている。

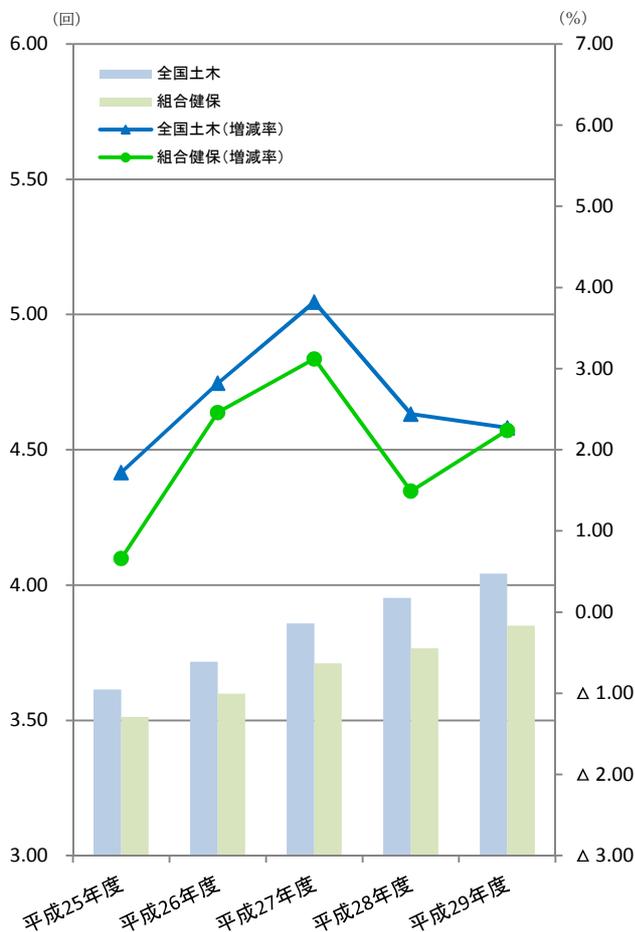
また、調剤1人当たり回数を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が多くなっており（組合員0.19回、家族0.03回）、特に家族は平成28年度までは組合健保よりも少なかったが、平成29年度は組合健保よりもやや多い結果となった。

(表-26) 調剤1人当たり回数

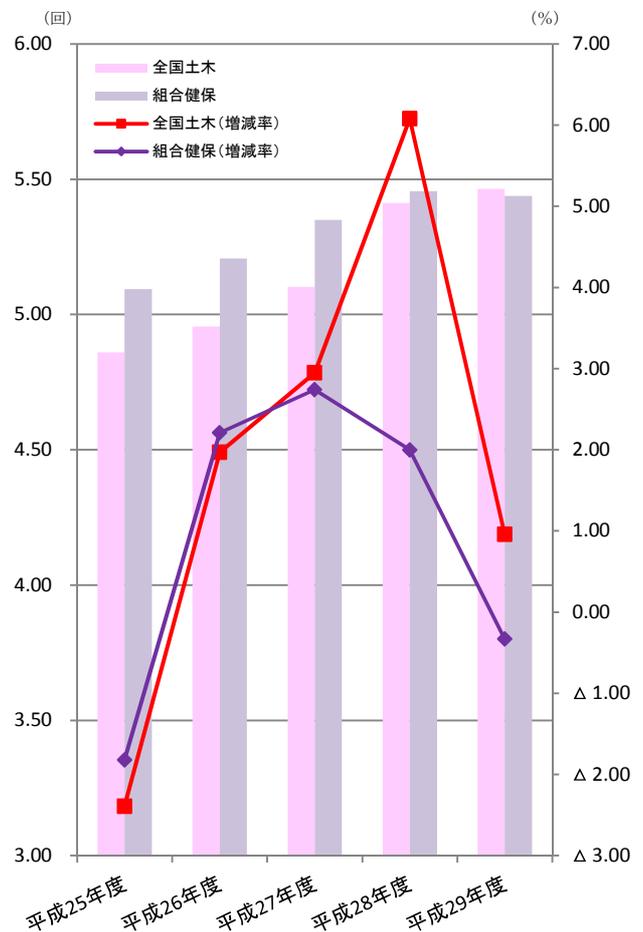
	全国土木						組合健保					
		組合員		家族			被保険者		被扶養者			
		対前年度 増減率		対前年度 増減率			対前年度 増減率		対前年度 増減率			
平成25年度	4.42	△ 0.91	3.61	1.72	4.86	△ 2.39	4.31	△ 0.82	3.51	0.66	5.09	△ 1.82
平成26年度	4.52	2.13	3.72	2.82	4.96	1.97	4.40	2.15	3.60	2.46	5.21	2.21
平成27年度	4.65	2.94	3.86	3.82	5.10	2.95	4.52	2.60	3.71	3.12	5.35	2.74
平成28年度	4.71	1.27	3.95	2.44	5.41	6.08	4.58	1.30	3.77	1.49	5.46	2.00
平成29年度	4.79	1.75	4.04	2.27	5.46	0.96	4.60	0.47	3.85	2.24	5.44	△ 0.33
組合健保との 差(率)	0.19 (4.19%)	^P 1.28	0.19 (4.97%)	^P 0.03	0.03 (0.47%)	^P 1.29	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

※回数は調剤報酬明細書に記載される調剤受付回数である。

(図-45) 調剤1人当たり回数（組合員）



(図-46) 調剤1人当たり回数（家族）



③調剤1回当たり医療費

平成29年度における調剤1回当たり医療費は7,526円であり、前年度と比較して1.56%増加している。このうち70歳未満の組合員は9,084円、家族は6,044円であり、前年度と比較して組合員は0.72%、家族は2.44%それぞれ増加している。

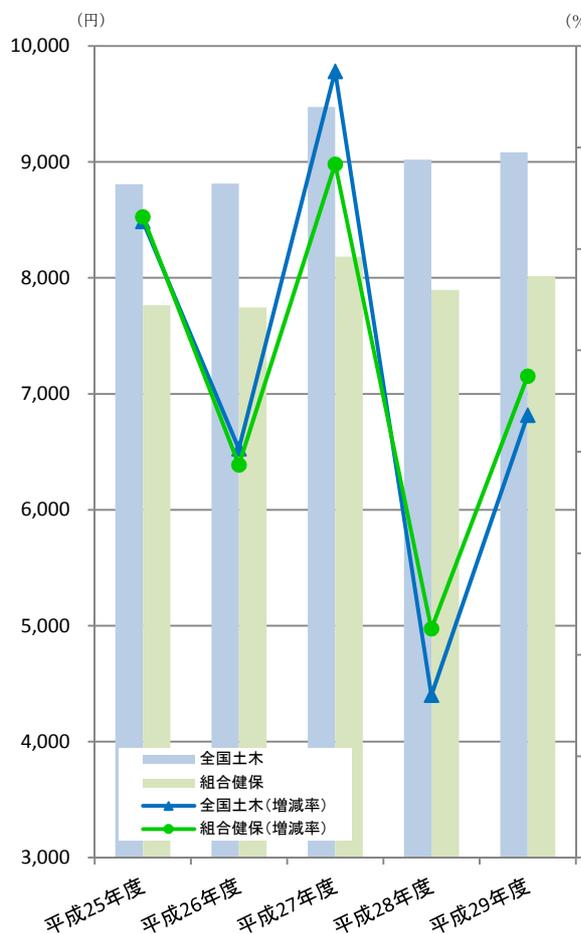
なお、平成25年度からの推移をみると、高額薬剤の影響もあり組合員、家族ともに平成27年度までは増加傾向、平成28年度は薬価のマイナス改定の影響を受けて減少したが、平成29年度は再びやや増加した。

また、調剤1回当たり医療費を組合健保と比較すると、組合員、家族ともに全国土木が高くなっており（組合員1,069円、家族340円）、特に組合員の差が大きくなっている。

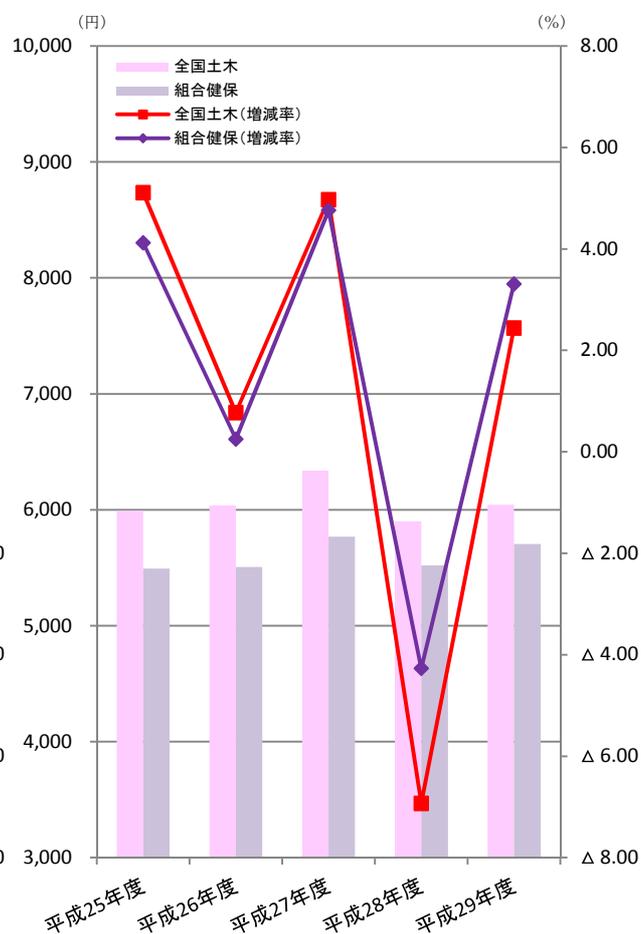
(表-27) 調剤1回当たり医療費

	全国土木						組合健保					
		組合員		家族		対前年度増減率	被保険者		被扶養者			
		対前年度増減率		対前年度増減率			対前年度増減率		対前年度増減率			
平成25年度	7,144	5.57	8,807	4.54	5,993	5.11	6,586	4.76	7,763	4.63	5,492	4.12
平成26年度	7,194	0.70	8,813	0.06	6,039	0.77	6,597	0.17	7,744	△ 0.26	5,506	0.25
平成27年度	7,668	6.58	9,473	7.50	6,339	4.97	6,960	5.50	8,182	5.67	5,768	4.76
平成28年度	7,410	△ 3.36	9,019	△ 4.80	5,899	△ 6.93	6,692	△ 3.86	7,897	△ 3.49	5,521	△ 4.27
平成29年度	7,526	1.56	9,084	0.72	6,044	2.44	6,880	2.81	8,015	1.49	5,704	3.31
組合健保との差(率)	646 (9.39%)	△ 1.25 ^P	1,069 (13.34%)	△ 0.77 ^P	340 (5.95%)	△ 0.87 ^P	出典：平成28年度以前：厚生労働省「健康保険事業状況報告」 平成29年度：厚生労働省「医療保険医療費データベース」					

(図-47) 調剤1回当たり医療費（組合員）



(図-48) 調剤1回当たり医療費（家族）



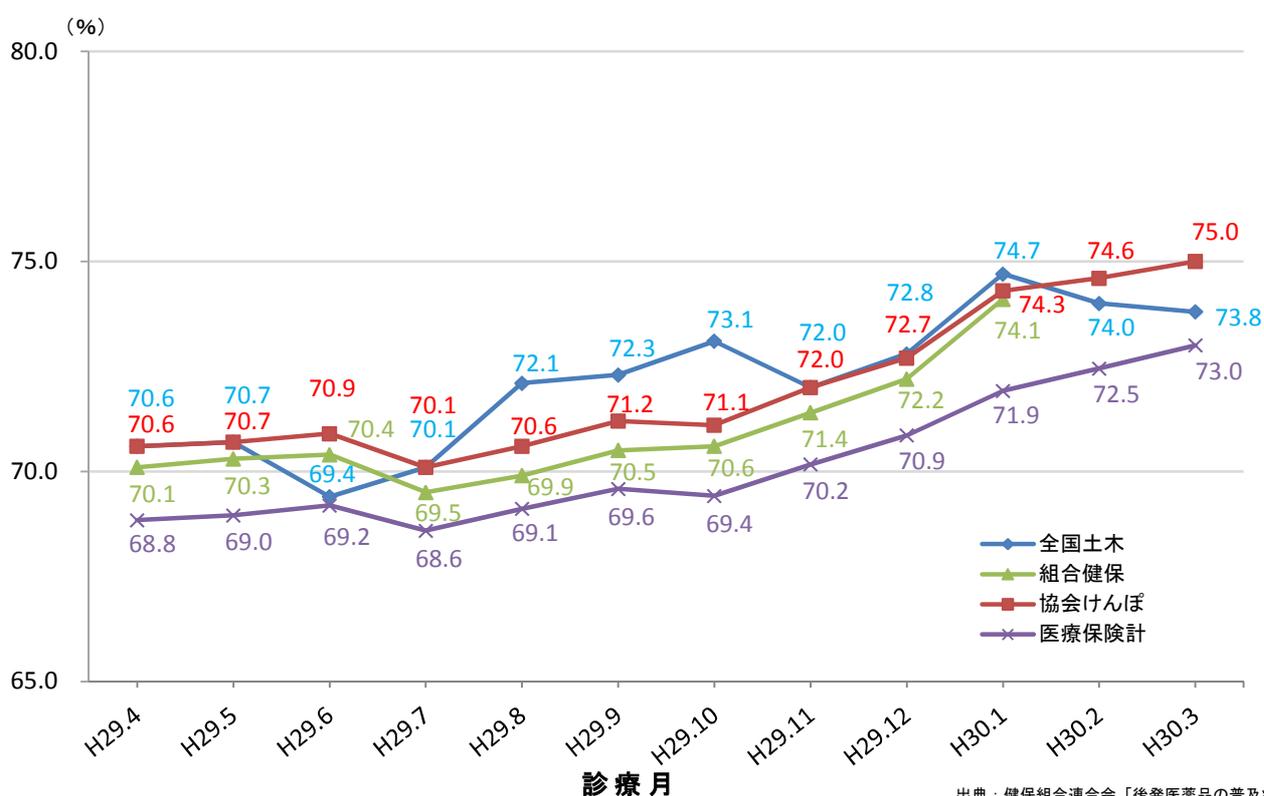
(10) ジェネリック医薬品の使用状況（数量ベース）

平成 29 年 4 月から月ごとのジェネリック医薬品の使用状況をみると、若干の増減を繰り返しながら増加傾向となっている。平成 30 年 3 月では 73.8% であり、平成 29 年 3 月（70.1%）から 3.7 ポイント増加した。

また、平成 30 年 1 月の使用状況を組合健保（74.1%）と比較すると、全国土木（74.7%）が 0.6 ポイント上回っている。

なお、仮に平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までの間のジェネリック医薬品の使用割合が 100% であった場合、約 11.7 億円の組合負担額の削減が見込めると試算される。

(図-49) ジェネリック医薬品使用状況（数量ベース）



出典：健保組合連合会「後発医薬品の普及状況」
協会けんぽ「医薬品使用状況」
厚生労働省「調剤医療費の動向調査」

※1 各保険者の数値は、電算処理分の調剤レセプト（院外処方により保険薬局が作成する調剤報酬明細書）を集計したものであり、院内処方を含まない。

※2 令和元年 5 月現在、組合健保の平成 30 年 2 月以降の数値は未公表のため、本グラフでは 1 月までの数値を掲載している。

平成 25 年 4 月に策定された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づき、数量シェアを次のとおり算出している。（「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。）

$$\text{後発医薬品の数量シェア} = \frac{\text{後発医薬品の数量}}{\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量} + \text{後発医薬品の数量}}$$

国では「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2017」において、数量シェアの目標値を次のとおり示している。なお、国の目標値は院内処方を含めた数値である。院内処方を含めて集計した場合、一般的に各保険者の数値は院内処方を含まない数値よりも 2~3 ポイント低くなる。

- 2020 年（平成 32 年）9 月までに、後発医薬品の使用割合を 80% とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。

3 疾病の状況

(1) 年齢階級別疾病分類

①全体（医科+歯科）

平成 29 年度診療分医療費における疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、新生物（79.6 億円）が最も高く、次いで循環器系の疾患（67.1 億円）、呼吸器系の疾患（48.6 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も高い年齢階級をみると、新生物及び循環器系の疾患では 60 歳から 64 歳（新生物 16.5 億円、循環器系の疾患 14.1 億円）であるが、呼吸器系の疾患では 0 歳から 4 歳（10.5 億円）となっている。

なお、年齢階級別医療費をみると 60 歳から 64 歳（77.1 億円）が最も高く、次いで 55 歳から 59 歳（68.4 億円）、65 歳から 69 歳（59.4 億円）となっており、55 歳から 64 歳までの年齢階層が特に高く全体の約 27% を占めている。

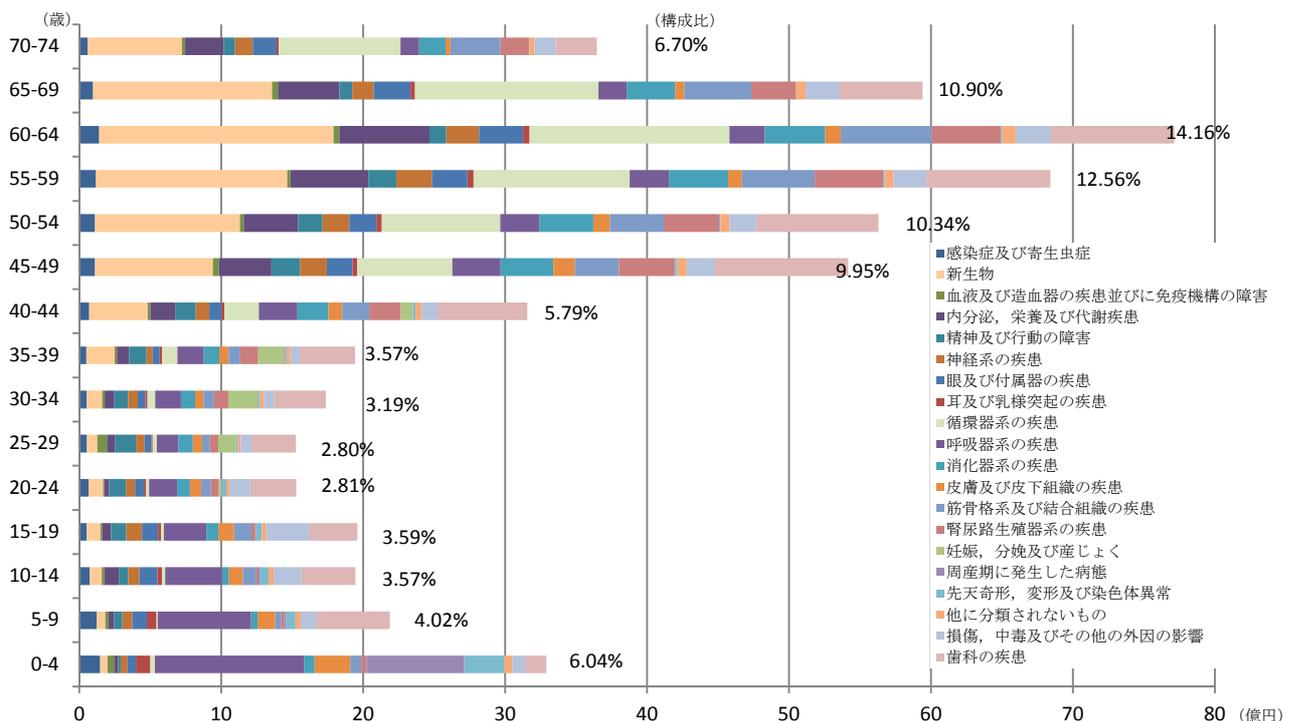
(表-28) 年齢階級別疾病分類 全体

疾病分類	構成比	(億円)															
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	2.44%	1.48	1.23	0.75	0.53	0.66	0.54	0.53	0.50	0.71	1.12	1.10	1.17	1.40	0.98	0.58	13.27
2 新生物	14.62%	0.52	0.60	0.83	0.96	1.01	0.73	1.08	2.00	4.13	8.30	10.22	13.48	16.51	12.60	6.66	79.63
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.77%	0.45	0.24	0.19	0.11	0.07	0.68	0.18	0.15	0.16	0.41	0.27	0.22	0.40	0.41	0.23	4.18
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	6.06%	0.29	0.38	1.01	0.65	0.36	0.59	0.69	0.86	1.76	3.71	3.83	5.49	6.35	4.33	2.71	33.01
5 精神及び行動の障害	3.19%	0.19	0.58	0.66	1.06	1.18	1.44	0.97	1.23	1.45	2.02	1.73	1.98	1.18	0.91	0.79	17.38
6 神経系の疾患	3.26%	0.46	0.71	0.80	1.10	0.65	0.62	0.67	0.43	0.95	1.87	1.88	2.52	2.33	1.52	1.25	17.75
7 眼及び付属器の疾患	3.78%	0.60	1.03	1.26	1.15	0.63	0.47	0.52	0.50	0.86	1.81	1.90	2.49	3.09	2.58	1.68	20.59
8 耳及び乳様突起の疾患	0.92%	1.02	0.66	0.32	0.20	0.13	0.10	0.17	0.16	0.21	0.32	0.39	0.42	0.46	0.32	0.16	5.01
9 循環器系の疾患	12.32%	0.32	0.11	0.24	0.21	0.24	0.29	0.55	1.09	2.42	6.73	8.34	11.00	14.09	12.92	8.57	67.12
10 呼吸器系の疾患	8.93%	10.49	6.57	4.01	2.99	1.97	1.53	1.80	1.85	2.73	3.39	2.74	2.77	2.48	1.99	1.31	48.61
11 消化器系の疾患	5.49%	0.76	0.44	0.48	0.84	0.90	1.02	1.00	1.10	2.18	3.72	3.81	4.16	4.24	3.41	1.86	29.91
12 皮膚及び皮下組織の疾患	2.81%	2.52	1.25	0.96	1.10	0.80	0.65	0.59	0.66	0.97	1.52	1.18	0.99	1.12	0.65	0.34	15.29
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.37%	0.76	0.44	0.95	1.23	0.68	0.54	0.75	0.80	1.90	3.10	3.79	5.11	6.41	4.73	3.52	34.72
14 腎尿路生殖器系の疾患	5.38%	0.34	0.21	0.18	0.27	0.55	0.59	0.99	1.27	2.23	3.93	3.89	4.82	4.87	3.14	2.01	29.29
15 妊娠、分娩及び産じょく	1.15%	0.02	0.00	0.00	0.01	0.20	1.24	2.09	1.82	0.84	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.25
16 周産期に発生した病態	1.33%	6.90	0.13	0.05	0.01	0.01	0.01	0.04	0.10	0.01	-	-	0.00	-	-	-	7.26
17 先天奇形、変形及び染色体異常	1.08%	2.82	0.65	0.65	0.44	0.32	0.13	0.10	0.08	0.19	0.16	0.09	0.11	0.10	0.03	0.03	5.90
18 他に分類されないもの	1.28%	0.56	0.37	0.35	0.32	0.22	0.21	0.30	0.27	0.43	0.64	0.65	0.64	0.93	0.66	0.39	6.94
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4.46%	0.91	1.14	1.95	3.05	1.46	0.74	0.73	0.67	1.11	1.93	1.90	2.30	2.49	2.41	1.47	24.28
20 歯科の疾患	14.36%	1.49	5.15	3.82	3.37	3.24	3.15	3.62	3.90	6.32	9.47	8.60	8.73	8.68	5.81	2.90	78.22
合計	100%	32.90	21.89	19.43	19.58	15.28	15.27	17.38	19.42	31.55	54.19	56.33	68.41	77.13	59.38	36.48	544.63

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

(図-50) 年齢階級別疾病分類 全体



②入院（医科+歯科）：組合員

平成 29 年度診療分医療費における組合員の入院の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、循環器系の疾患（24.2 億円）が最も高く、次いで新生物（24 億円）、消化器系の疾患（7.8 億円）となっており、特に上位 2 疾病が突出して高く全体の約 56%を占めている。

また、上記 3 疾病のいずれも 60 歳から 64 歳が最も高い年齢階級である（循環器系の疾患 5.2 億円、新生物 6.1 億円、消化器系の疾患 1.3 億円）。

なお、年齢階級別医療費をみると、60 歳から 64 歳（18.2 億円）が最も高く、次いで 55 歳から 59 歳（14.6 億円）、65 歳から 69 歳（14.2 億円）となっている。

（表-29）年齢階級別疾病分類 入院：組合員

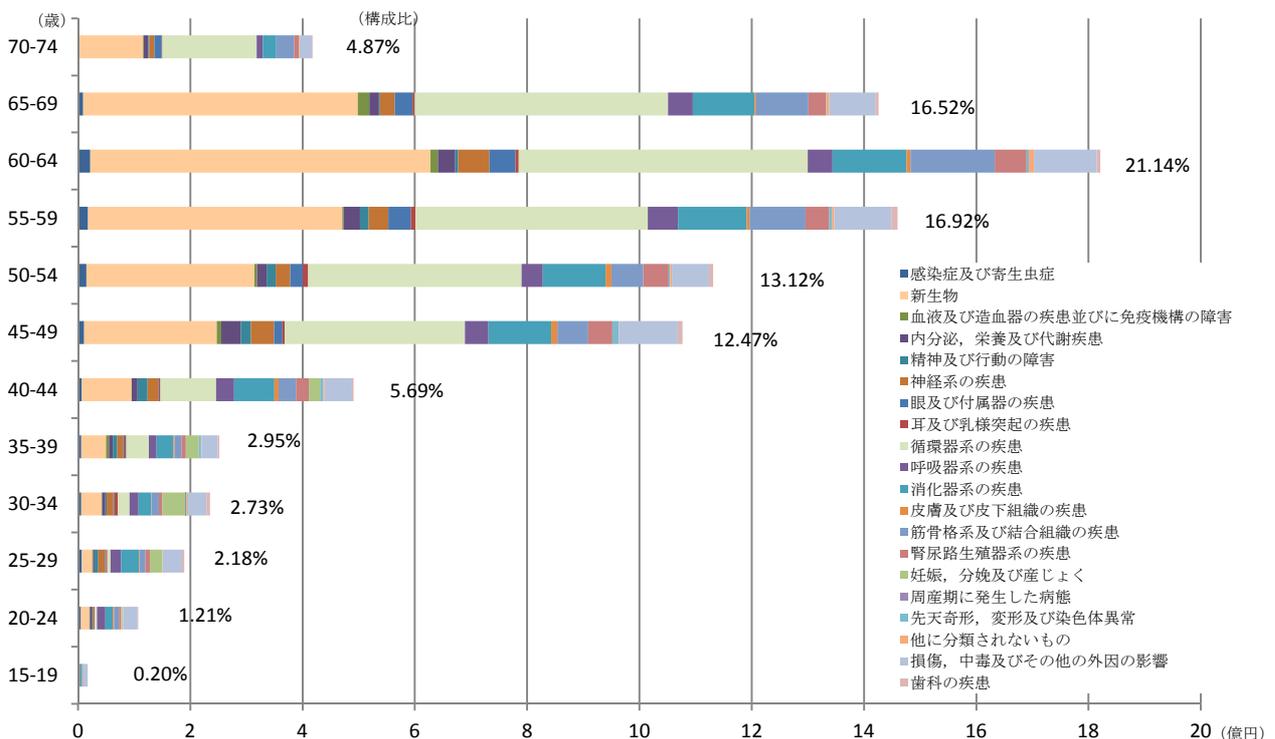
（億円）

疾病分類	構成比	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	1.28%	0.01	0.05	0.07	0.06	0.06	0.07	0.11	0.15	0.18	0.22	0.09	0.03	1.10
2 新生物	27.82%	0.02	0.15	0.18	0.36	0.44	0.88	2.36	2.99	4.53	6.06	4.89	1.13	23.99
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.70%	-	0.01	0.02	0.01	0.05	0.01	0.08	0.05	0.02	0.13	0.21	0.01	0.60
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.91%	-	0.03	0.02	0.06	0.07	0.10	0.35	0.17	0.29	0.31	0.17	0.08	1.64
5 精神及び行動の障害	1.11%	0.00	0.02	0.07	0.02	0.08	0.18	0.18	0.16	0.16	0.05	0.02	0.02	0.96
6 神経系の疾患	2.89%	0.00	0.01	0.12	0.12	0.11	0.19	0.41	0.26	0.35	0.56	0.26	0.09	2.49
7 眼及び付属器の疾患	2.04%	0.01	-	0.02	0.02	0.02	0.01	0.15	0.22	0.40	0.46	0.32	0.13	1.76
8 耳及び乳様突起の疾患	0.56%	-	0.02	0.02	0.06	0.03	0.03	0.04	0.10	0.08	0.06	0.04	0.01	0.48
9 循環器系の疾患	28.06%	0.00	0.05	0.06	0.21	0.40	0.99	3.21	3.80	4.14	5.15	4.51	1.68	24.19
10 呼吸器系の疾患	3.80%	0.00	0.15	0.19	0.16	0.14	0.32	0.42	0.38	0.54	0.44	0.44	0.11	3.28
11 消化器系の疾患	9.09%	0.03	0.13	0.32	0.22	0.30	0.72	1.12	1.12	1.22	1.32	1.10	0.24	7.84
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0.58%	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.07	0.11	0.10	0.05	0.07	0.03	0.00	0.50
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.53%	0.01	0.09	0.10	0.13	0.12	0.31	0.55	0.57	1.00	1.50	0.93	0.32	5.63
14 泌尿路生殖器系の疾患	3.21%	-	0.04	0.08	0.06	0.08	0.23	0.43	0.45	0.42	0.57	0.31	0.09	2.77
15 妊娠、分娩及び産じょく	1.25%	-	0.02	0.22	0.41	0.23	0.20	0.00	-	-	-	-	-	1.08
16 周産期に発生した病態	0.02%	-	-	0.00	0.01	0.00	-	-	-	-	-	-	-	0.01
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.43%	0.00	0.00	0.00	0.02	0.04	0.06	0.11	0.03	0.05	0.04	0.01	-	0.37
18 他に分類されないもの	0.34%	-	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.03	0.04	0.09	0.05	0.01	0.29
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.75%	0.08	0.26	0.34	0.33	0.29	0.49	1.04	0.66	1.02	1.12	0.83	0.22	6.68
20 歯科の疾患	0.64%	0.00	0.01	0.04	0.06	0.03	0.03	0.09	0.07	0.11	0.06	0.05	0.01	0.55
合計	100%	0.17	1.05	1.88	2.36	2.54	4.90	10.75	11.31	14.59	18.22	14.24	4.20	86.22

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-51）年齢階級別疾病分類 入院：組合員



③入院（医科+歯科）：家族

平成 29 年度診療分医療費における家族の入院の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、新生物（20.7 億円）が最も高く、次いで循環器系の疾患（11 億円）、損傷、中毒及びその他の外因の影響（7.6 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も高い年齢階級をみると、新生物では 60 歳から 64 歳（3.3 億円）、循環器系の疾患では 70 歳から 74 歳（3.2 億円）、損傷、中毒及びその他の外因の影響では 15 歳から 19 歳（1.6 億円）となっている。

なお、年齢階級別医療費をみると、0 歳から 4 歳（13.7 億円）が最も高く、次いで 70 歳から 74 歳（12.4 億円）、65 歳から 69 歳（10.4 億円）となっている。

（表-30）年齢階級別疾病分類 入院：家族

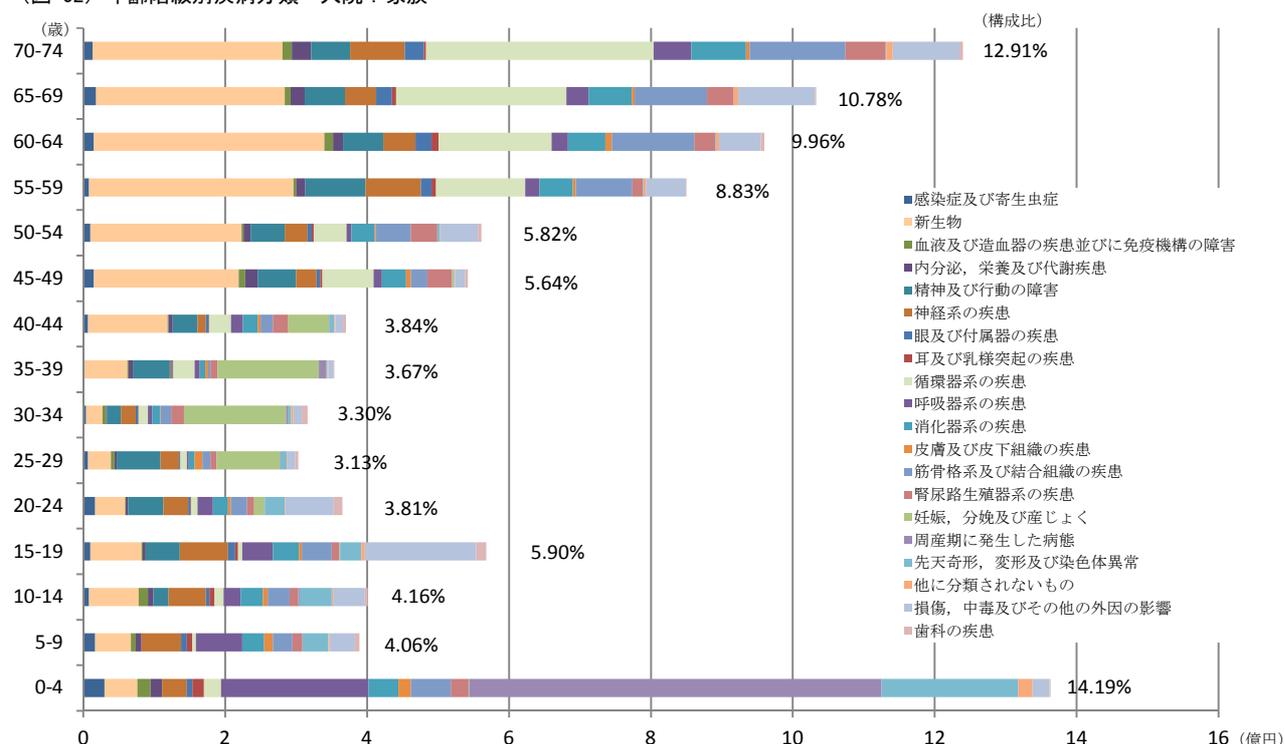
（億円）

疾病分類	構成比	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	1.88%	0.30	0.17	0.08	0.10	0.17	0.07	0.04	0.02	0.07	0.15	0.10	0.08	0.15	0.18	0.13	1.81
2 新生物	21.53%	0.46	0.50	0.70	0.72	0.42	0.32	0.23	0.60	1.12	2.04	2.13	2.88	3.25	2.66	2.68	20.70
3 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	1.09%	0.19	0.07	0.13	0.02	0.01	0.05	0.05	0.02	0.01	0.09	0.03	0.04	0.12	0.08	0.13	1.04
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1.64%	0.16	0.08	0.08	0.04	0.03	0.03	0.01	0.06	0.06	0.18	0.10	0.13	0.14	0.20	0.27	1.58
5 精神及び行動の障害	6.69%	0.00	0.00	0.21	0.48	0.50	0.62	0.20	0.52	0.35	0.54	0.48	0.85	0.57	0.57	0.55	6.44
6 神経系の疾患	6.39%	0.35	0.56	0.53	0.68	0.35	0.26	0.21	0.02	0.12	0.29	0.32	0.78	0.45	0.44	0.77	6.14
7 眼及び付属器の疾患	1.50%	0.08	0.08	0.05	0.10	0.03	0.02	0.03	0.02	0.04	0.05	0.06	0.15	0.23	0.22	0.27	1.45
8 耳及び乳様突起の疾患	0.72%	0.16	0.08	0.07	0.04	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.03	0.03	0.06	0.10	0.06	0.03	0.69
9 循環器系の疾患	11.49%	0.24	0.05	0.13	0.06	0.09	0.09	0.13	0.30	0.30	0.72	0.46	1.26	1.59	2.40	3.21	11.04
10 呼吸器系の疾患	5.63%	2.08	0.65	0.24	0.43	0.22	0.03	0.06	0.07	0.17	0.12	0.07	0.20	0.23	0.31	0.53	5.41
11 消化器系の疾患	5.34%	0.42	0.31	0.31	0.37	0.21	0.08	0.11	0.08	0.21	0.34	0.32	0.47	0.53	0.61	0.77	5.13
12 皮膚及び皮下組織の疾患	1.00%	0.18	0.12	0.07	0.04	0.04	0.11	0.01	0.04	0.04	0.07	0.02	0.04	0.09	0.04	0.05	0.97
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	7.61%	0.56	0.28	0.31	0.42	0.23	0.11	0.15	0.03	0.17	0.23	0.50	0.80	1.16	1.02	1.35	7.32
14 腎尿路生殖器系の疾患	3.56%	0.25	0.14	0.12	0.11	0.10	0.09	0.18	0.10	0.22	0.35	0.37	0.15	0.30	0.38	0.57	3.42
15 妊娠、分娩及び産じょく	4.69%	0.01	-	-	0.01	0.14	0.89	1.44	1.43	0.57	0.02	-	-	-	-	-	4.51
16 周産期に発生した病態	6.22%	5.81	0.00	0.02	-	0.01	0.01	0.02	0.10	0.01	-	-	-	-	-	-	5.98
17 先天奇形、変形及び染色体異常	3.77%	1.93	0.36	0.45	0.30	0.28	0.09	0.05	0.02	0.07	0.01	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	3.63
18 他に分類されないもの	0.61%	0.20	0.02	0.02	0.05	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.04	0.06	0.09	0.58
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.87%	0.24	0.36	0.45	1.57	0.68	0.11	0.12	0.08	0.11	0.14	0.53	0.56	0.59	1.08	0.94	7.57
20 歯科の疾患	0.79%	0.01	0.06	0.04	0.14	0.12	0.04	0.08	0.01	0.04	0.04	0.05	0.01	0.05	0.02	0.05	0.76
合計	100%	13.65	3.90	4.00	5.68	3.67	3.01	3.17	3.52	3.69	5.42	5.59	8.49	9.58	10.36	12.41	96.15

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-52）年齢階級別疾病分類 入院：家族



④入院外（医科+歯科）：組合員

平成 29 年度診療分医療費における組合員の入院外の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、循環器系の疾患（21.5 億円）が最も高く、次いで 新生物（19.1 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患（17.1 億円）となっている。

また、上記 3 疾病のいずれも 60 歳から 64 歳が最も高い年齢階級である（循環器系の疾患 5.5 億円、新生物 4.6 億円、内分泌、栄養及び代謝疾患 3.9 億円）。

なお、年齢階級別医療費をみると、60 歳から 64 歳（31.8 億円）が最も高く、次いで 55 歳から 59 歳（28.1 億円）、50 歳から 54 歳（25.2 億円）となっている。

（表-31）年齢階級別疾病分類 入院外：組合員

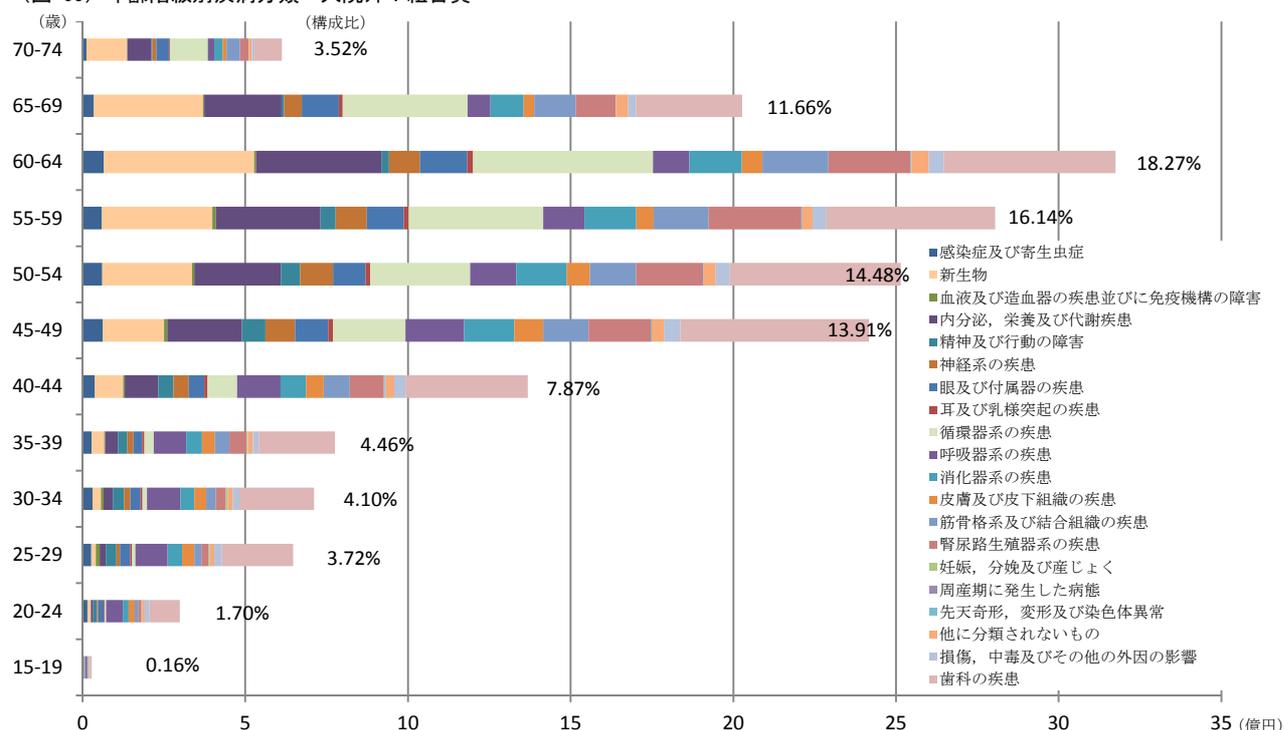
（億円）

疾病分類	構成比	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	計
1 感染症及び寄生虫症	2.48%	0.01	0.15	0.27	0.31	0.28	0.38	0.62	0.60	0.58	0.65	0.34	0.12	4.31
2 新生物	10.96%	0.01	0.10	0.14	0.25	0.38	0.87	1.88	2.76	3.41	4.62	3.36	1.25	19.05
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.39%	0.00	0.01	0.11	0.08	0.03	0.05	0.10	0.07	0.11	0.06	0.04	0.01	0.68
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	9.85%	0.01	0.07	0.19	0.29	0.40	1.03	2.30	2.66	3.21	3.85	2.37	0.74	17.12
5 精神及び行動の障害	2.13%	0.01	0.12	0.33	0.35	0.29	0.46	0.72	0.60	0.47	0.24	0.08	0.03	3.69
6 神経系の疾患	3.16%	0.01	0.04	0.11	0.18	0.18	0.48	0.91	1.01	0.96	0.95	0.55	0.12	5.50
7 眼及び付属器の疾患	4.42%	0.02	0.16	0.31	0.32	0.27	0.47	1.02	1.00	1.13	1.45	1.14	0.38	7.67
8 耳及び乳様突起の疾患	0.62%	0.00	0.03	0.06	0.06	0.07	0.10	0.15	0.14	0.15	0.18	0.11	0.03	1.08
9 循環器系の疾患	12.35%	0.01	0.04	0.10	0.14	0.29	0.91	2.22	3.07	4.14	5.53	3.84	1.17	21.46
10 呼吸器系の疾患	6.57%	0.06	0.52	0.99	1.03	1.00	1.33	1.80	1.42	1.26	1.12	0.70	0.20	11.42
11 消化器系の疾患	5.71%	0.02	0.18	0.45	0.42	0.48	0.79	1.55	1.55	1.60	1.61	1.02	0.25	9.91
12 皮膚及び皮下組織の疾患	2.92%	0.02	0.18	0.37	0.37	0.40	0.54	0.89	0.71	0.53	0.63	0.33	0.12	5.07
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	5.83%	0.01	0.12	0.22	0.30	0.44	0.80	1.39	1.42	1.69	2.03	1.28	0.42	10.12
14 腎尿路生殖器系の疾患	7.51%	0.00	0.09	0.23	0.30	0.54	1.05	1.91	2.06	2.85	2.53	1.22	0.26	13.04
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.08%	0.00	0.01	0.03	0.05	0.03	0.02	0.00	-	-	-	-	-	0.14
16 周産期に発生した病態	0.00%	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	-	-	-	0.00
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.12%	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	0.03	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	0.20
18 他に分類されないもの	1.64%	0.01	0.08	0.13	0.16	0.14	0.26	0.38	0.37	0.32	0.54	0.38	0.09	2.85
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.87%	0.02	0.15	0.23	0.20	0.18	0.34	0.50	0.44	0.42	0.45	0.24	0.08	3.25
20 歯科の疾患	21.40%	0.06	0.93	2.19	2.29	2.35	3.76	5.79	5.25	5.18	5.28	3.26	0.84	37.18
合計	100%	0.27	2.96	6.46	7.12	7.75	13.68	24.16	25.16	28.05	31.75	20.25	6.12	173.74

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。

※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-53）年齢階級別疾病分類 入院外：組合員



⑤入院外（医科+歯科）：家族

平成 29 年度診療分医療費における家族の入院外の疾病分類を金額順（歯科の疾患を除く。）にみると、呼吸器系の疾患（28.5 億円）が最も高く、次いで新生物（15.9 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患（12.7 億円）となっている。

また、上記 3 疾病で最も高い年齢階級をみると、呼吸器系の疾患では 0 歳から 4 歳（8.4 億円）、新生物では 55 歳から 59 歳（2.7 億円）、内分泌、栄養及び代謝疾患では 60 歳から 64 歳（2.1 億円）となっている。

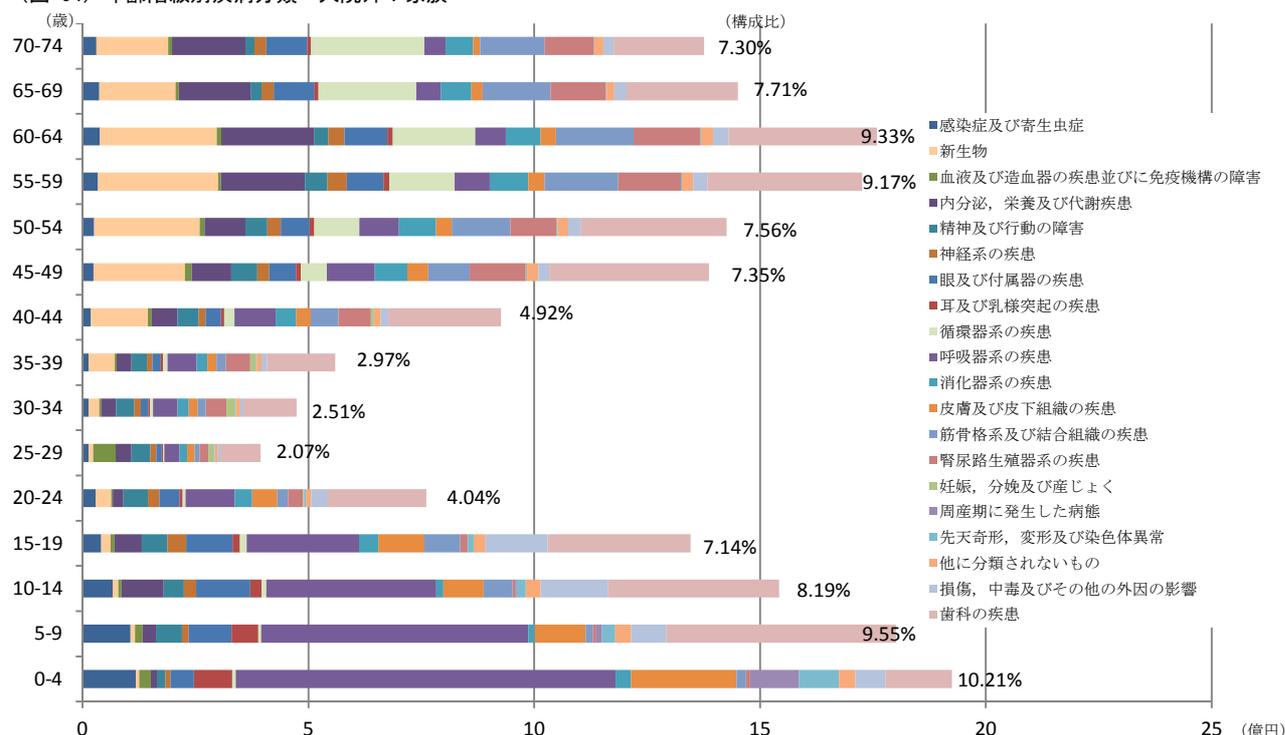
なお、年齢階級別医療費をみると、0 歳から 4 歳（19.3 億円）が最も高く、次いで 5 歳から 9 歳（18 億円）、60 歳から 64 歳（17.6 億円）となっている。

（表-32）年齢階級別疾病分類 入院外：家族

疾病分類	構成比	年齢階級 (億円)																計
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74		
1 感染症及び寄生虫症	3.21%	1.18	1.06	0.67	0.41	0.29	0.13	0.13	0.13	0.18	0.24	0.25	0.34	0.38	0.37	0.30	6.06	
2 新生物	8.44%	0.07	0.10	0.12	0.21	0.34	0.10	0.24	0.58	1.26	2.02	2.34	2.66	2.59	1.69	1.59	15.90	
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.99%	0.26	0.16	0.07	0.08	0.04	0.50	0.04	0.04	0.09	0.15	0.11	0.06	0.10	0.07	0.09	1.86	
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	6.72%	0.13	0.30	0.93	0.61	0.23	0.35	0.33	0.33	0.57	0.88	0.90	1.86	2.05	1.59	1.62	12.67	
5 精神及び行動の障害	3.33%	0.19	0.58	0.45	0.57	0.54	0.42	0.40	0.34	0.47	0.58	0.49	0.50	0.32	0.24	0.20	6.28	
6 神経系の疾患	1.92%	0.11	0.15	0.27	0.41	0.26	0.13	0.15	0.12	0.15	0.26	0.30	0.43	0.36	0.27	0.27	3.63	
7 眼及び付属器の疾患	5.15%	0.52	0.95	1.20	1.03	0.44	0.12	0.16	0.19	0.34	0.59	0.63	0.81	0.95	0.89	0.90	9.71	
8 耳及び乳様突起の疾患	1.46%	0.85	0.59	0.25	0.16	0.07	0.03	0.04	0.05	0.07	0.11	0.11	0.13	0.12	0.10	0.09	2.76	
9 循環器系の疾患	5.53%	0.08	0.06	0.11	0.15	0.07	0.03	0.07	0.10	0.23	0.58	1.00	1.45	1.82	2.17	2.51	10.42	
10 呼吸器系の疾患	15.12%	8.41	5.92	3.76	2.49	1.09	0.33	0.54	0.64	0.91	1.06	0.87	0.77	0.68	0.54	0.47	28.50	
11 消化器系の疾患	3.73%	0.34	0.14	0.16	0.43	0.38	0.17	0.25	0.24	0.46	0.72	0.82	0.86	0.77	0.68	0.60	7.02	
12 皮膚及び皮下組織の疾患	4.64%	2.34	1.13	0.89	1.02	0.56	0.17	0.20	0.20	0.32	0.46	0.35	0.36	0.34	0.25	0.16	8.75	
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	6.18%	0.21	0.16	0.64	0.79	0.24	0.11	0.18	0.21	0.61	0.92	1.30	1.63	1.72	1.50	1.43	11.65	
14 腎尿路生殖器系の疾患	5.34%	0.09	0.07	0.06	0.16	0.33	0.20	0.45	0.54	0.72	1.24	1.02	1.39	1.47	1.23	1.09	10.06	
15 妊娠、分娩及び産じょく	0.28%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.11	0.18	0.13	0.05	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.52	
16 周産期に発生した病態	0.67%	1.08	0.13	0.03	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	1.26	
17 先天奇形、変形及び染色体異常	0.90%	0.89	0.29	0.20	0.13	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	1.71	
18 他に分類されないもの	1.71%	0.36	0.35	0.33	0.26	0.12	0.06	0.10	0.11	0.15	0.25	0.24	0.25	0.27	0.17	0.20	3.23	
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.60%	0.67	0.78	1.50	1.38	0.37	0.07	0.07	0.12	0.17	0.24	0.27	0.31	0.34	0.27	0.23	6.79	
20 歯科の疾患	21.08%	1.47	5.09	3.78	3.16	2.18	0.89	1.18	1.51	2.49	3.54	3.24	3.43	3.29	2.47	2.00	39.73	
合計	100%	19.25	17.99	15.43	13.46	7.61	3.91	4.73	5.60	9.28	13.85	14.26	17.28	17.58	14.53	13.75	188.51	

※1 電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計した。 ※2 入院時食事療養費、入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まない。

（図-54）年齢階級別疾病分類 入院外：家族



(2) 疾病分類別医療費構成割合 (医科)

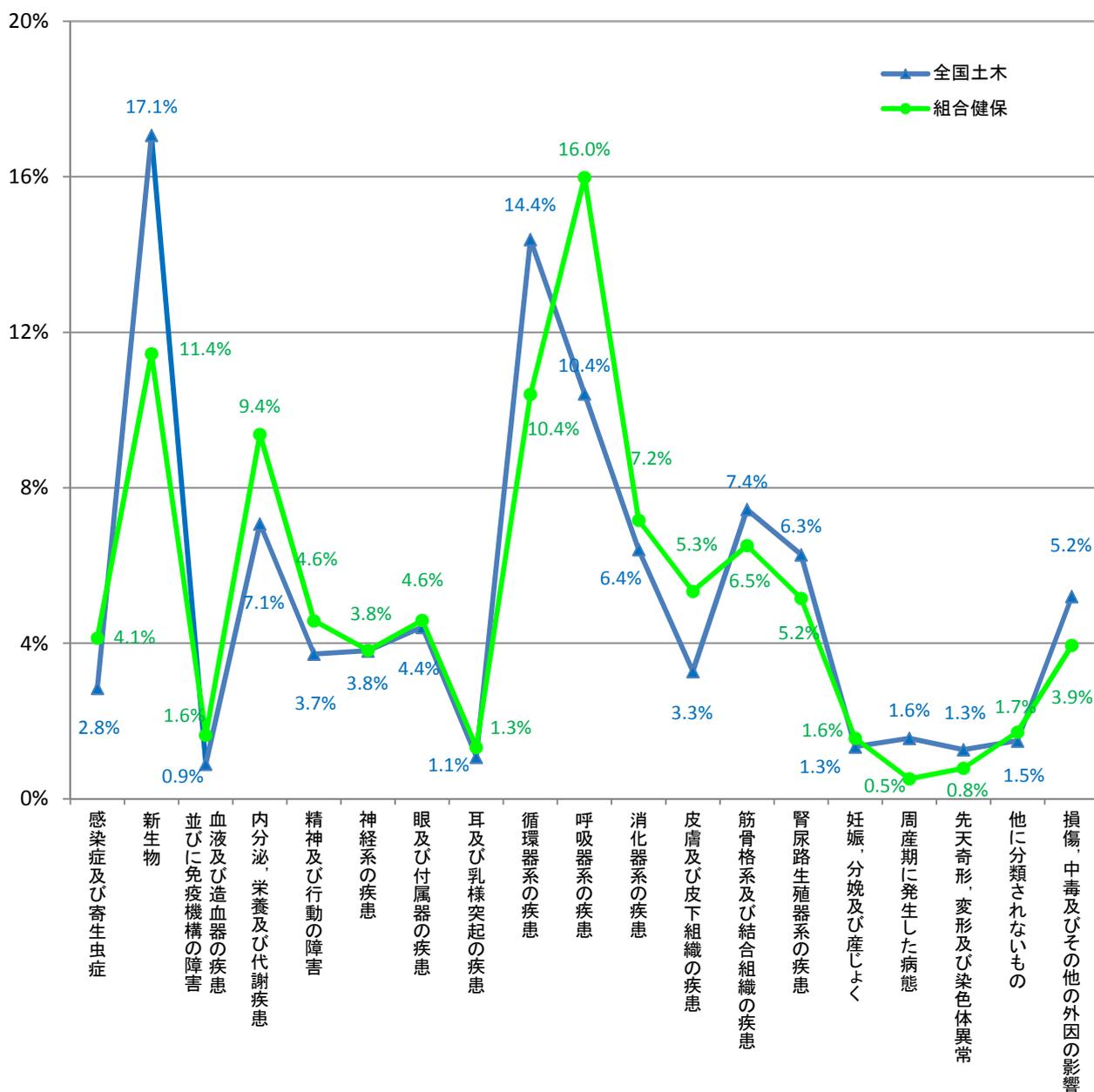
①全体 (入院+入院外)

平成29年度の医科診療分における医療費の構成割合を疾病分類別にみると、前述したように新生物(17.1%)が最も高い割合を占めており、次いで循環器系の疾患(14.4%)、呼吸器系の疾患(10.4%)となっている。

組合健保においても上位3疾病は全国土木と同じ疾病分類が占めているものの、順番は呼吸器系の疾患(16.0%)、新生物(11.4%)、循環器系の疾患(10.4%)となっている。

また、組合健保と比較すると、全体的にみて全国土木の疾病分類別医療費構成は組合健保と類似の傾向にある。個別にみると、新生物では5.7ポイント、循環器系の疾患では4.0ポイント組合健保より高くなっており、呼吸器系の疾患では5.6ポイント組合健保より低くなっている。

(図-55) 疾病分類別医療費構成割合：医科 (入院+入院外)



出典：健保組合連合会「平成29年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）」

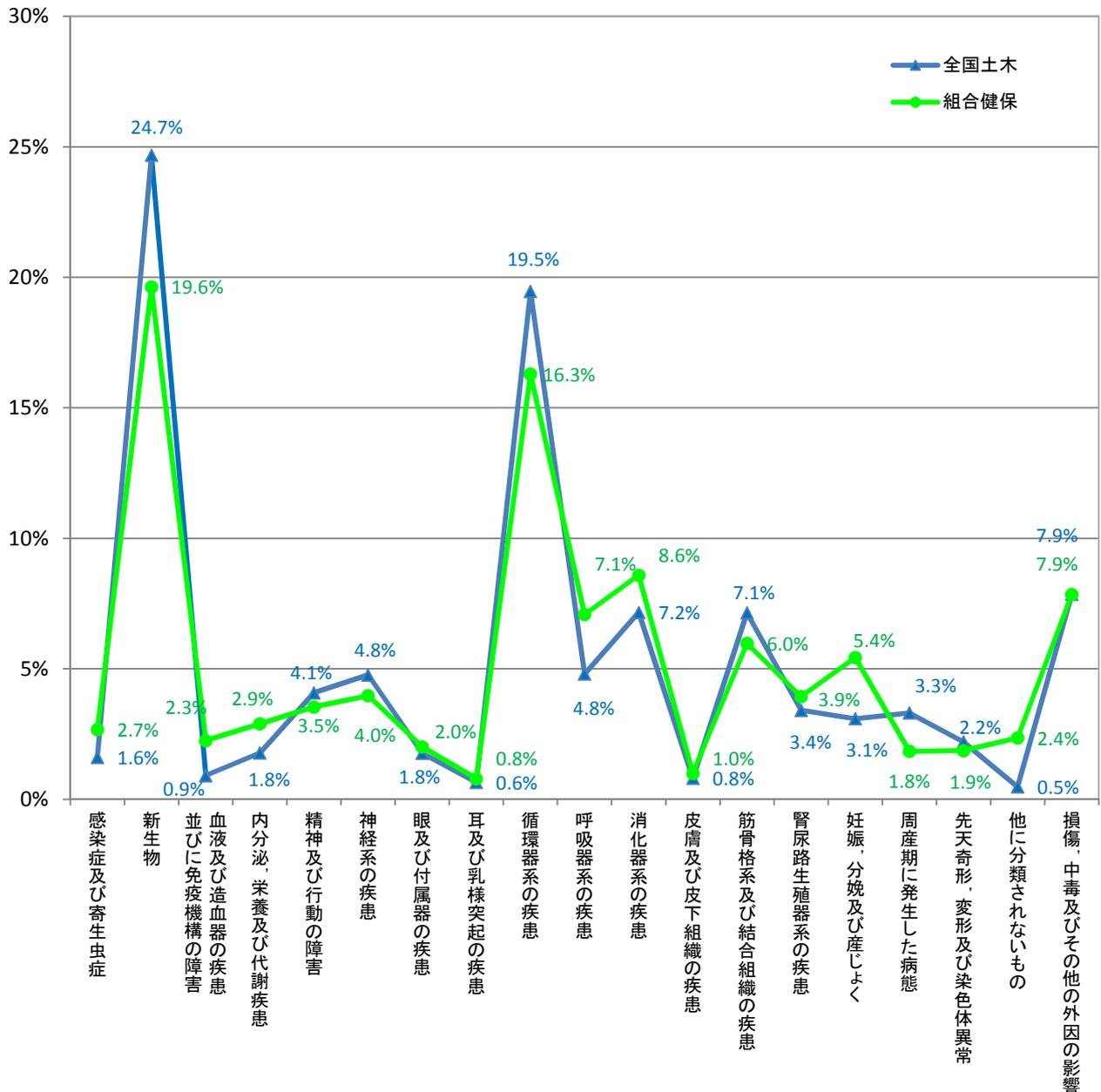
②入院

平成 29 年度の医科入院の医療費構成割合を疾病分類別にみると、新生物（24.7%）が最も高い割合を占めており、次いで循環器系の疾患（19.5%）、損傷、中毒及びその他の外因の影響（7.9%）となっている。

組合健保においては新生物（19.6%）、循環器系の疾患（16.3%）、消化器系の疾患（8.6%）の順となっており、上位 2 疾病は全国土木と同様である。

また、組合健保と比較すると、新生物では 5.1 ポイント、循環器系の疾患では 3.2 ポイント組合健保より高くなっている。全国土木で 3 番目に高い損傷、中毒及びその他の外因の影響は組合健保では 4 番目に高く、割合は全国土木と同じく 7.9%となっている。組合健保で 3 番目に高い消化器系の疾患は全国土木では 4 番目に高く、割合は 7.2%と組合健保より 1.4 ポイント低くなっている。

（図-56）疾病分類別医療費構成割合：医科入院



出典：健保組合連合会「平成 29 年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）」

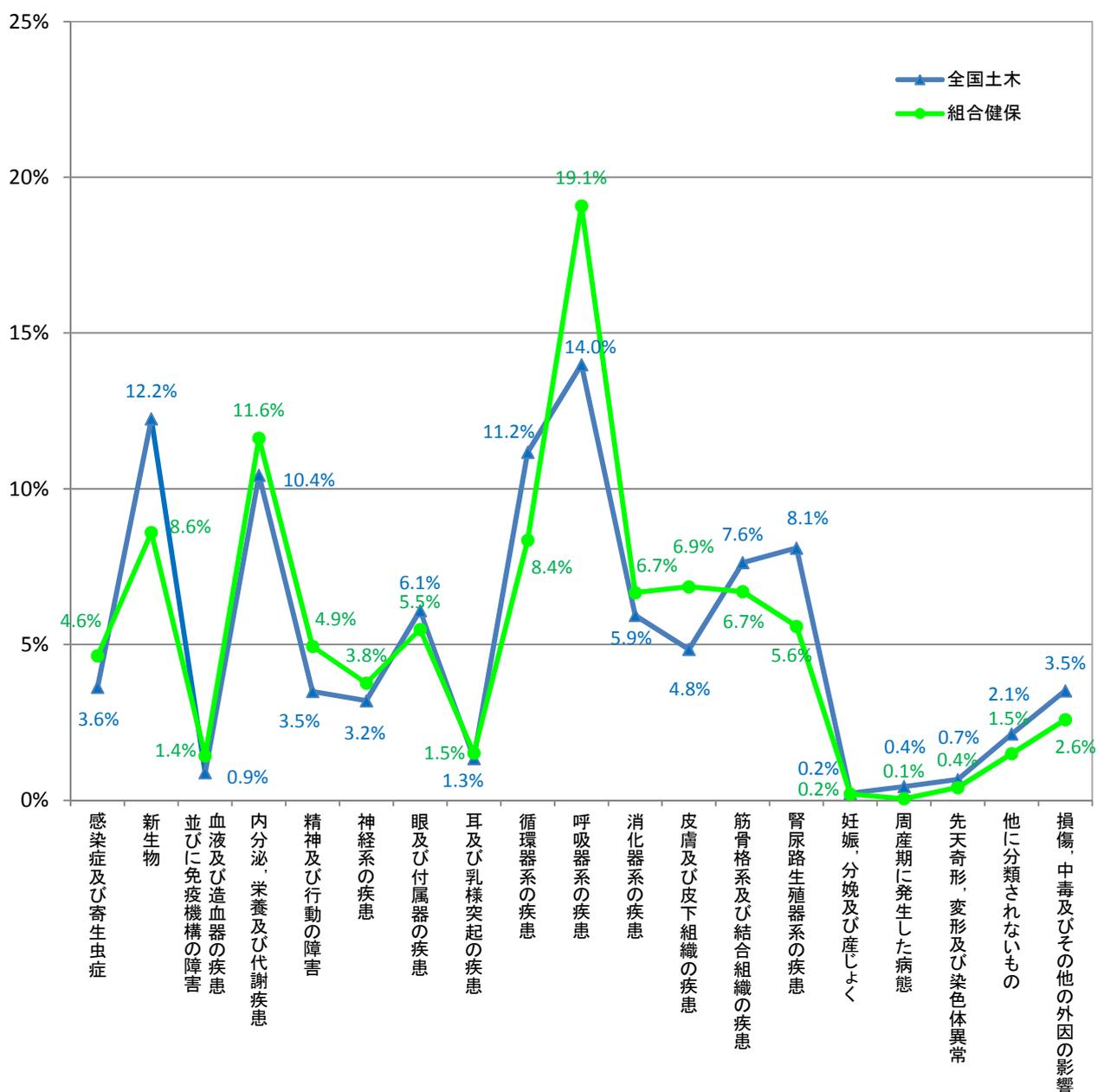
③入院外

平成 29 年度の医科入院外の医療費構成割合を疾病分類別にみると、呼吸器系の疾患（14.0%）が最も高い割合を占めており、次いで新生物（12.2%）、循環器系の疾患（11.2%）となっている。

組合健保においては呼吸器系の疾患（19.1%）が全国土木と同様に最も高い割合を占め、次いで内分泌、栄養及び代謝疾患（11.6%）、新生物（8.6%）の順となっている。

また、組合健保と比較すると、呼吸器系の疾患では組合健保より 5.1 ポイント低くなっており、新生物では 3.6 ポイント、循環器系の疾患では 2.8 ポイント組合健保より高くなっている。組合健保で 2 番目に高い内分泌、栄養及び代謝疾患は、全国土木では 10.4%と組合健保より 1.2 ポイント低いものの、4 番目に高い割合を占めている。

（図-57）疾病分類別医療費構成割合：医科入院外



出典：健保組合連合会「平成 29 年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）」

(3) 前期高齢者に係る疾病分類比較分析（医科）

平成 28 年度における前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費を組合健保と比較すると、医科入院、医科入院外のいずれも全国土木が高くなっている。医科入院については差が 1,446 円と平成 27 年度(全国土木が 6,109 円高かった)より差が小さくなった一方、医科入院外については差が 7,910 円と平成 27 年度(全国土木が 7,746 円高かった)から大きな変化はない。

医科入院で差が最も大きい筋骨格系及び結合組織の疾患では、全国土木(12,753 円)が組合健保(10,990 円)より 1,763 円高くなっている。医科入院外で差が最も大きい循環器系の疾患では、全国土木(36,254 円)が組合健保(30,435 円)より 5,819 円高くなっている。

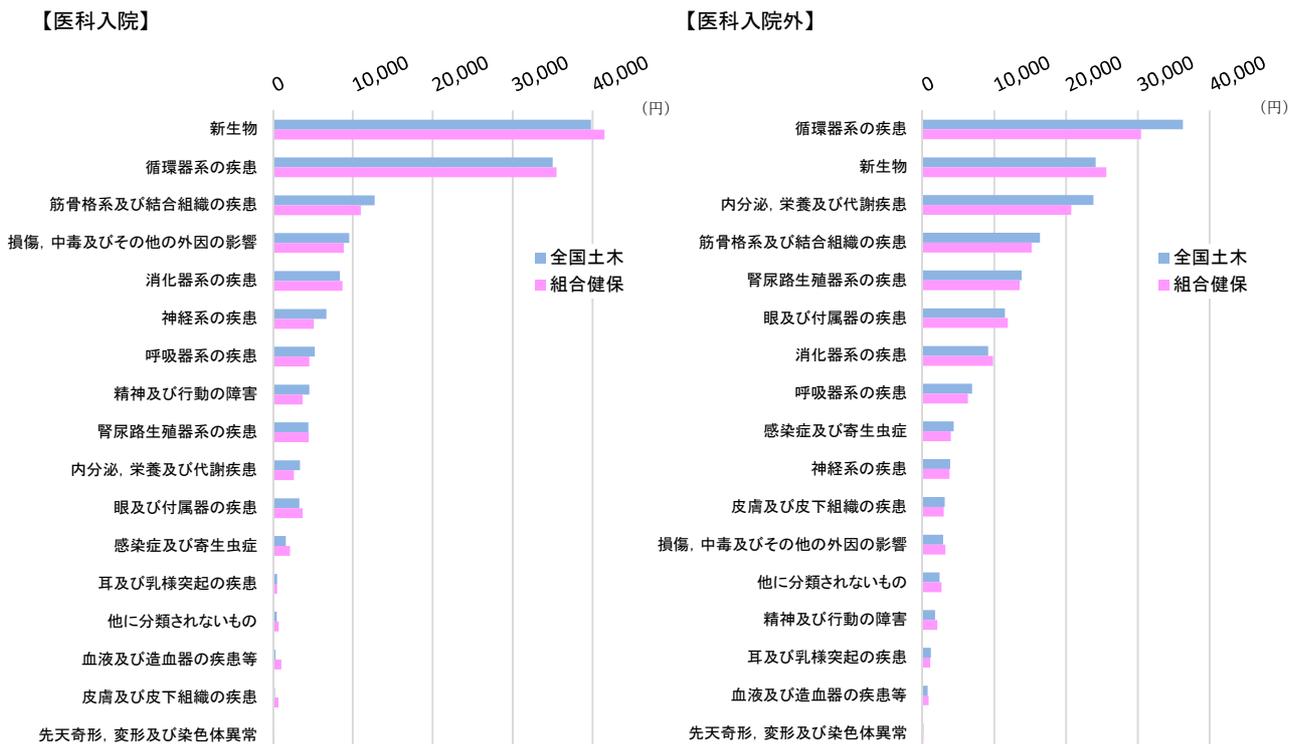
(表-33) 前期高齢者に係る疾病分類別 1 人当たり医療費（平成 28 年度）（金額順）

医科入院				医科入院外			
疾病分類	全国土木	組合健保	差	疾病分類	全国土木	組合健保	差
総数	136,486	135,040	1,446	総数	162,438	154,528	7,910
2 新生物	39,799	41,476	△ 1,677	9 循環器系の疾患	36,254	30,435	5,819
9 循環器系の疾患	35,013	35,486	△ 473	2 新生物	24,119	25,617	△ 1,498
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,753	10,990	1,763	4 内分泌、栄養及び代謝疾患	23,808	20,714	3,094
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,540	8,871	669	13 筋骨格系及び結合組織の疾患	16,389	15,225	1,164
11 消化器系の疾患	8,385	8,708	△ 323	14 腎尿路生殖器系の疾患	13,829	13,571	258
6 神経系の疾患	6,682	5,104	1,578	7 眼及び付属器の疾患	11,481	11,884	△ 403
10 呼吸器系の疾患	5,253	4,540	713	11 消化器系の疾患	9,159	9,852	△ 693
5 精神及び行動の障害	4,570	3,695	875	10 呼吸器系の疾患	6,914	6,359	555
14 腎尿路生殖器系の疾患	4,450	4,492	△ 42	1 感染症及び寄生虫症	4,357	3,976	381
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,386	2,646	740	6 神経系の疾患	3,865	3,808	57
7 眼及び付属器の疾患	3,327	3,710	△ 383	12 皮膚及び皮下組織の疾患	3,102	2,966	136
1 感染症及び寄生虫症	1,604	2,131	△ 527	19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,883	3,201	△ 318
8 耳及び乳様突起の疾患	548	552	△ 4	18 他に分類されないもの	2,395	2,674	△ 279
18 他に分類されないもの	483	714	△ 231	5 精神及び行動の障害	1,793	2,090	△ 297
3 血液及び造血器の疾患等	350	1,046	△ 696	8 耳及び乳様突起の疾患	1,207	1,123	84
12 皮膚及び皮下組織の疾患	266	684	△ 418	3 血液及び造血器の疾患等	735	858	△ 123
17 先天奇形、変形及び染色体異常	77	192	△ 115	17 先天奇形、変形及び染色体異常	150	173	△ 23

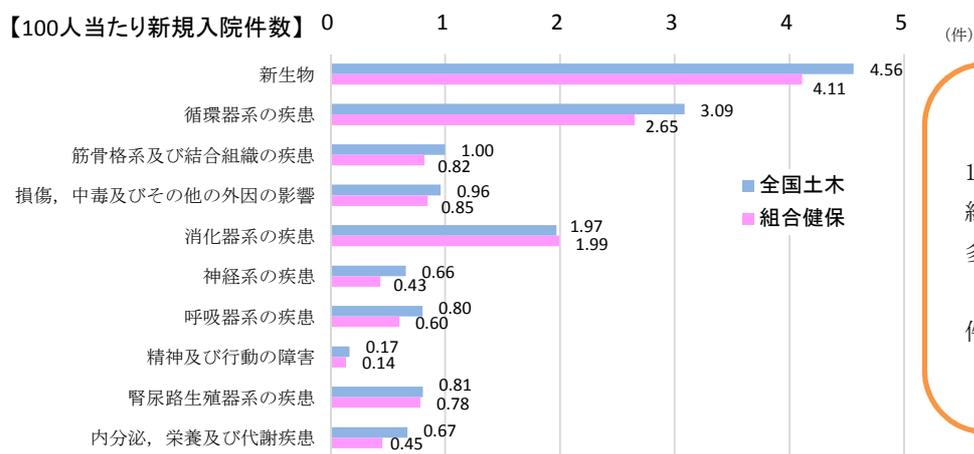
※全国土木は、電子レセプトのうち疾病分類コード（119 分類）の記載があるものを集計し算出した。

出典：厚生労働省「医療給付実態調査」

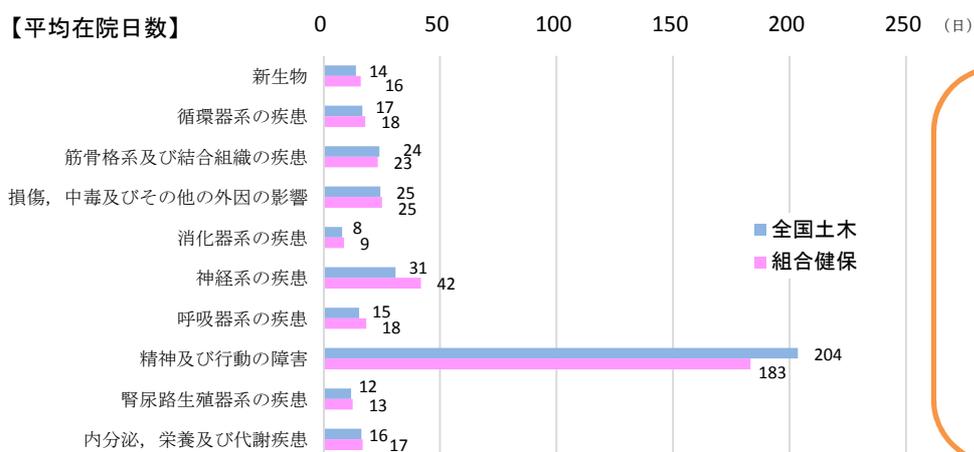
(図-58) 前期高齢者に係る疾病分類別 1 人当たり医療費（平成 28 年度）



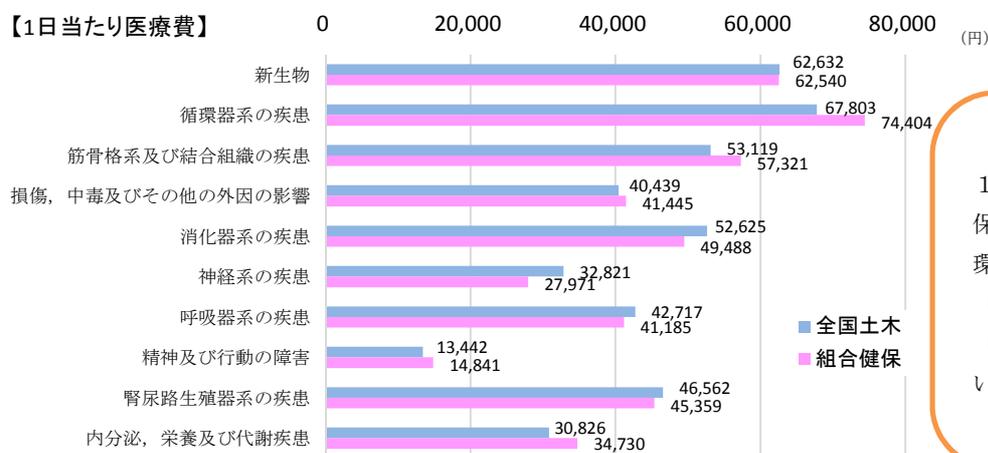
(図-59) 前期高齢者に係る疾病分類別医療費新三要素分析 (平成 28 年度・医科入院) (1 人当たり医療費上位 10 疾病分類)



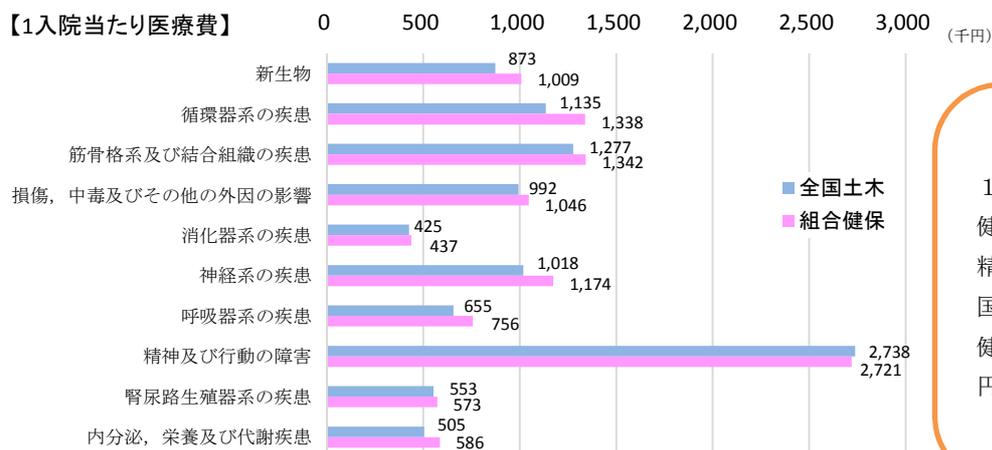
100 人当たり新規入院件数を組合健保と比較すると、最も多い新生物では、全国土木 (4.56 件) が組合健保 (4.11 件) より 0.45 件多い。



平均在院日数を組合健保と比較すると、最も長い精神及び行動の障害では、全国土木 (204 日) が組合健保 (183 日) より 21 日長い。



1 日当たり医療費を組合健保と比較すると、最も高い循環器系の疾患では、組合健保 (74,404 円) が全国土木 (67,803 円) より 6,601 円高い。



1 入院当たり医療費を組合健保と比較すると、最も高い精神及び行動の障害では、全国土木 (2,738 千円) が組合健保 (2,721 千円) より 17 千円高い。